XG11MV

CHANGEABLE MODULE

DMSS 2.4GHz
DUAL MODULATION SPREAD SPECTRUM

TELEMETRY
TWO WAY COMMUNICATION

XBus

SD™

JR PROPO®

取扱説明書

⚠警告

本製品は安全のための注意事項など守らなければ、使用者もしくは第三者への危害・財産への損害が発生する場合があります。

取扱説明書には事故を未然に防ぐための重要な注意事項及び製品の取り扱い方を記載しています。本書をよく読み安全にご使用ください。お読みになったあとはいつでも見られる場所に必ず保管してください。

ごあいさつ

この度は JR 製品をお選び下さいまして誠にありがとうございます。
長い経験を持つ当社の技術の粋を結集した高機能かつ操作性に優れた製品です。この特徴を充分に生かし、安全な RC ライフを過ごされます為にも当説明書を良くお読み頂き、当製品を末永くご愛用くださいますよう社員一同願っております。

特徴

多くのモデルに対応する多機能な11チャンネル送信機です。上級モデルの機能を装備しています。

- DMSS モジュール対応。高速レスポンスを維持しながらテレメトリー機能も使用可能です。
- 高速テレメトリー機能で従来解らなかった機体側の情報が送信機で確認できます。また音によるアラーム等も完備しており画面を見なくても機体側の様子がわかります
- テレメトリーのセンサー接続は中継 BOX が不要なバスシステムを採用、センサーの延長や増設が容易に行えます。必要なセンサーだけを並列接続で OK です。
- 自動確認システムによってフライトの際、送信機でモデル選択を間違えた場合、受信機側が動作しないので安全です。
- 見やすいバックライト付き液晶ディスプレイと操作性の優れた入力キー。
- CCPM スワッシュプレート用サーボの動作範囲を簡単に設定制限できる E リング機能を装備。
- トリムレバーを必要な機能の数値設定に割り振れるトリムイン機能を装備。
- ミキシング等で複数の舵面のサーボ同士を動作をリアルタイムにシンクロさせる機能を搭載。素早く操作した時のタイムラグを完全に無くしました。
- SD カードスロットを搭載。機体データの保存、ソフトウェアのアップデートが容易に可能です。
- 数値入力時にファンクションキーを押すと 10 倍速で数値入力が可能な、倍速入力機能搭載。
- 30 機分のメモリー機能を搭載。ヘリコプター、飛行機、グライダーの各タイプを任意で保存できます。
- 2 種類のトレーナー機能を装備。生徒のレベルに合わせたスティック操作の練習が可能です。
- スロットル、ピッチカーブ及びカーブミキシングは、曲線カーブの採用のマルチポイントアジャスト方式で、より滑らかなカーブ設定が可能です。
- 多機能なプログラムミキシングを 6 系統装備。
- デバイスセレクト等のスイッチ選択等で、使用したいスイッチを直接動かすと自動設定されるタッチセレクト機能搭載。直観的な設定が可能です。
- 自分で選んだ機能だけをを表示して簡単に呼び出せる、マイリスト機能を搭載。
- モジュール交換によりあらゆる通信方式に対応可能。

規格・送信機

項目	規格
品番：	NET-P141M
操作方式：	11 チャンネル　コンピュータミキシング
電源：	9.6V リチウムフェライト電池 3F2100(2100mAh)
ニュートラル：	1.5ms

規格・充電器

項目	規格
品番：	NEC-J17C
入力電圧：	DC15V Max 0.7A
出力電圧：	DC11V 500mA

規格・AC アダプター

項目	規格
品番：	NEC-A1530
入力電圧：	AC100V-240V 50/60Hz
出力電圧：	DC15V 30W

周波数	TX モジュール	方 式	モジュレーション設定	消費電力
2.4GHz	TG2.4XP	DMSS	DMSS	300mA
2.4GHz	TD2.4JM	DSMJ	DSM	220mA
2.4GHz	TD2.4JP	DSMJ	PPM9 / PPM8	220mA
72 / 40MHz	TS-72J	SPCM / FM	SPCM / PPM9 / PPM8	300mA
-----	モジュールなし	-----	-----	130mA

NEM-B74A

安全のための一般的な注意 ※ 重要ですので、必ずお守り下さい。

本プロポセットについて

本製品の改造や純正部品以外の使用、天災、及び、この項目に書かれている注意事項を守らなかった場合の事故、故障等については一切責任を負いかねますので、ご了承下さい。 また、事故、故障における損害等については本製品、及び弊社純正製品以外のもの (機体、他社製品、燃料等) は保証の対象外とさせて頂きますので、ご了承下さい。 万が一に備え、「ラジコン保険」の加入をおすすめします。本製品で使用する電波は以下の方法での使用が電波法で定められています。

- 本製品を海外で使用する場合、使用する国の法令で許可されている必要があります。
- 海外において模型以外の目的で使用する場合、輸出貿易管理令で規制の対象となる場合があります。

72MHz/40MHz システムを安全にご使用頂くための基本的な注意事項

- 同一バンド (周波数) との同時飛行は絶対にしないでください。 混信が起き、操縦不能や事故の可能性があり非常に危険です。 なお、変調方式 (SPCM/PPM/AM/FM) が異なる場合や、他社製品の場合でも同様の問題が起こります。
- 電源を入れる前に半径 2 Km 以内に同一バンド (周波数) を使用している方がいないか確認してください。
- 以下の場所では混信の可能性があり危険です。 運用しないでください。
  - トランシーバー障害のあるとき。
  - 高圧線の近く。
  - FM 放送局、船舶無線、アマチュア無線などの送信所の近く。
  - その他、アンテナの近く。

2.4GHz システムを安全にご使用頂くための基本的な注意事項

2.4GHz はラジコン専用の周波数ではありません。
この周波数帯は電子レンジ、無線 LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ・ゲーム機や携帯電話の Bluetooth、VICS など近距離通信に利用される ISM(産業・科学・医療) バンドと共用されているため、都市部では 2.4GHz システムの操縦レスポンスが低下する可能性があります。
また、アマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響を注意して使用してください。
なお、既設の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し、干渉回避対策を実施してください。

- 走行場・飛行場では、送受信機に影響を与える可能性のある機器の使用は最小限にし、事前に安全性を確認するようにしてください。
  また、施設の管理者の指示に従ってください。
- 同一走行場・飛行場では、同時に使用する 2.4GHz プロポの台数は 15 台以内にしてください。
  同時に使用される 2.4GHz プロポの台数が判るように施設の管理ボード等を利用してください。
- 建物や鉄塔・樹木などの後ろを走行や飛行させ、電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスが低下したり操縦不能になる場合があります。 常に目視で確認できる範囲で走行や飛行をしてください。
- 日本国内では、電波法に基づく技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した認証ラベルが外から見える場所に貼られているプロポが使用できます。
  ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、上記認証ラベルが貼られていないプロポの使用は電波法違反になり罰せられることがあります。
- (財) 日本ラジコン電波安全協会は、ラジコン運用を安全に行って頂くための啓発を行っています。
  同協会の名称の入った認証ラベルが貼られているプロポをご使用ください。

安全に関する表示と記号

本説明書の中の下記の表示は、取り扱いの誤りに依って発生する可能性のある危険に関する注意事項です。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ 危険
誤った使い方によって、死亡または重傷を負う危険性が想定されます。

⚠ 警告
誤った使い方によって、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠ 注意
誤った使い方によって、障害を受ける可能性が想定されます。

取り扱いについて

ご使用になる前に製品のパーツが揃っているか、また、受信機にスイッチハーネス、サーボを、送受信機に電池を接続し、送受信機の電源スイッチを入れ正しく動作するかをご確認下さい。
もし動作しない場合は電池を点検して下さい。 また、充電式電池はお買い上げ後、初めての使用や長期間使用しなかった場合、必ず充電してからご使用下さい。
もし、パーツに欠品、動作に不具合等が有る場合は、お手数ですが弊社サービス課までご連絡下さい。

⚠ 危険

⃠ 禁止を示します。
❗ 必ず実行を示します。

⃠ **操縦不能となり危険です。**
雨の日の飛行は送受信機内部に水が入り誤動作の原因となりますので、お止め下さい。
止むを得ずご使用になる場合は、防水対策を完全に行って下さい。

⃠ **発熱、発火、感電怪我をすることがあります。**
分解、改造をしないで下さい。

送信機のスロットルハイでエンジン (モーター) をかけることは危険ですのでお止めください。

不意にエンジン(モーター)が高回転となり危険です。
電源スイッチをオンにする時は送信機のスロットルスティックを最スロー (エンジン、モーターの回転が最低回転の位置) にし、送信機の電源スイッチ、次に受信機の電源スイッチの順にオンにして下さい。
また、電源をオフにする時は逆に受信機、送信機の順に行って下さい。

怪我をする事があります。
エンジン (モーター) 調整は必ず後ろから動作中の動力に細心の注意をはらって行うようにして下さい。

警告

故障の原因となります。
本プロポセットと他社製品 (サーボ、ジャイロ等) を組み合わせて使用しないで下さい。

誤動作の原因となります。
送受信機は、精密な電子機器です。強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないで下さい

以下の場所での飛行は操縦不能や事故の可能性があり危険ですのでおやめ下さい。
- トランシーバー妨害のある時。
- 車やオートバイの走っている付近。
- 高圧線・ビル・土手の近く、山間部等。
- FM や TV 放送局、船舶無線等の無線設備の近く。
- 民家や建造物付近、及び人の近く。

突然、誤動作を起こす可能性が有り危険です。
受信機、サーボ等が水没し完全に乾燥後、正常に動作する場合、サーボの調子が悪くなり、あとで正常な状態に復帰した場合でも、そのまま使用せず、弊社へ点検依頼をして下さい。

操縦不能となる可能性が有り危険です。
飛行中、サーボの動きが鈍いと感じたらすぐ着陸して、バッテリー残量、サーボ等の点検を行って下さい。

注意

飛行前に安全のために次のような点検を行って下さい。
- 送受信機のバッテリー残量 (充電式電池の場合、満充電) はあるか。
- 燃料タンクの燃料漏れにより受信機やサーボ等に燃料がかかってないか。また、燃料は入っているか。
- 機体の振動ノイズの原因となる、リンケージ類が機体や胴体に当たったりしていないか、さらに、機体を固定した状態でエンジン (モーター) をハイにして、各舵を動かし完全に動作するかどうか確認して振動テストを行って下さい。

初飛行は距離を離さず、安全な場所を選び上空を数分テストフライトして異常の無いことを確認して下さい。

充電式電池及び、充電器について

漏液、破裂、発熱、発火の恐れがありますので、次のことをお守り下さい。

危険

充電は必ず専用充電器を使用して下さい。

(+) と (-) を逆にしての使用や、充電をしないで下さい。

火の中に投下したり、加熱しないで下さい。

(+) と (-) を針金等の金属やカーボン材などの導電体で接続しないで下さい。

分解、改造、半田付け等をしないで下さい。

充電器は日本国内 AC100V のコンセントでのみご使用下さい。

電池内部の液が目に入った時は、失明の恐れがあります。
こすらずに、きれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けて下さい。

警告

水や海水等で濡らさないで下さい。

外装チューブ、リード線やコネクターにキズをつけたり、はがしたりしないで下さい。

外装チューブ、リード線やコネクターにキズがついたり、外装が歪んだ電池は使用しないで下さい。

故障の原因となります。
充電式電池は、JR 純正電池をご使用下さい。
所定の充電時間を超えた場合は充電を止めて下さい。

漏液が皮膚や衣服に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがあります。
直ちにきれいな水で洗い流して下さい。

操縦不能の原因になります。
充電式電池のパックは数本の電池の組み合わせにより構成されています。　よってバッテリーチェッカー等で確認を行い、パック内の充電式電池が、全て正常であることを確認下さい。

警告

高温、多湿、ほこりの多いところには保管しないで下さい。

幼児の手の届かないところに保管して下さい。

気温の低い場所 (0℃以下) で充電しないで下さい。

古くなった電池はゴミ箱等に捨てないで、各地域の定める処理方法に従って廃棄して下さい。

電池のリサイクルについて

使用済リチウムフェライト電池は貴重な資源です。端子部にテープを貼るなどの処置をして、小型充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

目次

はじめに

ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全のための一般的な注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 2

目次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

準備

モデルタイプシール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
スティックヘッドの調整 ・・・・・・・・・・・・・・ 5
フックホルダー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
SD カードの取り付け方 / 取り外し方 ・・・・・・・・・・ 5
Li-fe 電池の取り付け方 / 取り外し方 ・・・・・・・・・・ 6
送信機の充電方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
スティックスプリング調整とスロットルスティックの
動作角度調整板について・・・・・・・・・・・・・・・ 7
受信機に使用する Ni-MH 充電式電池の
取り扱いについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
DMSS 受信機の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
DMSS バインド設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・ 10
DMSS イージーバインドシステム バインド設定方法 ・・・ 11
送・受信機の正しい使用方法
および設置方法について・・・・・・・・・・・・・・・ 12

モデル共通の機能

DSMJ 受信機の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
DSMJ バインド設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・ 15
SPCM 受信機の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
送信機各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
入力キーの名前とはたらき ・・・・・・・・・・・・・ 21
インフォメーション画面 ・・・・・・・・・・・・・・ 22
システムリストとファンクションリストの切り替え・・・・・ 23
マイリスト画面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
モデル設定時のナビゲーション ・・・・・・・・・・・ 25
フライトモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

ファンクションリストの各機能

デュアルレート & エクスポ【D/R&EXP】・・・・・・・・・ 28
トラベルアジャスト【TRAVEL ADJUST】・・・・・・・・・ 31
リミットアジャスト【LIMIT ADJUST】 ・・・・・・・・・ 32
サブトリム【SUB TRIM】 ・・・・・・・・・・・・・・ 33
リバース スイッチ【REVERSE SW】 ・・・・・・・・・・ 34
サーボスピード【SERVO SPEED 】 ・・・・・・・・・・ 35
スロットルカーブ【THRO CURVE】・・・・・・・・・・・ 37
ピッチカーブ【PITCH CURVE】・・・・・・・・・・・・ 39
テールカーブ【TAIL CURVE】 ・・・・・・・・・・・・ 41
スロットルホールド【THRO HOLD】・・・・・・・・・・・ 42
ジャイロ感度【GYRO SENS】 ・・・・・・・・・・・・ 44
ガバナー【GOVERNOR】 ・・・・・・・・・・・・・・ 46
スワッシュミキシング【SWASH MIX】・・・・・・・・・・ 47
スロットルトリム【THRO TRIM】・・・・・・・・・・・・ 49
スロットルミキシング【MIX → THRO】 ・・・・・・・・・ 50
フライトモードディレイ
【FLIGHT MODE DELAY】・・・・・・・・・・・・・・・ 51
フラップシステム【FLAP SYSTEM】・・・・・・・・・・・ 52
スナップロール【SNAP ROLL】・・・・・・・・・・・・・ 53
ディファレンシャル【DIFFERENTIAL】・・・・・・・・・・ 54
エルロン→ラダー ミキシング
【AILE → RUDD MIX】 ・・・・・・・・・・・・・・・ 56
エルロン→フラップ ミキシング
【AILE → FLAP MIX】・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
エレベーター→フラップ ミキシング
【ELEV → FLAP MIX】・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
ラダー→エルロン / エレベータ ミキシング
【RUDD → AILE/ELEV MIX】・・・・・・・・・・・・・・ 59
バランス【BALANCE】 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
フラップレート【FLAP RATE】・・・・・・・・・・・・・ 61
モータシステム【MOTOR SYSTEM】 ・・・・・・・・・・ 62
キャンバーシステム【CAMBER SYSTEM】 ・・・・・・・・ 63
ブレーキシステム【BRAKE SYSTEM】・・・・・・・・・・ 65
フラッペロンミキシング【FLAPERON MIX】 ・・・・・・・ 66
エレベーター→キャンバーミキシング
【ELEV → CAMB MIX】 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
ラダー→スポイラーミキシング
【RUDD → SPOI MIX】 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
タイマー【TIMER】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
ミキシングモニター【MIX MONITOR】 ・・・・・・・・・ 73
サーボモニター【MONITOR】 ・・・・・・・・・・・・・ 74

システムリストの各機能

モデル選択【MODEL SELECT】 ・・・・・・・・・・・・ 75
モデルコピー & 削除【MODEL COPY/ERASE】 ・・・・・・ 76
モデルタイプ選択【TYPE SELECT】・・・・・・・・・・・ 78
モデルネーム【MODEL NAME】 ・・・・・・・・・・・・ 79
フライトモードネーム【FLIGHT MODE NAME】・・・・・・ 80
トリムシステム【TRIM SYSTEM】・・・・・・・・・・・・ 81
スティックポジションスイッチ
【STICK POSOTION SW】 ・・・・・・・・・・・・・・・ 83
トリムインプットスイッチ【TRIM INPUT SWITCH】 ・・・・ 84
スティックアラート【STICK ALERT】 ・・・・・・・・・・ 85
ワーニング【WARNING】 ・・・・・・・・・・・・・・・ 86
送信機設定【TX SETTING】・・・・・・・・・・・・・・ 87
トレーナー【TRAINER】・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】・・・・・・・ 90
テレメトリー【TEREMETRY】・・・・・・・・・・・・・・ 91
オールサーボホールド【ALL SERVOS HOLD】 ・・・・・・ 94
デバイス選択【DEVICE SELECT】・・・・・・・・・・・・ 95
スワッシュタイプ【SWASH TYPE】 ・・・・・・・・・・・ 98
ウイングタイプ【WING TYPE】・・・・・・・・・・・・・ 99
フェイルセーフ【FAIL SAFE】・・・・・・・・・・・・・ 101
スロットルスティック方向
【THRO(SPOI) STICK DIRECTION】 ・・・・・・・・・・・ 102
スティックモード【STICK MODE】 ・・・・・・・・・・・ 103
モジュレーション切換【MODULATION】 ・・・・・・・・・ 104
X.BUS 機能【X.BUS】・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105

データシート

XG11MV DATA SHEET / HELI・・・・・・・・・・・・・ 108
XG11MV DATA SHEET / ACRO ・・・・・・・・・・・・ 114
XG11MV DATA SHEET / GLID・・・・・・・・・・・・・ 120

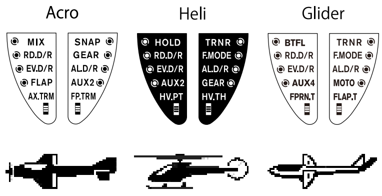
ソフトエラー画面

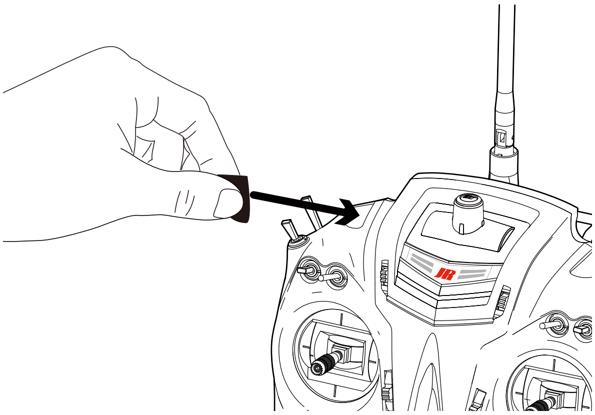
こんなメッセージが出たら・・・ ・・・・・・・・・・・・ 125

保証条件

修理アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・ 126
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127

モデルタイプシール

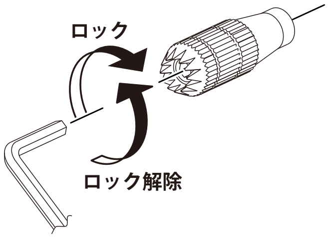




最初にお好きなモデルタイプのシールを貼ります。
貼る面のホコリを除去してください。
シールをシール枠に合わせて貼ってください。

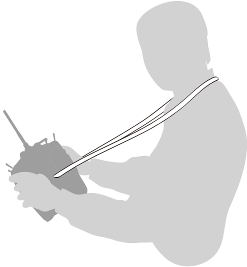
スティックヘッドの調整

スティックヘッド先端のホーロービスを回しロックをはずした後、スティック全体を回して適当な長さに調整します。最後に再びホーロービスでロックします。



フックホルダー

長時間の飛行など、フックホルダーに繋げたベルトを首にかけて操縦することができます。

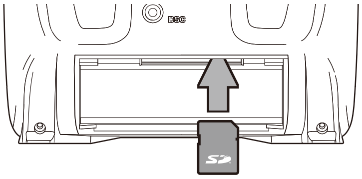


SD カードの取り付け方 / 取り外し方

使用できる SD カードは 16G 以下で FAT でフォーマットされたものです。
SD カードの抜き差しは電池蓋を開けて、電池を取り外してから行ってください。
SD スロットは電池下部にあります。　また、カードにより使用できないことがございます。
JR 純正の SD カードをご使用ください。

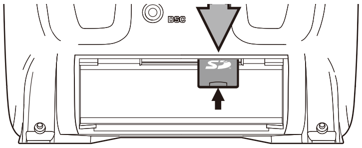
取付けかた

電源を切り､SD カードの向きに注意してスロットにゆっくり差し込み「カチッ」という感触がするまで差し込みます。



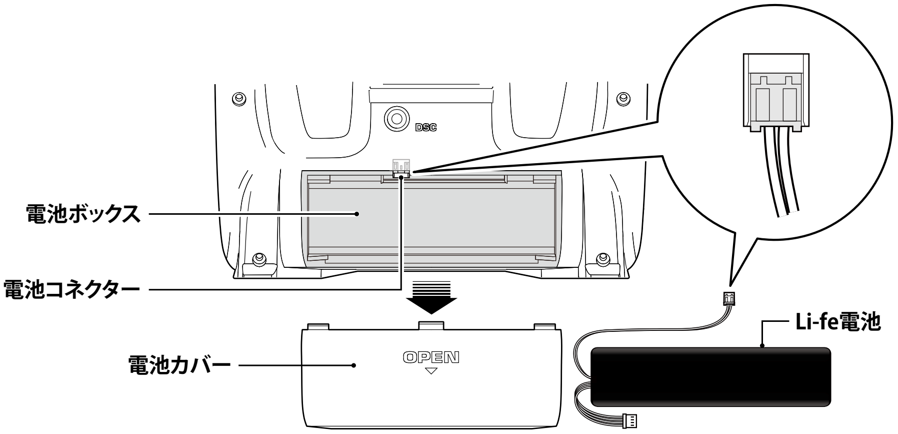
取り外しかた

SD カードの中央あたりを軽く押し、押し戻され飛び出した SD カードをゆっくり引き出します。



Li-fe 電池の取り付け方 / 取り外し方

1) 裏面電池ブタの三角印を押しながら、矢印の方向へスライドさせて電池カバーを取り外します。
2) 電池のコネクターを、送信機のバッテリーコネクターへ差し込みます
3) 電池をはめ込み、リード線を挟まないように電池カバーを取り付けます。



警告 コネクターを外すときは、レバー部を押してロックを外しながら抜いてください。

送信機の充電方法

電池を充電する前に必ず電池表面シールの注意書きをお読み下さい。送信機は純正 Li-fe 電池専用です。送信機に他の充電式電池や乾電池は使用しないで下さい。充電時は、送信機の電源を OFF にしてください、ON 状態では充電されません。

1) AC コンセントに AC アダプターを挿入する。
2) AC アダプターのプラグを充電器に接続する。
3) 充電器のプラグを送信機の充電用電源ジャックに接続する。
4) 充電中は充電器の LED が点灯します。　充電完了時は LED が消灯します。　標準充電時間は約4時間です。

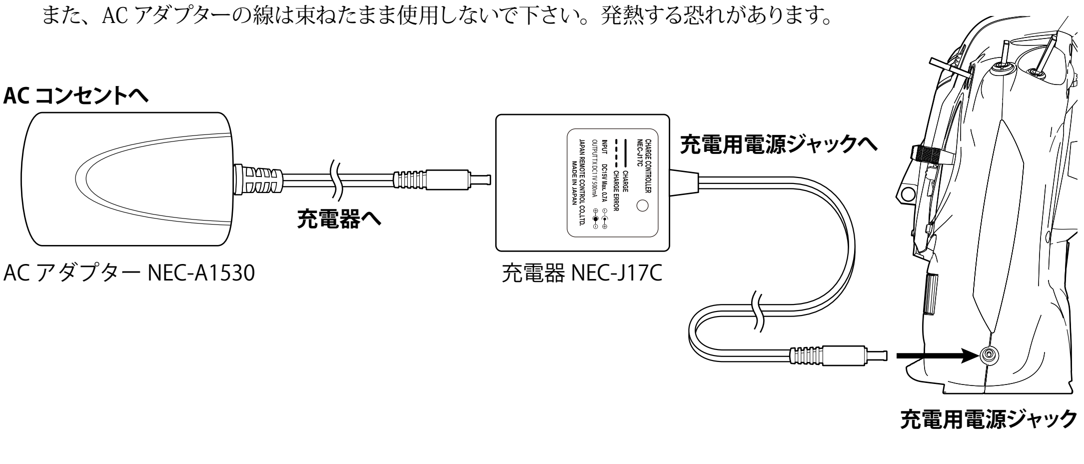
※ 充電器の LED が点灯しない場合や点滅している場合はエラーが起きています。
この場合、AC アダプターのコネクターと充電器のコネクターを一度抜き、再度挿入してください。
数回抜き差ししても点灯しない場合は、弊社サービス課にご連絡下さい。

5) 充電を終了しましたら、全ての接続を速やかに解除してください。　絶対に接続したまま放置しないで下さい。

※ 必ず JR 純正の AC アダプター (NEC-A1530) と充電器 (NEC-J17C) をご使用ください。
他の AC アダプター及び充電器では正常に充電が行われません。
また本 AC アダプター及び充電器を他の製品の充電には使用しないでください。

警告

異常発熱、破裂をおこし危険です。
充電が完了したら、速やかにコネクターを外してください。AC アダプターもコンセントから抜いてください。
また、AC アダプターの線は束ねたまま使用しないで下さい。発熱する恐れがあります。



スティックスプリング調整とスロットルスティックの動作角度調整板について

スティックスプリングの強さを調整できます。

① 電池を必ず先に取り外します。

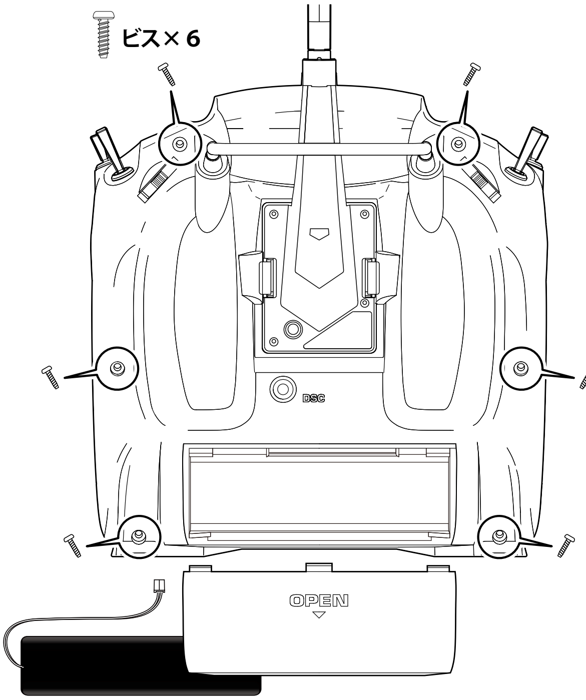
② リヤケースの 6 箇所のビスをはずし、フロントケースとリアケースを取り外します。

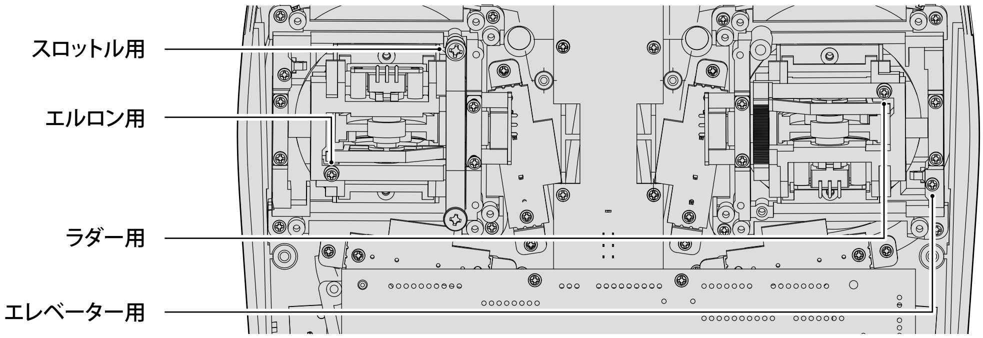
③ 希望のスプリングテンションの強さを調整します。各ビスの調整で、好みの強さが得られます。

④ 裏蓋を閉じ、ビスをしめてください。レバー等の噛み合いに注意してください。

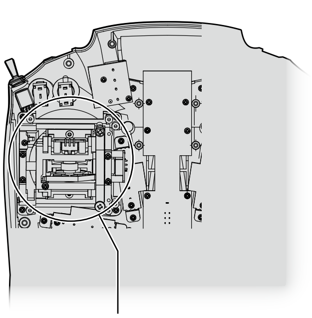
※ スロットルスティックの板バネの取り付け方向は下図ようになりますので、注意してください。

基板には絶対に触れないで下さい。
感電や、マイコンの暴走、モデルデータの破損等により、正常な動作、操縦ができなくなります。

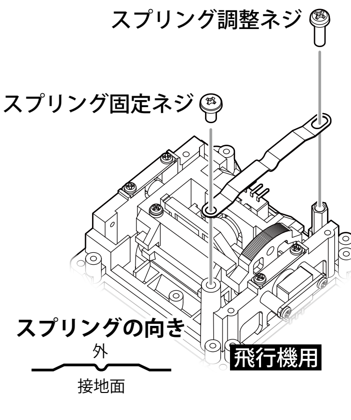


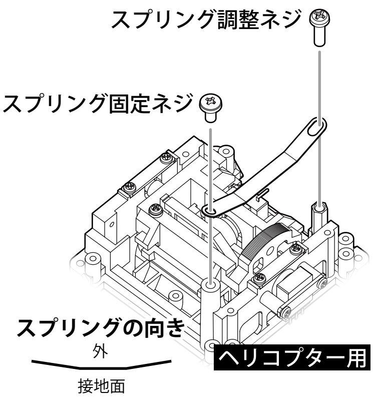


※ プリント基板には、絶対に手をふれないでください。



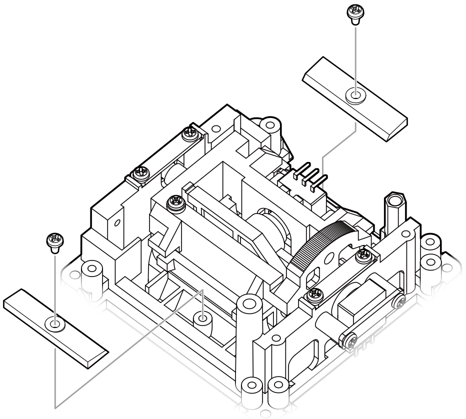
右図はこの部分を表しています。





スロットルスティックの動作角度調整板について

- スロットルスティックの動作角度を角度調整板によって調整できます。
- 取り付けや取り外しを下図を参考に正確に行ってください。　また、取り付けた場合や、取り外した場合は、スロットルスティックのキャリブレーションが必要です。
- 送信機のシステムリストにある「TX セッティング」(TX SETTINGS) にて、キャリブレーションを行ってください。



受信機に使用する Ni-MH 充電式電池の取り扱いについて

- ニッケル水素電池は自己放電率が高い為、未使用時も徐々に放電が進行します。
- 新品や長時間ご使用にならなかった電池は、必ず充電してからご使用下さい。
  また、追い充電 (放電が浅いまま充電) を繰り返すと、電池の特性上一時的に放電電圧が低下し、使用時間が短くなるメモリー効果が出てしまう事が有ります。
  このような場合は一旦放電し、再充電してから使用することをお勧めします。
- ニッケル水素電池は、特性上、高温や低温での充電は充電量の著しい低下をまねきます。
  車中での充電等はしないで下さい。また、充放電中は可燃ガスの発生する事があります。火の近くでの充電は絶対おやめ下さい。

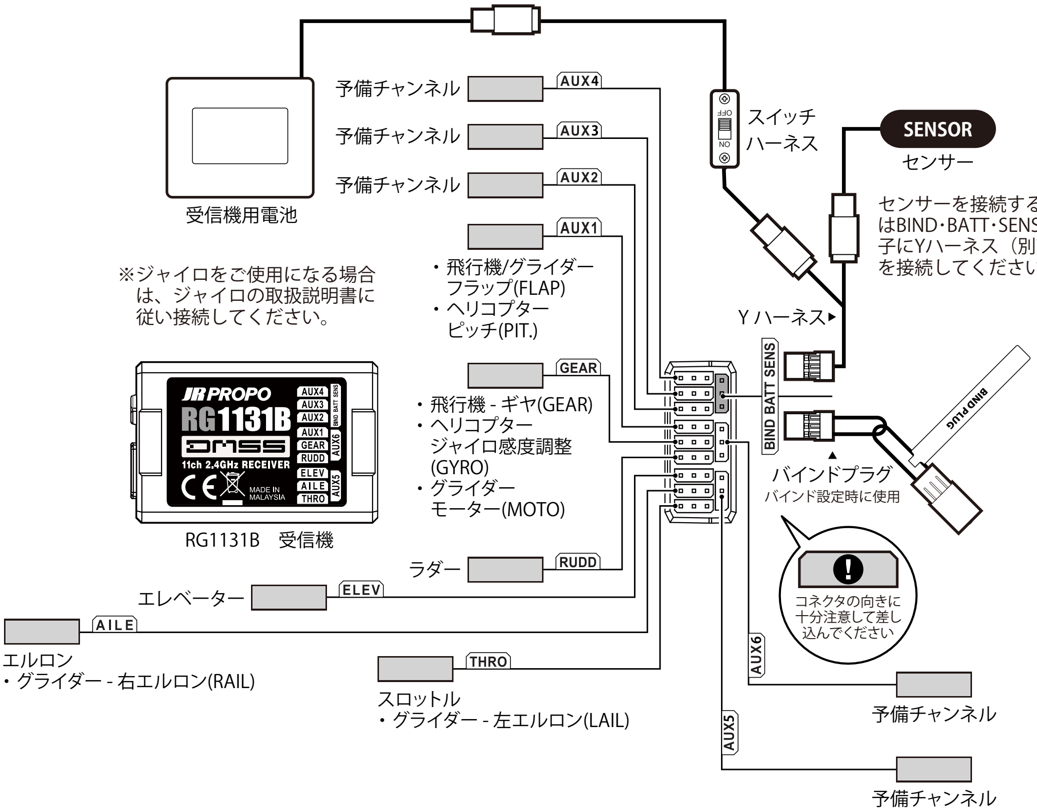
DMSS 受信機の接続

サーボ・電源の接続と搭載について

当社受信機はサーボを接続するチャンネルに番号ではなく名称を付けております。
以降説明書では受信機チャンネルは名称で記載しますのでお読みになる際にご注意願います。

⚠ 注意

- 受信機は振動、ショック、水等に弱いので防振・防水対策を確実に行って下さい。
- 飛行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。全てのコネクターは確実に奥まで入れて下さい。受信機、電池などは、振動に弱い電子機器です。　エンジンやモーターの振動から保護する対策をとってください。
- 中継コネクタを使用する場合、各コネクターも振動による接触不良を起こしやすいので振動対策が必要です。



タイプ別　受信機との接続チャンネル一覧

受信機	ヘリコプター	飛行機	グライダー
1) THRO	THRO	THRO	LAIL
2) AILE	AILE	AILE	RAIL
3) ELEV	ELEV	ELEV	ELEV
4) RUDD	RUDD	RUDD	RUDD
5) GEAR	GYRO	GEAR	MOTO
6) AUX1	PIT.	FLAP	FLAP
7) AUX2	AUX2	AUX2	AUX2
8) AUX3	AUX3	AUX3	AUX3
9) AUX4	AUX4	AUX4	AUX4
10) AUX5	AUX5	AUX5	AUX5
11) AUX6	AUX6	AUX6	AUX6

テレメトリーセンサーの取付について

テレメトリーセンサーを複数取り付ける場合は、下記のテレメトリーセンサー用アダプタをご使用ください。

TLS1-ADP
テレメトリーセンサー用アダプタ
品番：03439
価格：1,890 円（税抜 1,800 円）

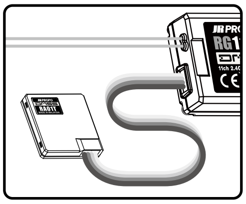
※ テレメトリーセンサーはバインド不要です。

DMSS バインド設定方法

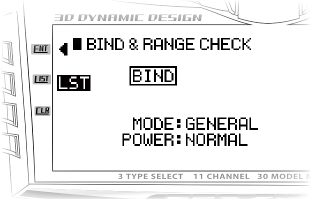
送信機と通信を行うためには、必ずバインド (ペアリング) をしなくてはいけません。
ここではバインドの設定方法を説明します。

1) はじめに、リモートアンテナが受信機にしっかり接続されている事をご確認いただき、付属の「バインドプラグ」と「満充電されたバッテリー」を用意します。

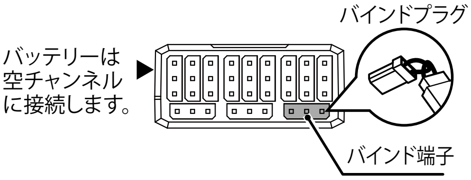
※ リモートアンテナは双方向通信において、受信機のデータ送信を行っています。搭載方法や搭載位置にご注意ください。



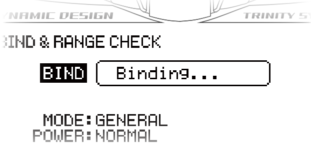
2) 送信機のシステムリストの「BIND & RANGE CHECK」を表示します。
「バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】」P.90 参照



3) 受信機のバインド端子に、バインドプラグを差し、空チャンネル (AUX チャンネルなど) にバッテリーを接続すると、受信機とリモートアンテナの LED が点滅を始めます。(バインド待機状態)

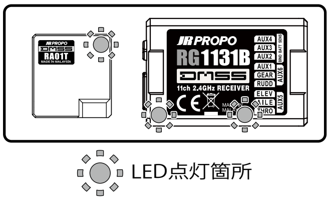


4) つづいて、送信機のバインド設定画面内の「BIND」表示にカーソルを合わせ、ダイヤルを押すと "Binding..." と表示され、バインドが開始されます。

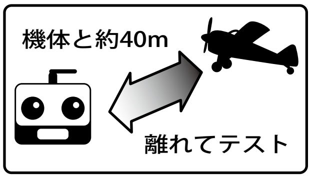


5) 受信機とリモートアンテナの LED が点灯に変われば、バインド完了です。
バインドプラグを抜いた後、送受信機の電源を切ってください。

※ LED が点滅のままの場合、最初からやり直してください。



6) 最後にサーボを接続し、通信ができていることをご確認ください。
なお、距離テストを行う場合は、送信機の発信出力を下げた状態で、機体より【約 40m】離れ、機体の周りを移動し、どの方向からでも動作することをご確認ください。
「バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】」P.90 参照



バインドがうまくいかない場合、以下のことをご確認ください。

- 送受信機のバッテリー残量は十分ありますか。
- リモートアンテナはしっかり接続されていますか。
- 送信機と受信機の距離が近づきすぎていませんか。
- 金属製の机や台の上では、バインドできない場合があります。

! バインド後は必ずフェイルセーフを設定してください。

バインド後は送信機のフェイルセーフ機能を使って、フェイルセーフを設定し、フェイルセーフが正しく動作することをご確認ください。

DMSS イージーバインドシステム バインド設定方法

イージーバインドシステムについて

イージーバインドシステムはバインドプラグを使用せず、バインドを設定することのできる、「パークフライト用受信機専用」のシステムです。

バインド完了後、先に受信機の電源を投入した場合

- バインドが完了した送受信機で、受信機の電源を先に投入した場合、[3 秒] でバインド待機状態となります。バインド待機は [5 秒] で終了します。

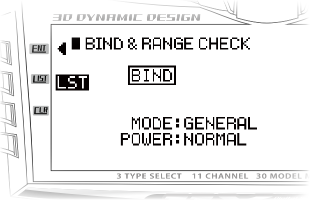
※　バインドした送信機の電源を入れた場合は、そのまま通信を開始します。

※　送信機のモデルを変更した場合、通信はできません。再度バインド設定を行ってください。

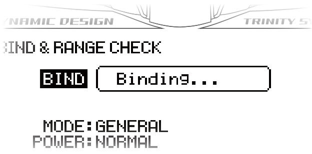
バインド設定方法

送信機と通信を行うためには、必ずバインド (ペアリング) をしなくてはいけません。
ここではバインドの設定方法を説明します。

1) 送信機のシステムリストの「BIND & RANGE CHECK」を表示します。
「バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】」P.90 参照

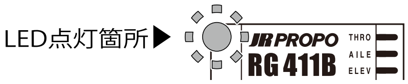


2) つづいて、送信機のバインド設定画面内の「BIND」表示にカーソルを合わせ、ダイヤルを押すと "Binding..." と表示され、バインドが開始されます。
約 20 秒間バインドモードに設定されます。

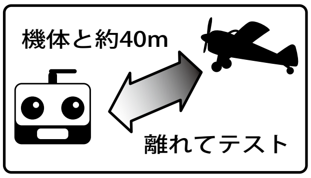


3) 上記 2) の状態で受信機を ON にすると数秒後にバインドを開始し LED が点滅をはじめます。
LED の点滅が点灯になったらバインド完了です。

※ LED が点滅のままの場合、最初からやり直してください。



4) 最後にサーボを接続し、通信ができていることをご確認ください。
なお、距離テストを行う場合は、送信機の発信出力を下げた状態で、機体より【約 40m】離れ、機体の周りを移動し、どの方向からでも動作することをご確認ください。
「バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】」P.90 参照



バインドがうまくいかない場合、以下のことをご確認ください。

- 送受信機のバッテリー残量は十分ありますか。
- リモートアンテナはしっかり接続されていますか。
- 送信機と受信機の距離が近づきすぎていませんか。
- 金属製の机や台の上では、バインドできない場合があります。

! バインド後は必ずフェイルセーフを設定してください。

バインド後は送信機のフェイルセーフ機能を使って、フェイルセーフを設定し、フェイルセーフが正しく動作することをご確認ください。

! バインド完了後は必ず【送信機】から電源を入れる。

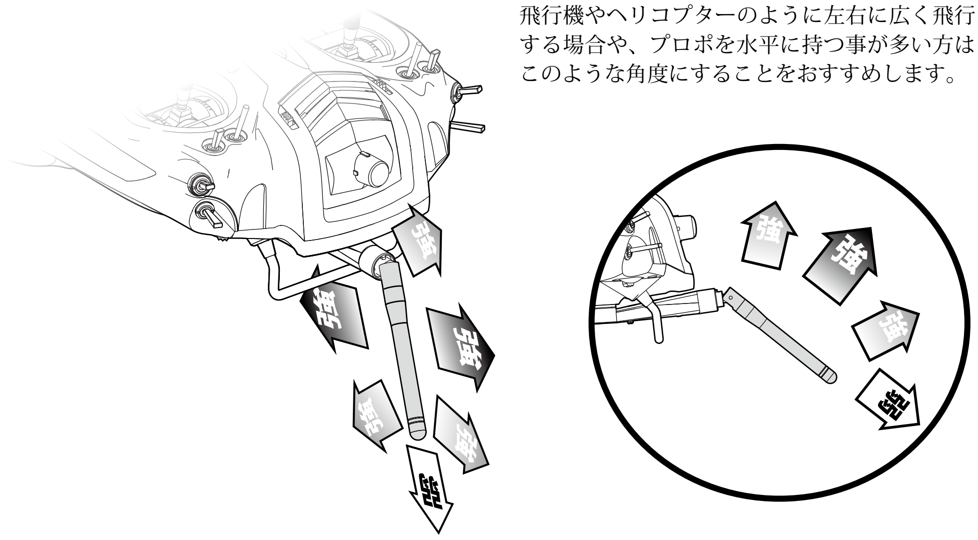
イージーバインド機能によるバインド待機状態時、近くで他の送信機がバインド設定をした場合、バインドは上書きされ大変危険です。必ず送信機から電源を入れる様心がけてください。

送・受信機の正しい使用方法 および設置方法について

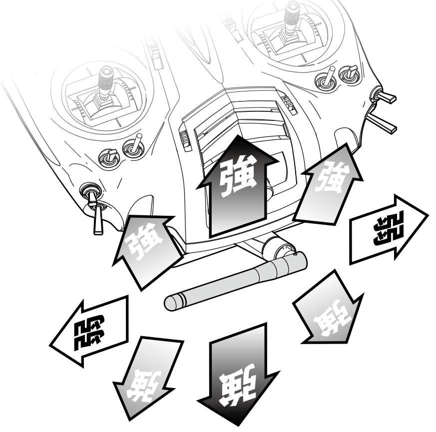
送信機のアンテナ向きは下図のように設定してください。

DMSS 2.4GHz 製品は従来周波数 (72/40MHz 帯製品) に比べ、電波の指向性が強い特徴をもっています。
使用時 (通信時) における「送信機のアンテナの向き」や「受信機の機体搭載時のアンテナの向き」は安全なフライトをするうえで、大変重要なポイントとなりますので、本書の内容をよくお読みいただき正しくご利用ください。
なお、使用 (搭載) 製品に対する詳細な説明は各製品の取扱説明書をご確認ください。

飛行機やヘリコプターのように左右に広く飛行する場合や、プロポを水平に持つ事が多い方はこのような角度にすることをおすすめします。



グライダーなど上下方向に広く飛行する場合や、プロポを垂直に近い状態で持つ方はこのような角度にすることをおすすめします。



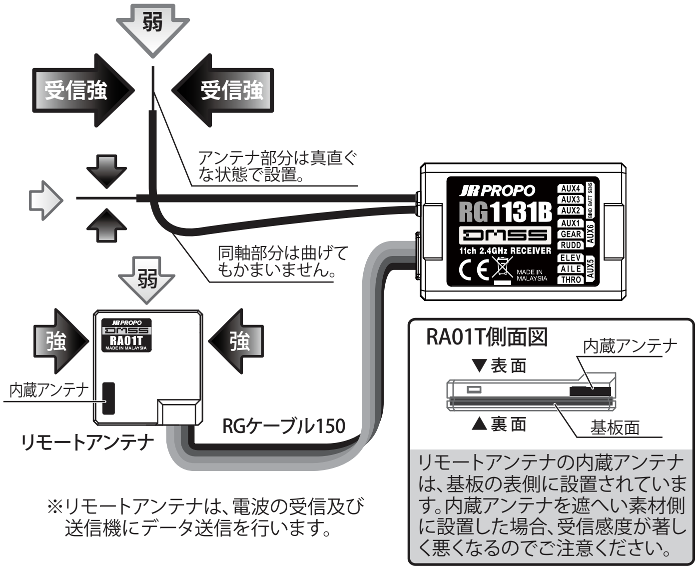
記号の意味

電波が**強い**方向を表します。

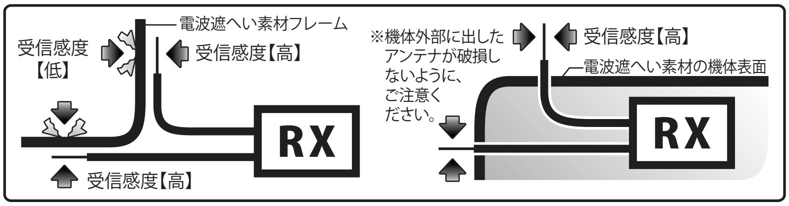
電波が**弱い**方向を表します。

受信機のアンテナの向きについて

2.4GHz 帯は指向性の強い電波の為、アンテナの向きによって、受信感度が大きく変化します。



カーボン材や金属材などの電波を遮断する性質を持つ素材に対して、直接アンテナを貼り付けたり、沿わせた状態でアンテナを設置すると受信感度は著しく低下します。



- 複数のアンテナを持つ機種
  各アンテナが直交するように取付けてください。
- 単体のアンテナを持つ機種
  上記素材から離した位置に取り付けてください。

リモートアンテナの設置方法について

DMSS システムのリモートアンテナ RA01T はテレメトリ機能を持つため、受信機としてだけではなく強力な送信機としても機能しています。機体に搭載される際には、強力な電波による他の電子機器への影響や誤動作の発生を避けるため、受信機本体、ESC、レギュレータ、サーボやジャイロおよび各種ハーネスから離した位置に設置してください。

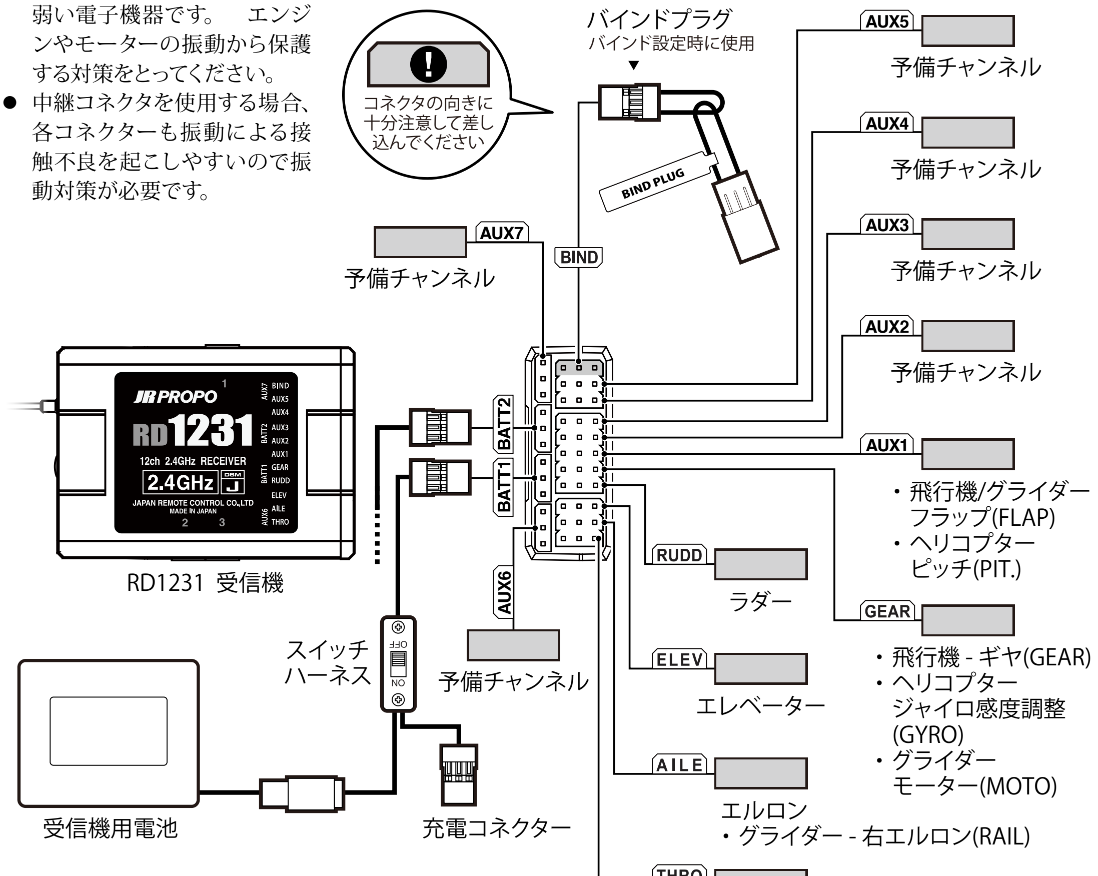
DSMJ 受信機の接続

サーボ・電源の接続と搭載について

当社受信機はサーボを接続するチャンネルに番号ではなく名称を付けております。
以降説明書では受信機チャンネルは名称で記載しますのでお読みになる際にご注意願います。

⚠ 注意

- 受信機は振動、ショック、水等に弱いので防振・防水対策を確実に行って下さい。
- 飛行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。全てのコネクターは確実に奥まで入れて下さい。受信機、電池などは、振動に弱い電子機器です。　エンジンやモーターの振動から保護する対策をとってください。
- 中継コネクタを使用する場合、各コネクターも振動による接触不良を起こしやすいので振動対策が必要です。



※ジャイロをご使用になる場合は、ジャイロの取扱説明書に従い接続してください。

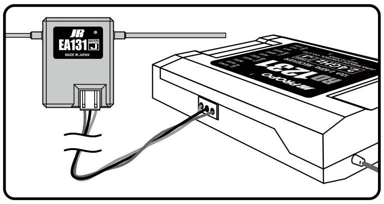
タイプ別　受信機との接続チャンネル一覧

受信機	ヘリコプター	飛行機	グライダー
1) THRO	THRO	THRO	LAIL
2) AILE	AILE	AILE	RAIL
3) ELEV	ELEV	ELEV	ELEV
4) RUDD	RUDD	RUDD	RUDD
5) GEAR	GYRO	GEAR	MOTO
6) AUX1	PIT.	FLAP	FLAP
7) AUX2	AUX2	AUX2	AUX2
8) AUX3	AUX3	AUX3	AUX3
9) AUX4	AUX4	AUX4	AUX4
10) AUX5	AUX5	AUX5	AUX5
11) AUX6	AUX6	AUX6	AUX6

DSMJ バインド設定方法

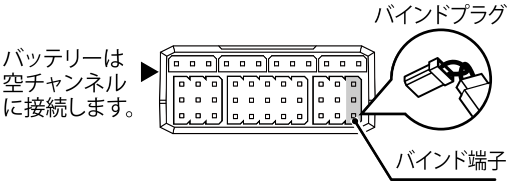
送信機と通信を行うためには、必ずバインド (ペアリング) をしなくてはいけません。
ここではバインドの設定方法を説明します。

1) はじめに、リモートアンテナが受信機にしっかり接続されている事をご確認いただき、付属の「バインドプラグ」と「満充電されたバッテリー」を用意します。



2) 受信機にバッテリーを接続してください。
つぎに、送信機の電源を OFF の状態のまま受信機のバインド端子に、バインドプラグを差します。
すると､受信機とリモートアンテナのLED が点滅を始めます。
(バインド待機状態)

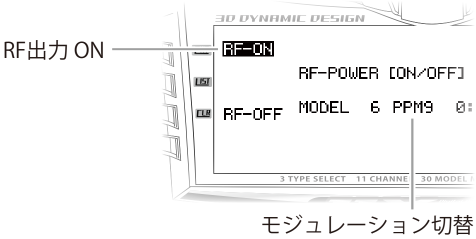
※ RD731 / RD735 などのバインド端子とバッテリー端子がひとつになった受信機の場合は、バッテリーを空きチャンネル (AUX2 など) に接続してください。



3) 取り付ける TX モジュールにより、設定方法が異なります。

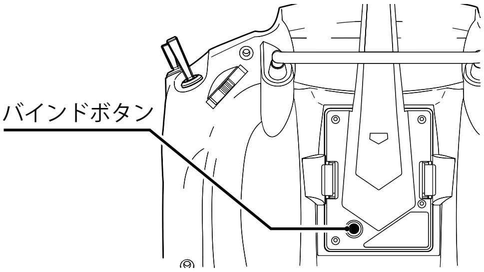
TD2.4JM(11X Zero 専用モジュール) 使用時

あらかじめ、モジュレーション切替で DSM に設定してください。
送信機モジュールの背面にあるバインドボタンを押しながら送信機の電源を ON にします。（バインドボタンは押したままにします。）



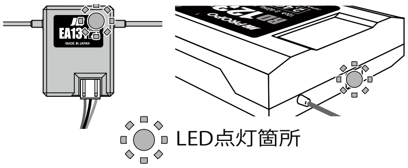
TD2.4JP 使用時

あらかじめ、モジュレーション切替で PPM9、もしくは PPM8 に設定してください。
送信機の電源を ON にし、送信機モジュールの背面にあるバインドボタンを押しながら、初期表示画面で RF-ON を選択しダイヤルをプッシュします。



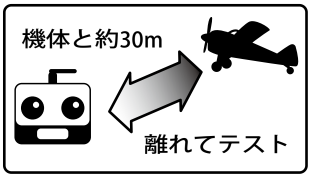
4) そのまま数秒間待ち、受信機とリモートアンテナの LED が点滅から点灯に変われば、バインド完了です。
バインドプラグを抜いた後、送受信機の電源を切ってください。

※ LED が点滅のままの場合、最初からやり直してください。



5) 最後にサーボを接続し、通信ができていることをご確認ください。
なお、距離テストを行う場合は、送信機の発信出力を下げた状態で、機体より【約 30m】離れ、機体の周りを移動し、どの方向からでも動作することをご確認ください。

※ 受信機にサーボなどが接続された状態でもバインドは可能です。



DSMJ システムのフェールセーフについて。

DSMJ システムではバインドと同時にフェールセーフが設定されます。
前述のバインド設定方法では、スロットルチャンネル (1ch) のスロットルスティック位置をフェールセーフ位置として認識され、その他のチャンネルはホールドとなります。

全チャンネルフェールセーフを設定したい場合

1) **DSMJ バインド設定方法**の 2) で LED が点滅し始めた後に、バインドプラグを外してください。
2) 受信機の LED が点滅していることを確認の上、送信機のスティック、レバー、スイッチなどを好みの位置にします。そのままの状態でバインドボタンを押しながら送信機の電源を ON にします。
3) 送受信機とも、いちど LED が消灯し、再び点灯すればバインドは終了です。

フェールセーフの確認

すべてのサーボを接続し、フェールセーフが正常に動作することを確認してください。

- 送信機の電源を OFF にして強制的にフェールセーフモードにします。 その時、サーボが設定した状態になることを確認してください。

※ 電動モデルでは、モーターが急に回り出す可能性があります。安全のため、スピードコントローラーとモーターの接続を切り離してから、作業を行ってください。

バインドがうまくいかない場合、以下のことをご確認ください。

- 送受信機のバッテリー残量は十分ありますか。
- リモートアンテナはしっかり接続されていますか。
- 送信機と受信機の距離が近づきすぎていませんか。
- 金属製の机や台の上では、バインドできない場合があります。

SPCM 受信機の接続

サーボ・電源の接続と搭載について

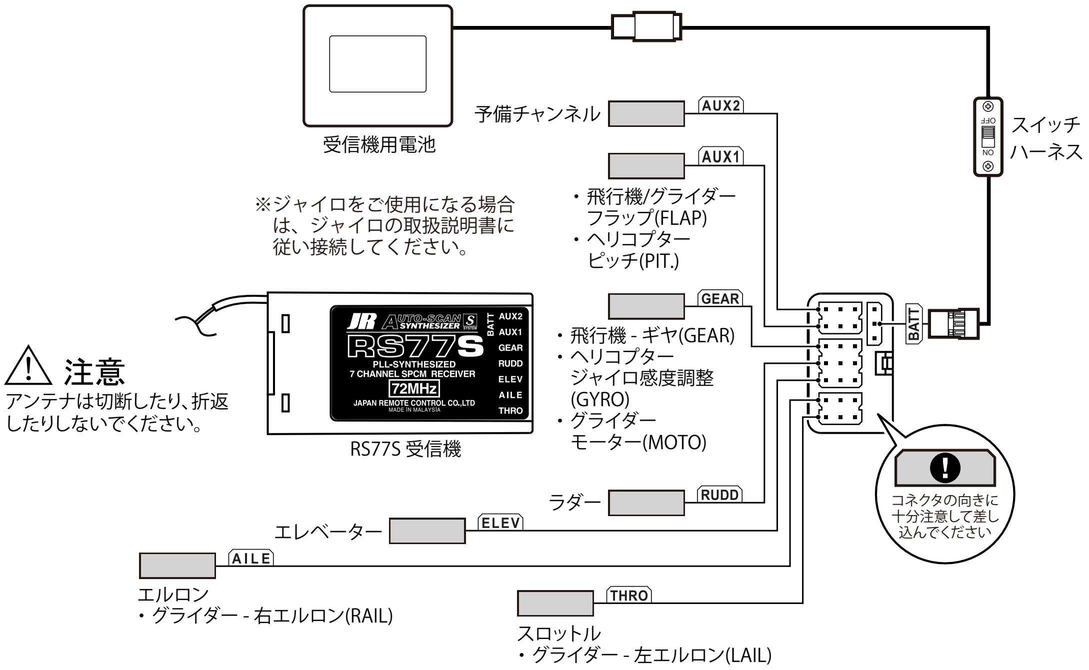
当社受信機はサーボを接続するチャンネルに番号ではなく名称を付けております。
以降説明書では受信機チャンネルは名称で記載しますのでお読みになる際にご注意願います。

⚠ 注意

- 受信機は振動、ショック、水等に弱いので防振・防水対策を確実に行って下さい。
- 飛行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。全てのコネクターは確実に奥まで入れて下さい。受信機、電池などは、振動に弱い電子機器です。　エンジンやモーターの振動から保護する対策をとってください。
- 中継コネクタを使用する場合、各コネクターも振動による接触不良を起こしやすいので振動対策が必要です。
- サーボのリンケージが終わったら、相互にあたったり、機体に接触したりせず、スムーズに動くことを確認してください。
- スイッチハーネスを機体に取り付けるとき、スイッチの可動部分の動きが制限されないよう注意してください。
- サーボのマウント部にアブソーバーゴムを取り付けて機体に固定してください。
- サーボのニュートラル調整は基本的に出力軸のスプラインを利用して行います。　十字型や丸型サーボホーンは 90°づつ、一文字型は 180°づつずらして微調整してください。

⚠ 警告

サーボギヤやモーターへの注油や防水スプレーの使用は、樹脂パーツの硬化や劣化を引き起こしますのでやめてください。



■ SPCM に関する注意

AM 方式を含めて、同一バンドとの同時飛行は絶対に出来ません。

PCM 方式は普通の FM 方式（PPM）の様に、ガチャつくノーコンでは無く、操作出来ないノーコンになりますので、水平飛行等ではノーコン発見が遅れ、手遅れとなる場合が考えられます。　安全のためフェイルセーフの使用をお勧めします。

SPCM を使用する時は、SPCM 受信機、PPM を使用する時は、FM 受信機を使用してください。

■ラジコン専用電波使用区分
40MHz 用送信機は下記の５周波数、72MHz 用送信機は下記の 10 周波数の使用が可能です。

注意

なお、40MHz 帯用クリスタル及び TX モジュールで、72MHz 用受信機を動作させること、また、その逆もできませんので、ご注意ください。

40MHz

周波数 (MHz)	バンド
40.770	77
40.790	79
40.810	81
40.830	83
40.850	85

72MHz

周波数 (MHz)	バンド
72.130	17
72.150	18
72.170	19
72.190	20
72.210	21
72.790	50
72.810	51
72.830	52
72.850	53
72.870	54

※従来周波数用モジュールをご使用になる場合はアンテナキャップを外してロッドアンテナを取り付けてご使用ください。

ロッドアンテナ
品番：06221
価格：1,155 円（税抜 1,100 円）

■従来周波数用モジュールのご使用について

従来周波数のモジュールを使用する際には下記のモジュール及びモジュレーションにてご使用下さい。

モジュール	TS-72J または TS-40J	
受信機	SPCM 受信機	FM(PPM) 受信機
モジュレーション	SPCM	PPM9 または PPM8

受信機との接続チャンネル一覧

受信機	ヘリコプター	飛行機	グライダー
1) THRO	THRO	THRO	LAIL
2) AILE	AILE	AILE	RAIL
3) ELEV	ELEV	ELEV	ELEV
4) RUDD	RUDD	RUDD	RUDD
5) GEAR	GYRO	GEAR	MOTO
6) AUX1	PIT.	FLAP	FLAP
7) AUX2	AUX2	AUX2	AUX2
8) AUX3	AUX3	AUX3	AUX3
9) AUX4	AUX4	AUX4	AUX4
10) AUX5	AUX5	AUX5	AUX5

D・S・C (ダイレクトサーボコントローラー)

電波を出さず、飛行前に有線で各舵のチェックが行える D・S・C が内蔵されています。
D・S・C コードを使用して受信機に接続 (SW 充電コネクタを使用) します。
プロポの電源スイッチはオフ、受信機の電源はオンにし、D・S・C コードのジャックをプロポ背面のコネクタに接続することで、サーボを直接プロポで操作することができるようになります。

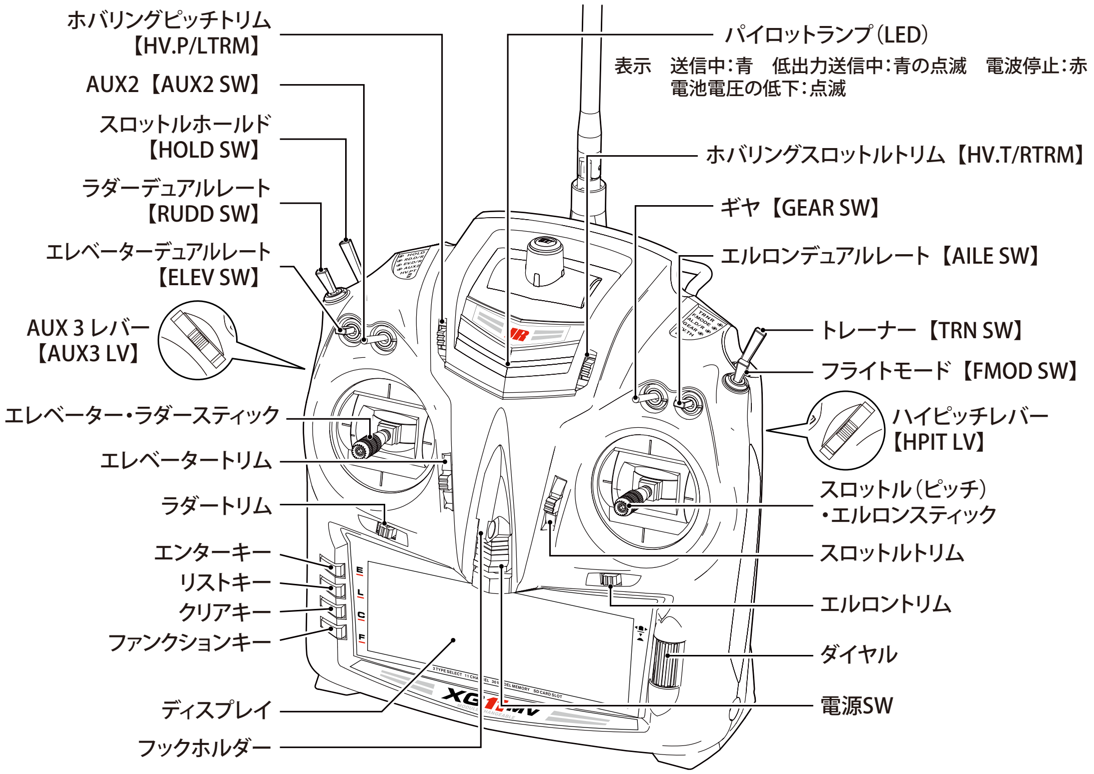
送信機各部の名称

ヘリコプタータイプ

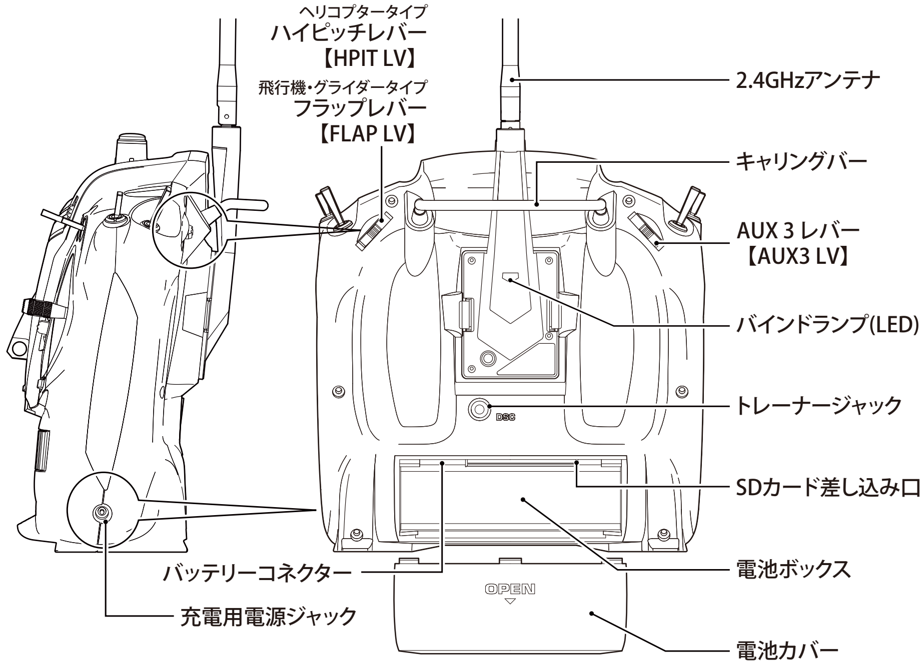
【カッコ内】は各設定画面での略表示文字です。

ヘリコプター

当社送信機は各スイッチやレバーに番号でなく名称を付けております。この名称と位置はモデルタイプごとに異なります。以降説明書をお読みになる際にご注意ねがいます。



背面：各モデル共通

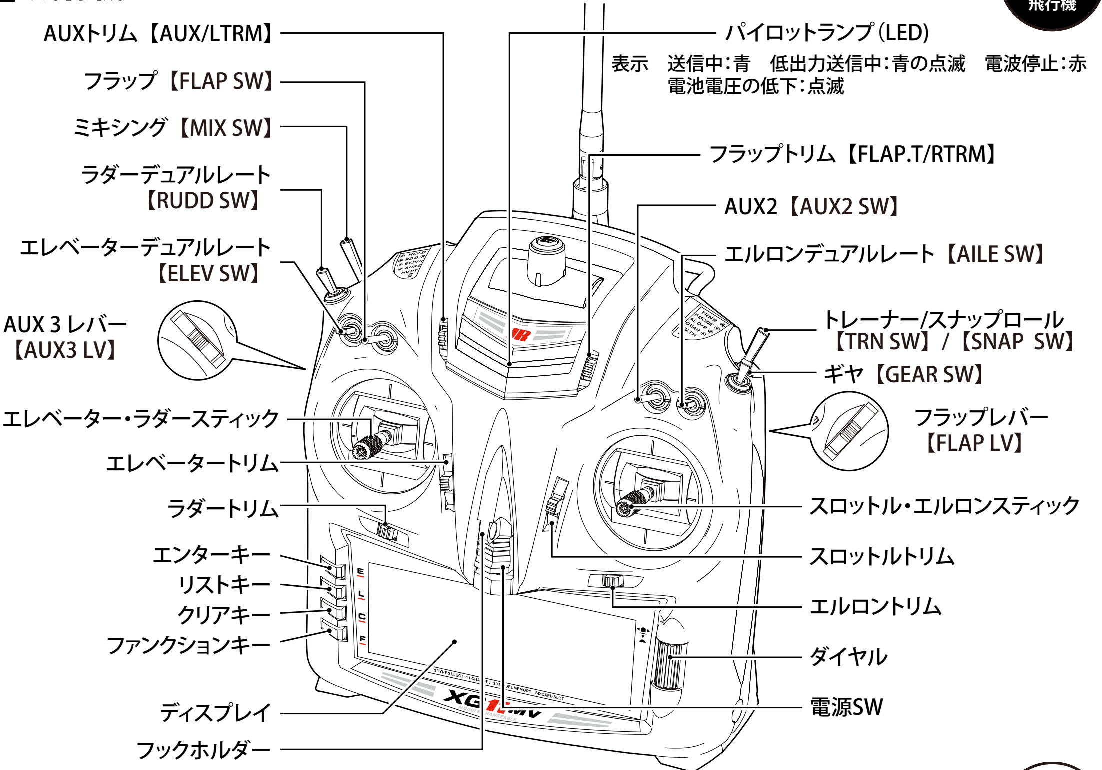


送信機各部の名称

飛行機タイプ

【カッコ内】は各設定画面での略表示文字です。

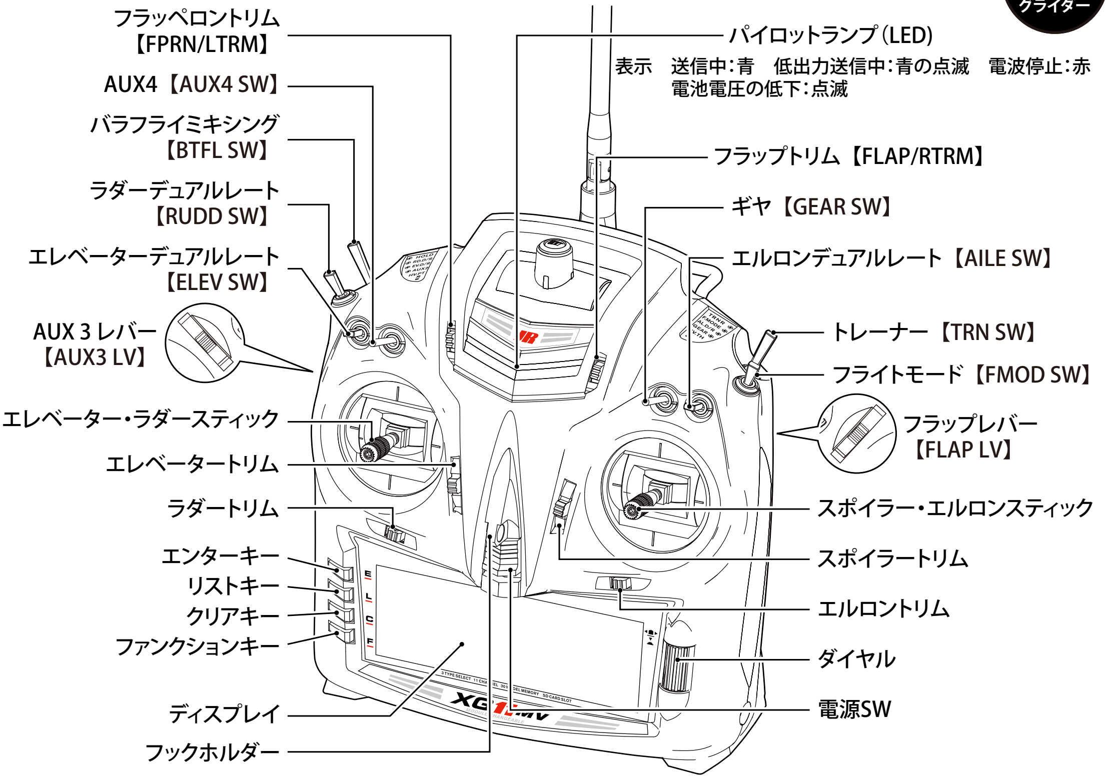
飛行機



グライダータイプ

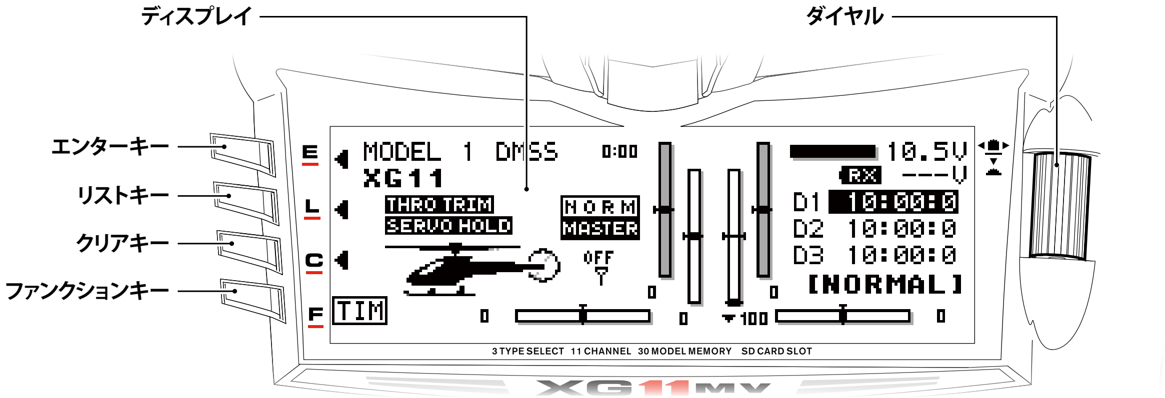
【カッコ内】は各設定画面での略表示文字です。

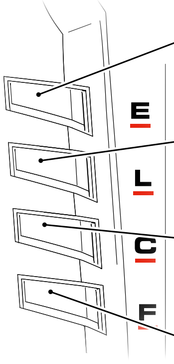
グライダー



入力キーの名前とはたらき

この送信機は、入力キーに通常のボタンキーに加え 3D ジョグダイヤルを採用しています。
設定時には、ほとんどの操作をこのダイヤルによって直感的に行うことができます。
ダイヤルの基本的な使用方法は、左右に回す、押す (プッシュする) です。
入力が有効な時はクリック音が鳴り、入力の確認となります。
表示の数字が変化せずクリック音のみが鳴る場合がありますが、これは少数点以下を表示していないためで内部的な設定量は変化しています。
送信機左側ボタンキーは 液晶部に三角矢印がある場合は、表示名の通りに、液晶部にキーの名称 (略号) が出ている場合は、その略号の働きをするキーとなります。
この説明書では、キー表示は下図のようになっています。





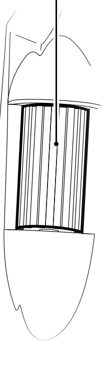
ダイヤル
左右に回すことにより項目の選択及び設定量の増減が行えます。
また、ダイヤルを押す(プッシュする)ことで選択項目の決定及び設定画面から抜け出すことができます。

エンターキー
他各ファンクションへの移行や決定等に使用します。
インフォメーション画面ではマイリストの表示に使用します。

リストキー
リストの表示、リストからはインフォメーション画面の表示に使用します。

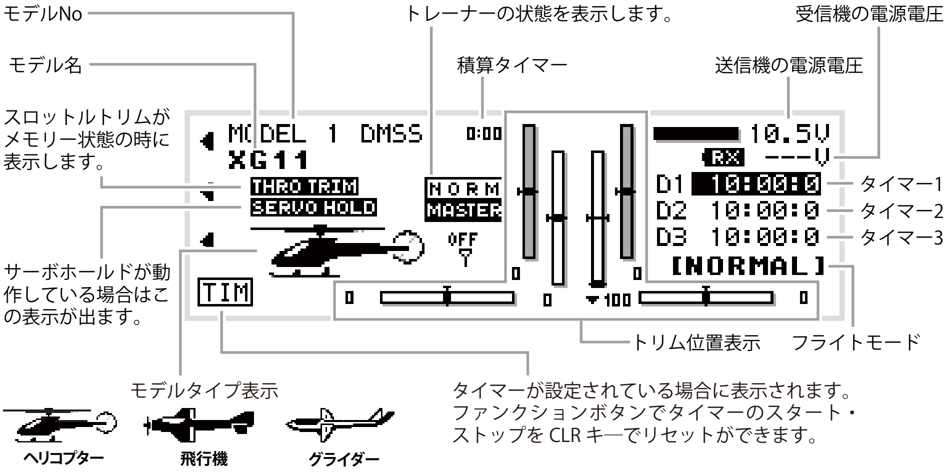
クリアキー
基本的には設定量の初期化の動作をしますが、画面部に矢印以外の項目が出た場合は、その項目の動作となります。

ファンクションキー
基本的な割当はありませんが、画面部に項目が出た場合は、その項目の動作となります。

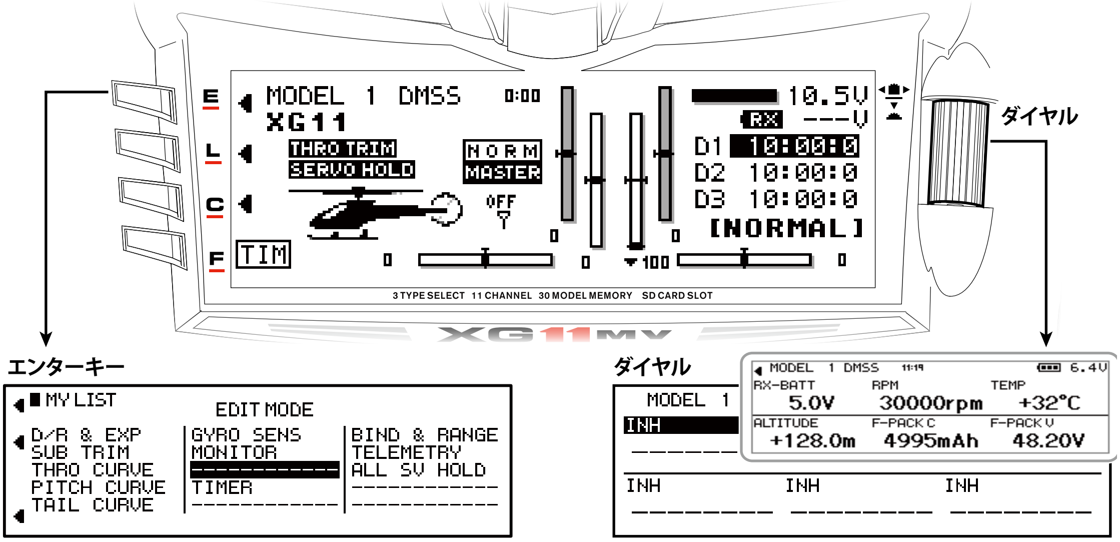


【ワンポイント】
数値入力の際ファンクションキーを押しながらダイヤルを回すと数値の変化量を大きく入力することができます。

インフォメーション画面



初期 INFO 画面から進めるページ



「マイリスト画面」P.24 参照

サブインフォメーション画面

サブインフォメーション画面

初期 INFO 画面でダイヤルを回してゆくと2ページ目が表示されます。
そのページが、サブインフォメーション画面です。
サブインフォメーション画面には、右表の項目を最大6個まで表示させることが可能です。
DMSS モジュールの場合、テレメトリーセンサーの計測値が表示可能です。

「テレメトリー【TEREMETRY】」P.91 参照

※ 右表の注意

センサーの列に「○」印がある項目には専用センサーが必要となります。
別途ご購入ください。

サブインフォーメーション画面で選択可能な項目

項目	表示内容	モジュレーション	タイプ	センサー
INH	非表示	全て	全て	-
RX BATTERY	受信機電源電圧	DMSS のみ	全て	-
TEMPERATURE	温度	DMSS のみ	全て	○
PPM	回転数	DMSS のみ	全て	○
ALTITUDE	高度	DMSS のみ	全て	○
AIR PRESSURE	気圧	DMSS のみ	全て	○
VARIOMETER	上昇・下降速度	DMSS のみ	全て	○
F-PACK VOLT	1 次電源電圧	DMSS のみ	全て	○
F-PACK CAPA	1 次電源容量	DMSS のみ	全て	○
F-PACK AMP	1 次電源電流	DMSS のみ	全て	○
F-PACK WATT	1 次電源電力	DMSS のみ	全て	○
TIMER 1	タイマー 1	全て	全て	-
TIMER 2	タイマー 2	全て	全て	-
TIMER 3	タイマー 3	全て	全て	-
FLIGHT MODE	使用中フライトモード	全て	全て	-
TX BATTERY	送信機電源電圧	全て	全て	-
THRO STICK	スロットルスティック値	全て	HELI/ACRO	-
THRO CURVE	スロットルカーブ値	全て	HELI/ACRO	-
PITCH CURVE	ピッチカーブ値	全て	HELI/ACRO	-
SPOI STICK	スポイラースティック値	全て	GRID	-

システムリストとファンクションリストの切り替え

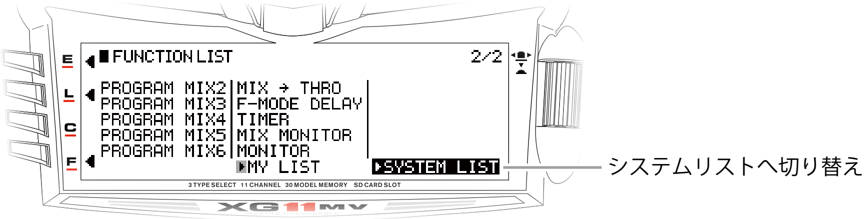
プロポの各機能の設定項目は、「システムリスト」と「ファンクションリスト」の2つに分かれています。
システムリストでは、プロポの基幹部分を設定、ファンクションリストでは、各機能の詳細が設定できます。
また、システムリストで設定した状態によって、ファンクションリストの表示内容が変更されます。
例えば、システムリストでヘリコプターを選択すると、ファンクションリストでヘリコプター用の機能だけが表示され、飛行機やグライダーの設定項目が非表示になります。

「ファンクションリストの各機能」28 ページ、「システムリストの各機能」75 ページ参照

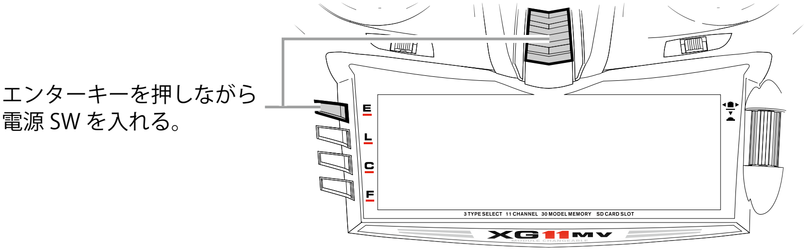
システムリストの表示方法

システムリストを表示させる方法は、下記のとおりです。

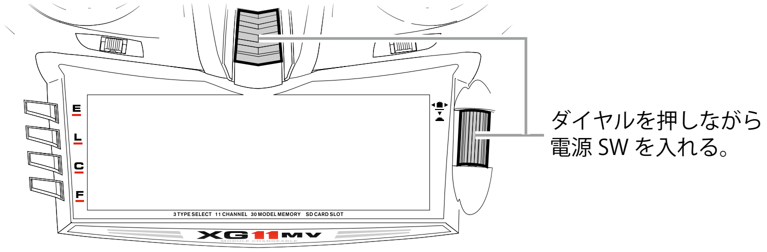
1) ファンクションリストの項目からの移動。
ファンクションリストのメニューをダイヤルで順次選択してゆくと、2ページ目の下部に SYSTEM LIST(システムリスト) が表示されます。
選択した状態でダイヤルをプッシュするとシステムリストが表示されます。



2) エンターキーを押しながら、電源を入れる。

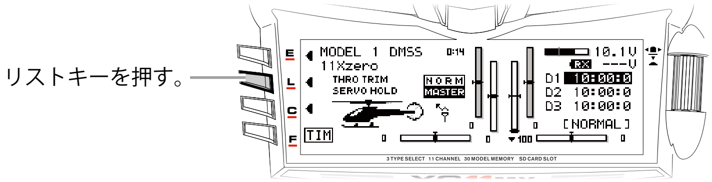


3) ダイヤルを押しながら、電源を入れる。



ファンクションリストの表示方法

ファンクションリストを表示させるには、リストキーを押します。

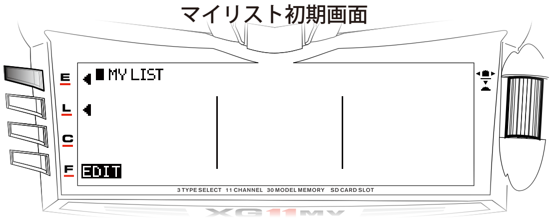


マイリスト画面

マイリスト機能

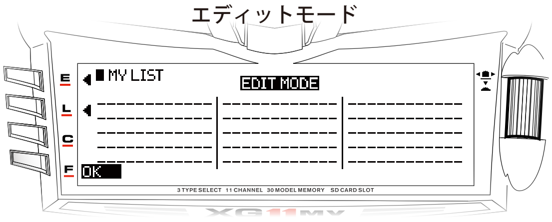
- よく使用する機能を任意で選択しオリジナルのプログラムリスト画面（マイリスト）を作成する機能です。「システムリスト」「ファンクションリスト」のどちらからでも選択可能。画面上の【MY LIST】にカーソルをあわせ「ENT キー」または「ダイヤルを押す」ことでマイリスト表示に切替ります。なお、初期状態ではマイリストになにも選択されていません。

マイリスト初期画面



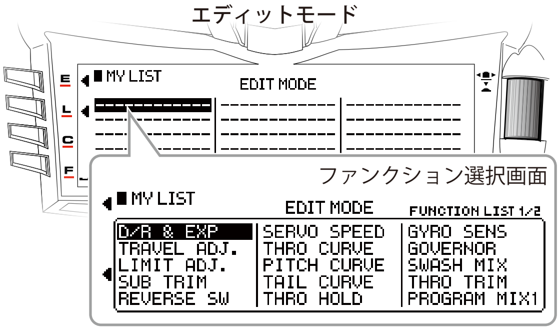
- このリストにファンクションを追加するのは一番下のファンクションキーを押します。(EDIT MODE と点滅しながら表示されます。)

エディットモード



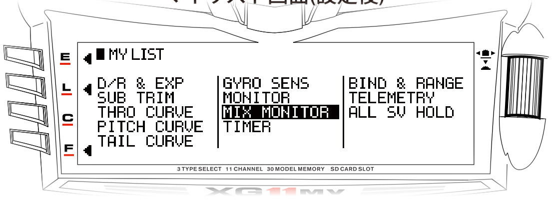
- ダイヤルを回し希望の位置にカーソルを移動しダイヤルを押すとリストに登録可能な項目が表示されますのでダイヤルを回し登録したい項目の上で更にダイヤルを押してください。

エディットモード

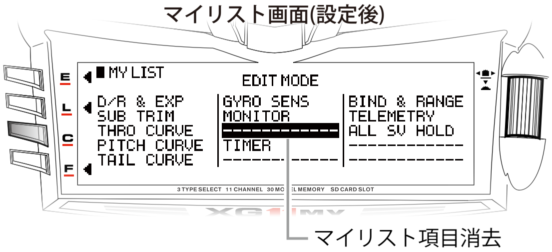


- エディットモードに戻りファンクションキーを押すと入力終了します。
マイリストに登録した機能を削除したい場合はその項目の上にカーソルを移動しクリアキーを押してください。

マイリスト画面(設定後)



マイリスト画面(設定後)



モデル設定時のナビゲーション

新しくモデルを作成した時やモデルタイプを変更した場合、自動的に各タイプの基本的な設定項目が順番に表示されます。

STEP 1　タイプ選択

▼

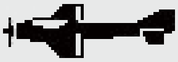
STEP 2　モデルネーム入力

▼

STEP 3　モデル選択

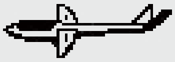
(HELI)
ヘリコプター

スワッシュタイプ選択
▼
※スワッシュMIX設定
▼
ジャイロch選択



(ACRO)
飛行機

ウィングタイプ選択
▼
※デュアルエルロン選択
▼
Vテール設定



(GLID)
グライダー

デュアルフラップ選択
▼
Vテール選択

※CCPM選択時　※ウイングタイプ「NORMAL」選択時

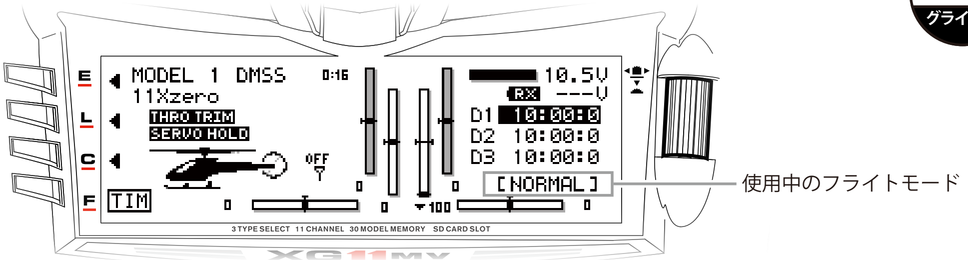
ヒント

- 使用中（選択中）のモデルを削除した場合、新規データ作成の為自動的にナビゲーション機能が表示されます。

フライトモード

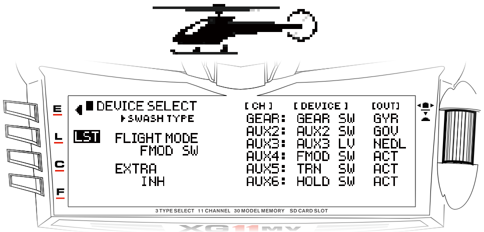
機能説明

- フライトモード機能は、フライトの状況に合わせた様々な機体の設定をスイッチ操作により一括で切替えることができる機能です。
- フライトモードの切替設定数は各タイプごとに異なります。
  ヘリコプター：最大 6 種類　/　**飛行機：**最大 3 種類　/　**グライダー：**最大 6 種類
- 使用中のフライトモードはインフォメーション及びサブインフォメーション画面にて確認が可能です。
  また、表示名はシステムリスト内の「フライトモードネーム (F-MODE NAME)」にて変更が可能です。



※ 飛行機とグライダーモードには出荷時にフライトモードスイッチは設定されておりません。「デバイスセレクト」でフライトモードに割り当てるスイッチ を設定してください。

「ヘリコプタータイプの場合」



- ● ノーマルモード (NORMAL)
- ● スタントモード 1(STUNT-1)
- ● スタントモード 2(STUNT-2)
- ▲ スタントモード 3(STUNT-3)
- ▲ スタントモード 4(STUNT-4)
- ▲ ホールドモード (HOLD)

※「▲」は初期設定時は使用できません。

フライトモードの拡張

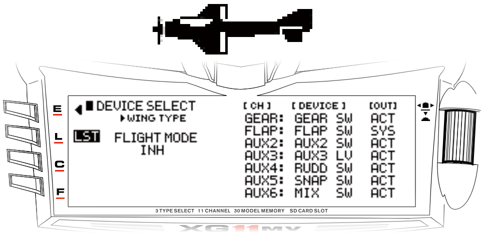
スタントモード３・4 は初期設定では無効です。各モードを有効にするにはシステムリスト内「デバイスセレクト (DEVICE SEL)」にて EXTRA 設定で任意のスイッチを選択してください。

※ ホールドモードは初期設定では無効です。ファンクションリストの「スロットルホールド」(THRO HOLD) にて有効 (ACT) にすることで拡張が可能です。

ヒント

- 条件が重なった場合のフライトモードの優先順位は下記です。
  「**HOLD > NORMAL > STUNT-3/STUNT-4 > STUNT-1/STUNT-2**」

「飛行機タイプの場合」



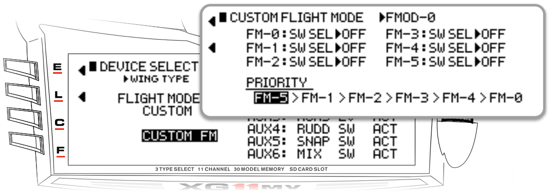
- ▲ フライトモード 0(FMOD-0)
- ▲ フライトモード 1(FMOD-1)
- ▲ フライトモード 2(FMOD-2)
- ▽ フライトモード 3(FMOD-3)
- ▽ フライトモード 4(FMOD-4)
- ▽ フライトモード 3(FMOD-5)

フライトモードの使用

フライトモードは初期設定では無効です。機能を有効にするにはシステムリスト内「デバイスセレクト (DEVICE SEL)」にてフライトモード機能 (FLIGHT MODE) をつかい、任意のスイッチを選択してください。

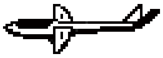
▽ マークのモードは、フライトモード設定を「カスタム (CUSTOM)」に設定した時のみ選択可能です。

- カスタム (CUSTOM)
  "CUSTOM" を選択した場合、"CUSTOM FM" が表示され、カスタムフライトモードの設定が可能になります。
  "CUSTOM FM"にカーソルを合わせてダイヤルをプッシュすると、各フライトモード毎にフライトモードを切り換えるスイッチとポジションが設定出来る画面が表示されます。
  必要に応じて設定してください。

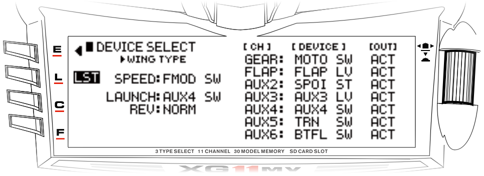


  - ▶ プライオリティー (PRIORITY)
    フライトモードの優先順位を設定できます。
    優先順位は、左が高く、右に行くほど低くなります。
    優先順位を上げたいフライトモードにカーソルを合わせ、ダイヤルをプッシュすることで優先順位が上がります。
    また、一番左でダイヤルをプッシュすると優先順位が下がります。

「グライダータイプの場合」



▲ スピードモード (SPEED)
▲ クルーズモード (CRUISE)
▲ サーマルモード (THERMAL)
△ ランディングモード (LAMD)
△ ランチモード (LAUNCH)
▽ ディスタンスモード (DIST)



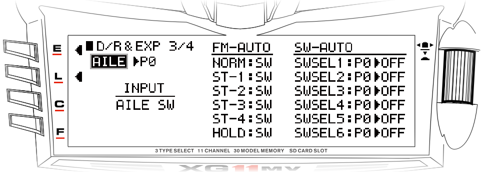
※ フライトモード は初期設定では無効です。
機能を有効にするにはシステムリスト内「デバイスセレクト (DEVICE SEL)」にて下記設定を行います。

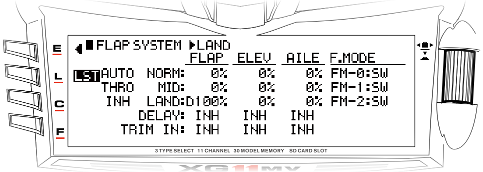
※「スピード (SPEED)」設定で▲マークのモード選択が可能になります。

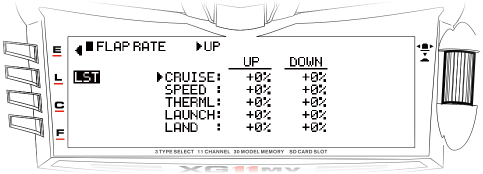
※ さらにフライトモードを拡張する場合、「ランチ (LAUNCH)」を設定してください。
スイッチの種類やフライトモードにより下記の動作になります。
3ポジションスイッチ・・・△マークのモードが選択可能です。
2ポジションスイッチ・・・ランチモードのみ選択可能です。
▽ディスタンスモード (DIST) は、フライトモード設定を「カスタム (CUSTOM)」に設定した時のみ選択可能です。

フライトモード毎に変更できる項目例

フライトモード毎に変更できるのは、デジタルトリムや各ファンクション内で設定できる項目などです。







デュアルレート & エクスポ【D/R&EXP】

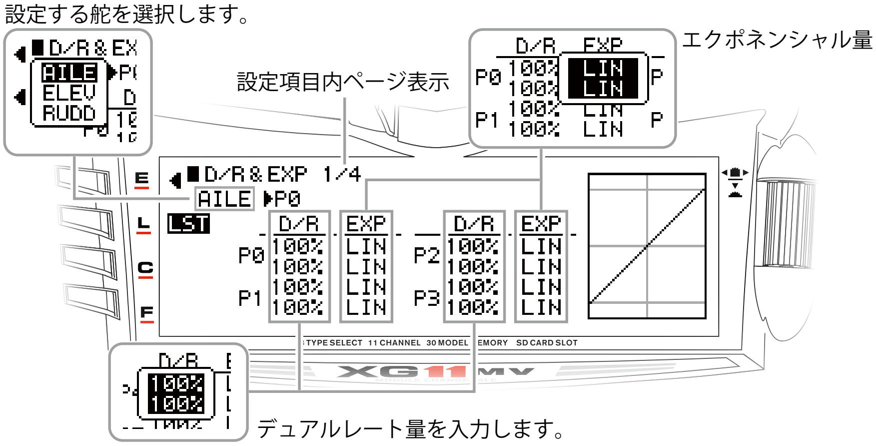
機能説明

デュアルレート (D/R) はエルロン、エレベーター、ラダーの各舵をスイッチやフライトモード毎に舵角量を切り替える機能です。
また、エクスポネンシャル (EXP) はスティック操作に対するサーボの動作を対数曲線的に変更し、最大舵角は変えずにニュートラル付近の動きを「+ 方向」でマイルドに「- 方向」でクイックに調整できるカーブ調整機能です。 の切換を行います。
デュアルレート量とエクスポネンシャルを組み合わせることにより、それぞれ独立した色々なセッティングが可能になり、機体の反応を変化させることができます。
各入力値はグラフにて表示されセッティング状態を視覚的に確認することができます。

設定方法

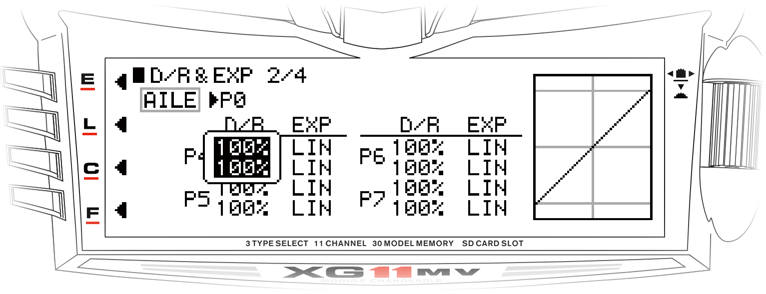
デュアルレート / エクスポネンシャルはエルロン、エレベータ、ラダーの各舵にポジション 0（P0）からポジション 7（P7）までの設定が可能です。

D/R & EXP 内：ページ 1/4



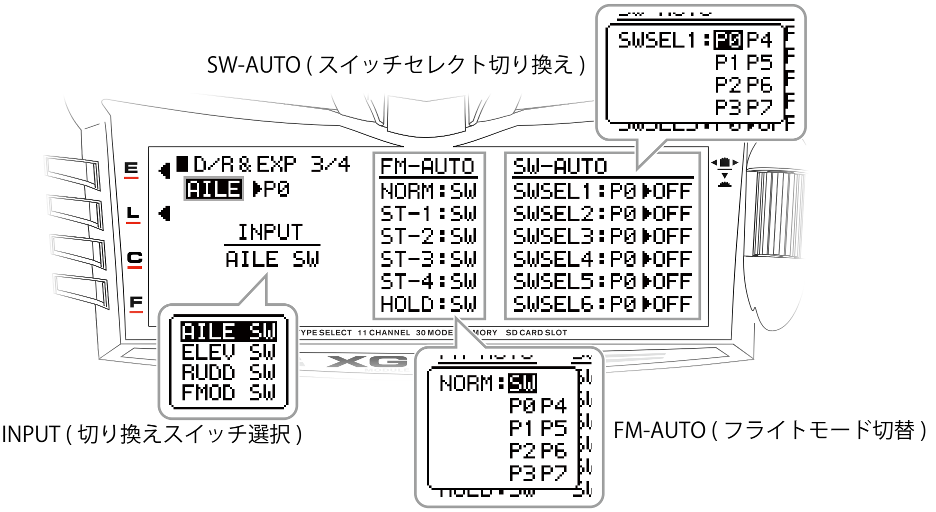
- デュアルレート数値入力
  設定するポジションの D/R 数値にカーソルを合わせ選択します。
  対象舵のスティックがニュートラル位置にある場合は、左右の動作量を同時に入力します。左右別々で設定する場合は、スティックを設定する側に操作することでカーソルが分かれます。その状態でダイヤルにて数値を入力してください。

D/R & EXP 内：ページ 2/4



- エクスポネンシャル数値入力
  初期設定では LIN（リニア）です。エクスポを設定する場合、設定するポジションの EXP にカーソルを合わせてダイヤルを押して選択、ポップアップ内で数値を入力してください。入力した数値に応じてグラフが変化します。

- モード切り換えスイッチの選択
  D/R & EXP 内：ページ 3/4



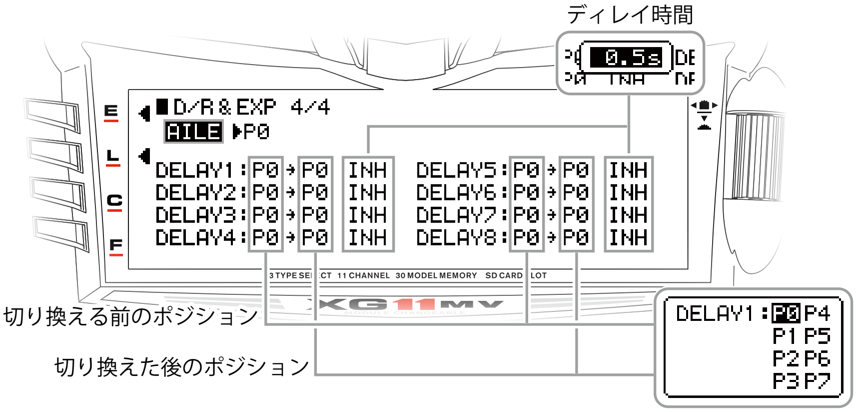
- デュアルレート切り替えスイッチ選択
  INPUT(切り換えスイッチ選択) によって、デュアルレートを切り換えるスイッチを選択できます。
  3 ポジションスイッチの場合、スイッチの一番上の時が「ポジション 0」(P0)、センターが「ポジション 1」(P1)、一番下の時が「P2」となります。
- フライトモード切替 (FM-AUTO)
  FM-AUTO(フライトモード切り換え) によって、フライトモード毎のデュアルレートの設定ができます。　フライトモード毎に使用したいデュアルレート値を設定してください。
  また、"SW" を設定すれば、そのフライトモードでは "INPUT" で選択したスイッチによってデュアルレートを切り換えることができます。

※「FM-AUTO」の設定は、「INPUT」の設定よりも優先順位が高くなります。

- スイッチセレクト切り換え (SW-AUTO)
  6 種類の「スイッチセレクト」(SW SEL) にて、スイッチなどの自由な組み合わせでデュアルレート値を切り換えることができます。
  「スティックポジションスイッチ」(SPS) も使用できますので、スティック操作でデュアルレートを切り換えることも可能です。

※「SW-AUTO」の設定は、「FM-AUTO」の設定よりも優先順位が高くなります。
　また、6 種類の「スイッチセレクト」(SW SEL) の条件が重なった場合の優先順位は、**「 SWSEL1 > SWSEL2 > SWSEL3 > SWSEL4 > SWSEL5 > SWSEL6 」**です。

- ディレイ機能 (DELAY)
  デュアルレートを切り換えた時のディレイを 8 種類まで設定できます。　切り換える前のポジションと切り換えた後のポジションを選択し、ディレイ時間を設定してください。
  切り換えたポジション位置にサーボがゆっくりと動作します。　初期設定では無効 (INH) です。



ヒント

- デュアルレート量の設定値は 0 ～ 125%、エクスポネンシャル量の設定値は LIN(0%) ～± 100% です。
- デュアルレート量とエクスポネンシャル量は、スティック操作によって数値の反転表示部が左右 (上下) の個別に移動でき、個別に調整可能です。　また、数値入力の設定枠が表示されているときは、クリアーキーにより初期値にリセットできます。

注意事項

- 飛行前には実際にサーボを動作させて良く設定を確認してください。

トラベルアジャスト【TRAVEL ADJUST】

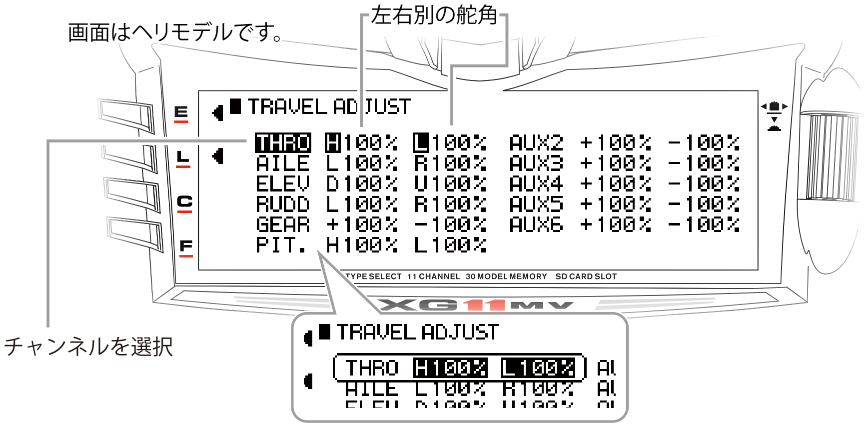
機能説明

各チャンネルのサーボの左右 (上下) 別々の舵角調整ができる機能です。角度調整はニュートラルを基準として調整されます。調整範囲は左右 (上下) それぞれ 0 〜 150% の範囲で調整ができます。標準値は 100% で、これが通常の舵角です。

設定方法

各チャンネル毎に設定できます。設定変更したいチャンネルにダイヤルを合わせて設定してください。設定値入力時はスティックやスイッチ操作によって数値の反転表示部が左右 (上下) の個別に移動でき、希望する方向の蛇角調整が行えます。

※ チャンネル名称はモデルタイプで異なります。



注意事項

- 実際にサーボを動作させてリンケージがロックしていないか飛行前に良く確認してください。

リミットアジャスト【LIMIT ADJUST】

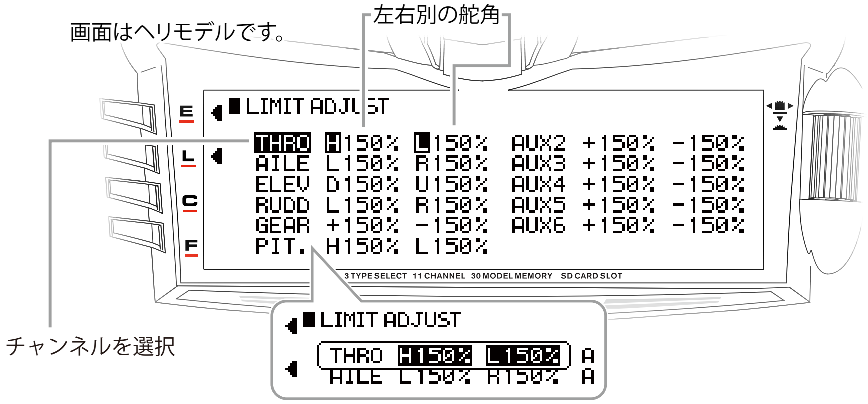
機能説明

各チャンネルのサーボの左右最大蛇角を制限する機能です。　複数のミキシングを使用すると、サーボの動作角が大きくなり過ぎリンケージに無理をかけます。
これにリミット値を設定すると、その値以上にはサーボが動作しないようにする事ができます。

設定方法

各チャンネル毎に設定できます。設定変更したいチャンネルにダイヤルを合わせて設定してください。
設定値入力時はスティックやスイッチ操作によって数値の反転表示部が左右 (上下) の個別に移動でき、希望する方向の最大蛇角リミット調整が行えます。

※ チャンネル名称はモデルタイプで異なります。



注意事項

- 実際にサーボを動作させてリンケージがロックしていないか飛行前に良く確認してください。

サブトリム【SUB TRIM】

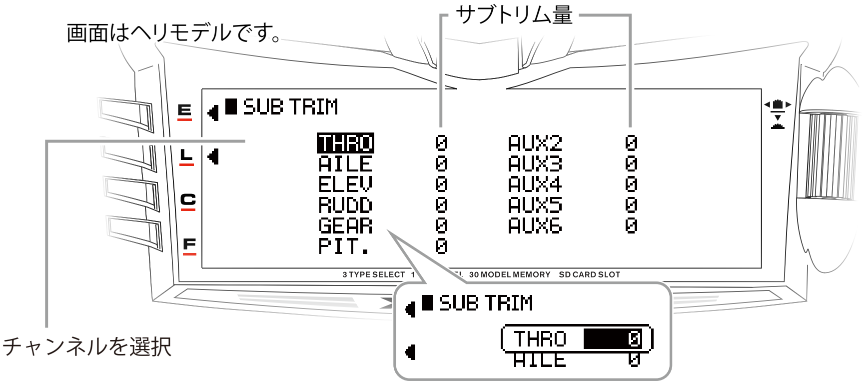
機能説明

各チャンネルに接続したサーボの補助的なトリムです。サーボホーンの取付角度がリンケージに対して 90 度にならない時等の微調整としてご使用ください。
尚、あまり大きく動かすと、サーボの最大舵角に影響が出ますので、できるだけ小幅な調整をお勧めします。

設定方法

各チャンネル毎に設定できます。設定変更したいチャンネルにダイヤルを合わせて設定してください。

※ チャンネル名称はモデルタイプで異なります。



注意事項

● 実際にサーボを動作させてリンケージがロックしていないか飛行前に良く確認してください。

リバース スイッチ【REVERSE SW】

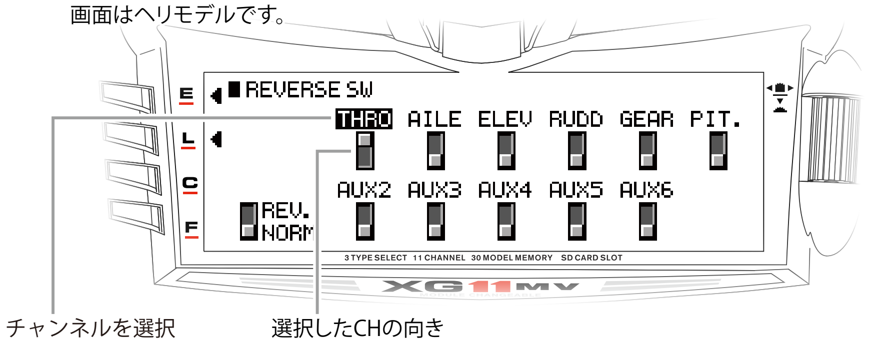
機能説明

各チャンネルのサーボ動作方向を逆にする機能です。

設定方法

各チャンネル毎に設定できます。設定変更したいチャンネルにダイヤルを合わせて設定してください。
「NORM」が通常方向、「REV.」が逆方向です。
実際にリンケージされたサーボの動作方向を確認して設定してください。

※ チャンネル名称はモデルタイプで異なります。



重要な注意事項

フェイルセーフを設定した状態でリバーススイッチ設定を変更した場合、フェイルセーフの動作にも影響しますので設定した状態では逆向きに作動します。
このため、機体によりリバーススイッチの設定で、スロットルチャンネルをリバースの設定とするとフェイルセーフが働いた場合に、フルハイ側となり大変危険です。

送信機の設定の最後に、必ずフェイルセーフの設定 (スティックを設定したい位置に合わしメモリーキーを押す) を実行し、必ず動作確認 (いったん送信機の電源を切り、サーボの動きが正しい位置になるかどうか) を行ってください。

サーボスピード【SERVO SPEED】

機能説明

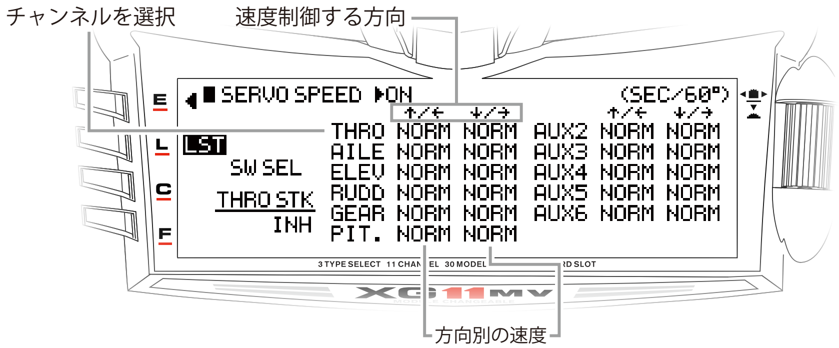
各チャンネルのサーボの動作速度変える (遅くする) 機能です。設定した速度より遅い操作に関しては作用しません。　スピードリミッタとお考えください。
速度設定は左右 (上下) 別に設定できます。　そしてこの設定はフライトモードごとや任意のスイッチでの ON-OFF やポジション毎の値を設定できます。　また、スロットルスティックの位置と組み合わせて動作させることもできます (グライダー除く)。

設定方法

各チャンネル毎に設定できます。設定変更したいチャンネルにダイヤルを合わせて設定してください。

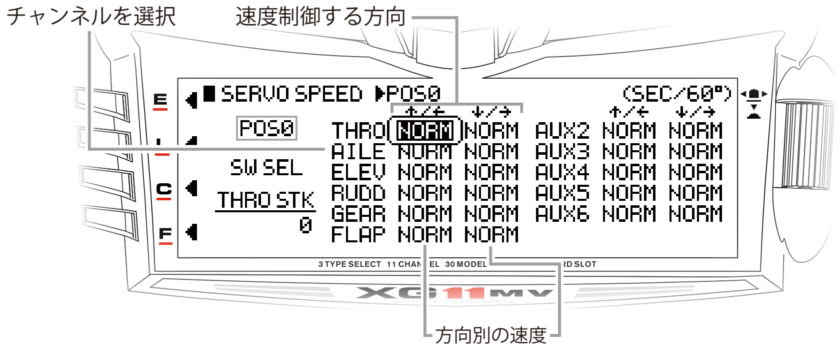
「ヘリコプタータイプの場合」

設定できるスピードは、各チャンネル毎に 1 設定です。　また、スロットルスティックとの連動による ON/OFF も可能です。



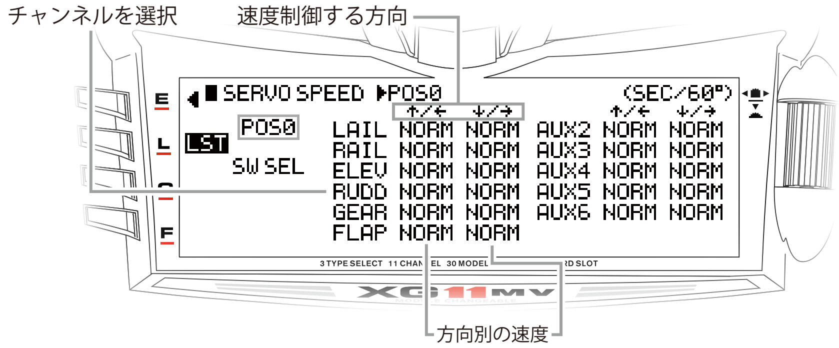
「飛行機タイプの場合」

設定できるスピードは、各チャンネル毎に 2 設定です。　また、スロットルスティックとの連動により、2 つの設定を切り替えることも可能です。



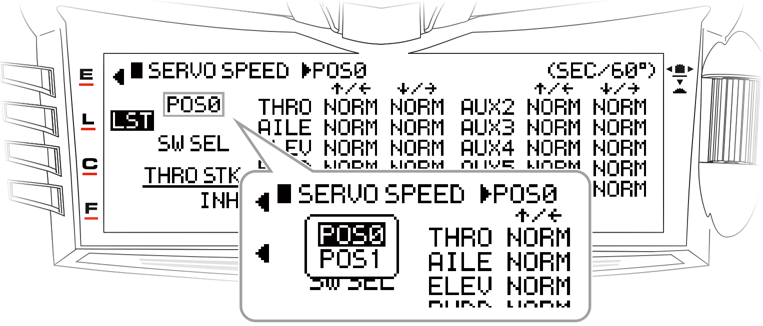
「グライダータイプの場合」

設定できるスピードは、各チャンネル毎に 2 設定です。　また、スティックとの連動はありません。　但し、スティックポジション・スイッチ (SPS) での切り換えは可能です。

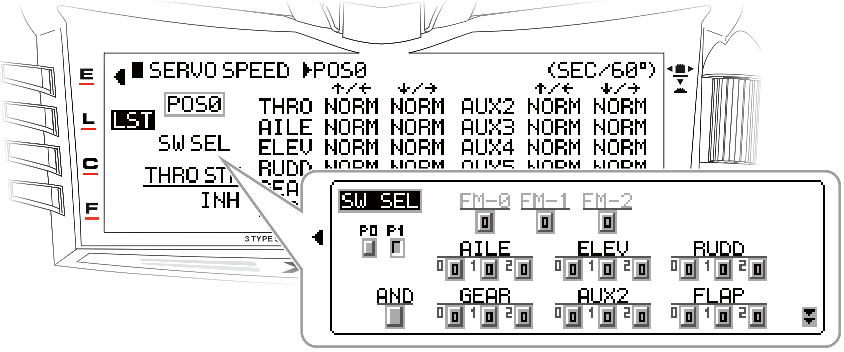


ヒント

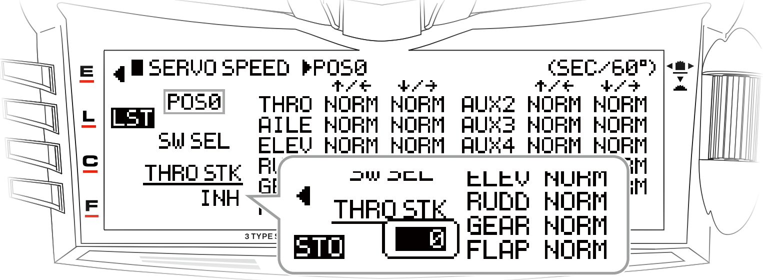
- 用途によって、サーボスピードが無効なチャンネル は「----」表示となり、設定できません。
- スピード値の設定時はクリアーキーにより、通常のスピード (NORM) にリセットできます。



この機能をON-OFFするSWを選択できます。ON-OFFの動作状況は画面上に表示されます。



スロットルスティックでのON-OFF機能
（ヘリ、飛行機タイプのみ。）



設定数値より下でONになります。

注意事項

- 実際にサーボの速度を良くご確認して設定してください。

スロットルカーブ【THRO CURVE】

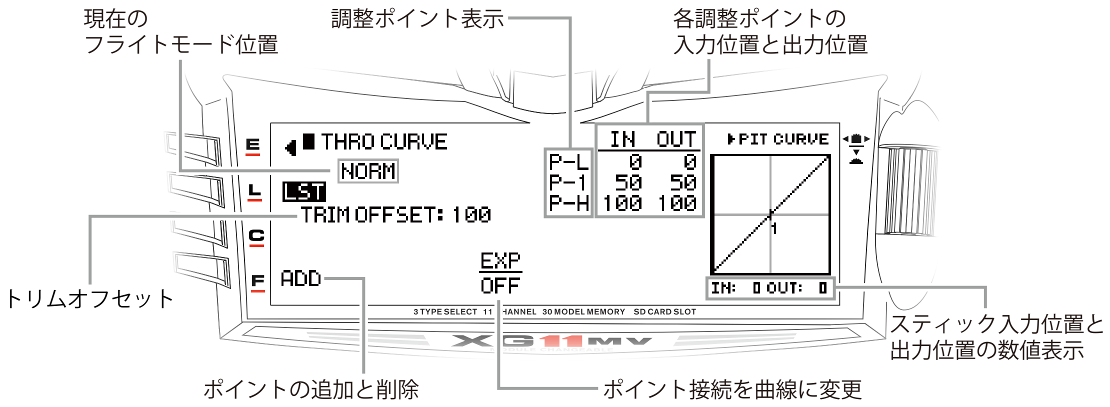
機能説明

スロットルスティックの操作に対するサーボの動作を調整する機能です。スティック操作からのサーボ動作を最大 7 ポイントの位置に対応させたカーブで自由に設定できます。また各ポイントの接続を滑らかにするエクポネンシャル機能も装備しています。このカーブ設定はヘリタイプでは各フライトモード毎に最大 5 種類、飛行機タイプでは 2 種類、設定できます。

設定方法。

初期設定では、スロー、センター、ハイ側の 3 ヵ所にポイントが設定されています。ポイントを追加するにはスティックを希望の位置にして「ADD」キ―を押します。またポイントを削除する場合は「DEL」キ―で行います。
設定変更したいポイントにをダイヤルを回して選択し、ダイヤルをプッシュして設定枠を表示させ数値を入力してください。

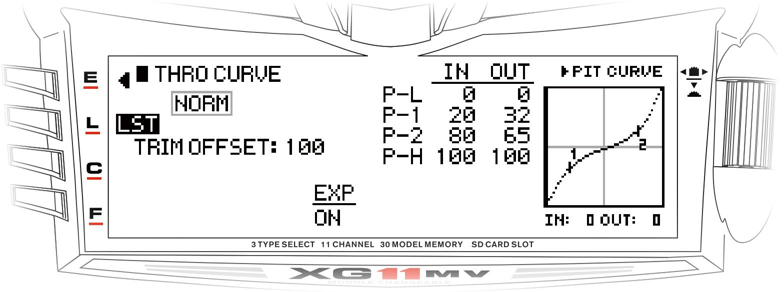
- トリムオフセット
  スロットルトリムの動作範囲をオフセットより調整することができます。



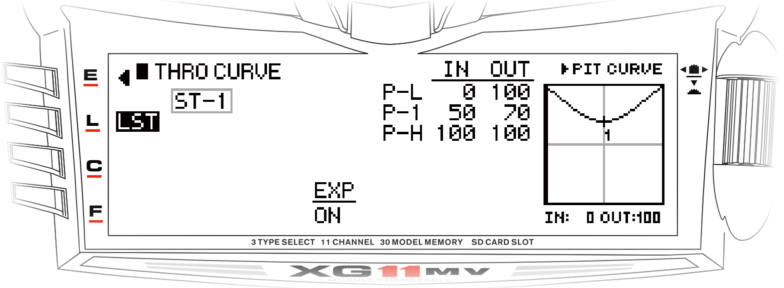
「ヘリコプタータイプの場合」

ヘリタイプでは、各フライトモード毎 (ノーマル、スタント 1 ～ 4) にそれぞれのカーブが割り当てられていますので、実際にフライトモードを切り換えてそれぞれのカーブを設定してください。

ノーマルモード

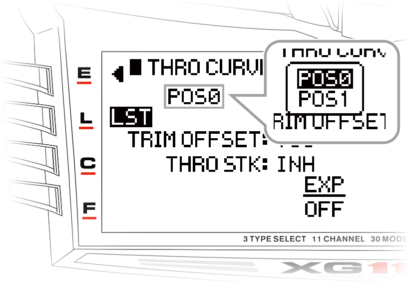


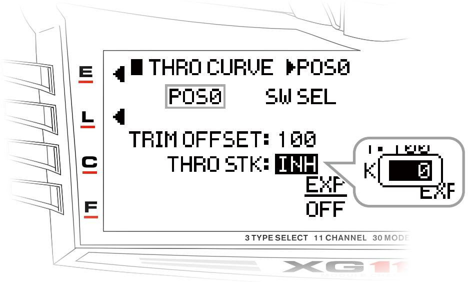
スタントモード

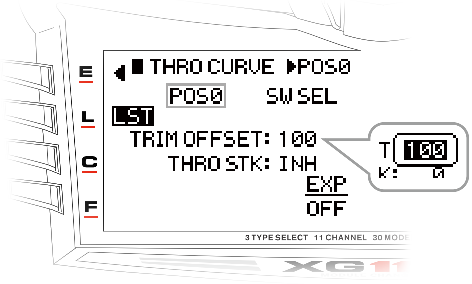


「飛行機タイプの場合」

飛行機タイプでは、2 種類のカーブが用意されていますおり、各スイッチやフライトモード、スロットルスティックの任意の位置でカーブを切り換えることが可能です。







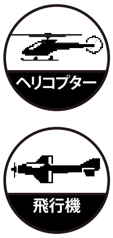
ヒント

- 「IN」と記載された数値がスロットルスティックの位置の値で、「OUT」と記載された数値がサーボへの出力値です。
- ここでの設定値は、0(最スロー) ～ 100(最ハイ) です。
- カーブ表示には、スロットルトリムやホバリング スロットルトリムの状態も反映されて表示されます。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ピッチカーブ【PITCH CURVE】

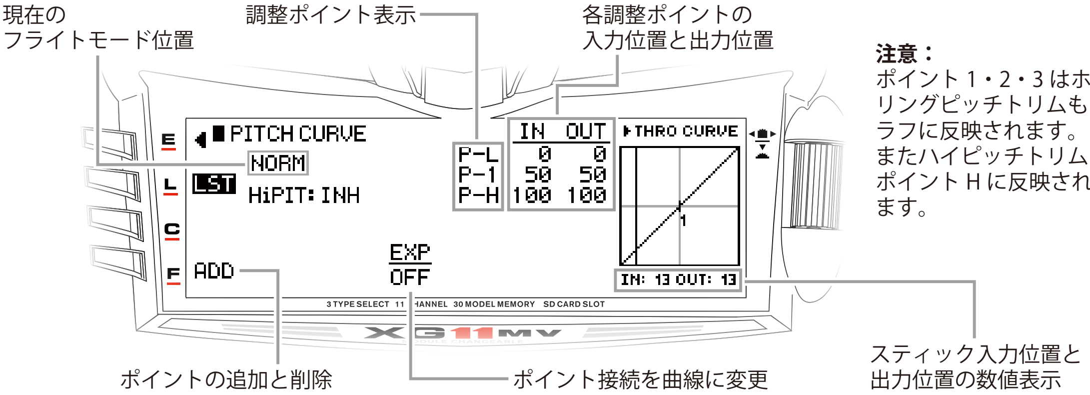


機能説明

この機能でスロットルスティック操作に対するピッチ動作を調整します。
スティック操作からのサーボ動作を最大 7 ポイントの位置に対応させたカーブで自由に設定できます。
また、各ポイントを滑らかに結ぶエクポネンシャル機能も装備しています。　このカーブ設定はヘリタイプではフライトモードごとに最大 6 種類、飛行機タイプでは 2 種類、設定できます。

設定方法

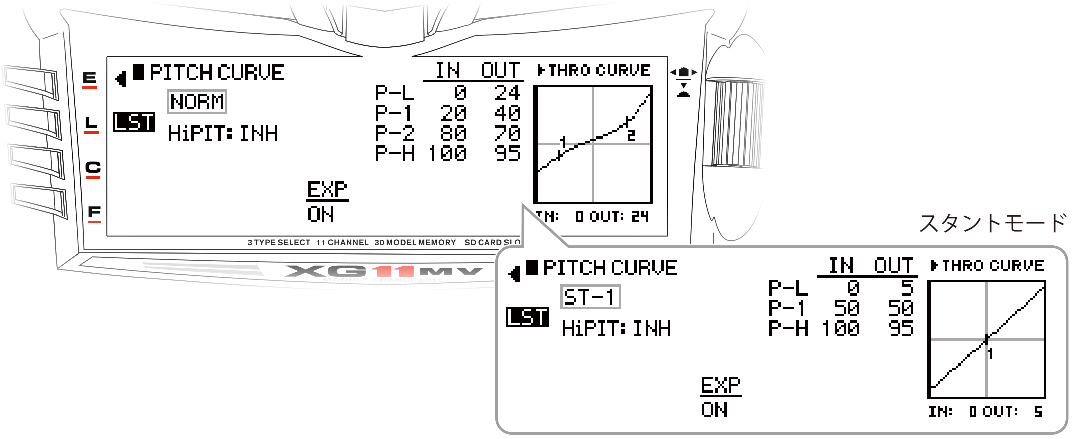
初期設定では、スロー、センター、ハイ側の 3 ヵ所にポイントが設定されています。ポイントを追加するにはスティックを希望の位置にして「ADD」キ―を押します。またポイントを削除する場合は「DEL」キ―で行います。　設定変更したいポイントにをダイヤルを回して選択し、ダイヤルをプッシュして設定枠を表示させ数値を入力してください。



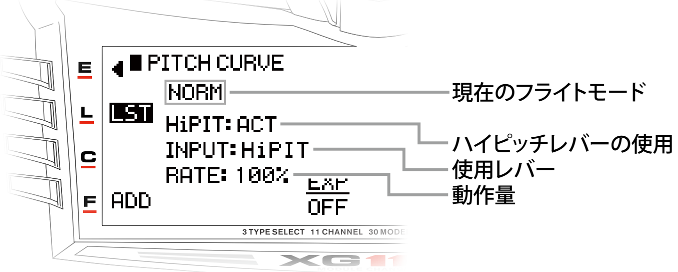
注意：
ポイント 1・2・3 はホバリングピッチトリムもグラフに反映されます。
またハイピッチトリムもポイント H に反映されます。

「ヘリコプタータイプの場合」

ヘリタイプでは、各フライトモード毎 (ノーマル、スタント 1 ～ 4、ホールド) にそれぞれのカーブが割り当てれていますので、実際にフライトモードを切り換えてそれぞれのカーブを設定してください。

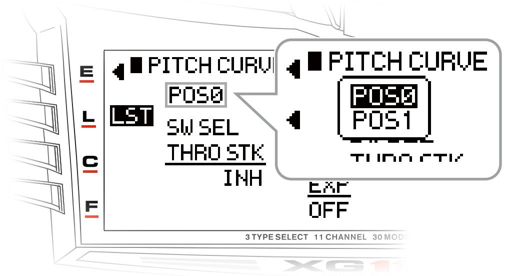


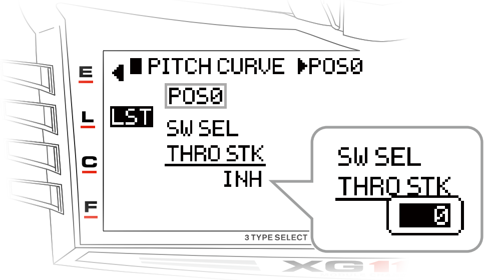
- ハイピッチトリム (HiPIT)
送信機の背面のレバーを使用してハイ側のピッチ調整が行えます。　通常、レバーはセンターの位置にしておき応急的な調整に使用してください。

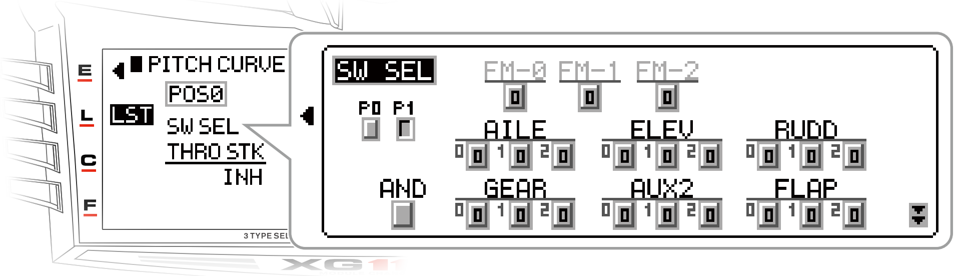


「飛行機タイプの場合」

システムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、何れかのチャンネルをピッチに設定 (「OUT」に「PIT.」を設定) した場合に本機能を設定することができます。
飛行機タイプでは、2 種類のカーブが用意されていますおり、各スイッチやフライトモード、スロットルスティックの任意の位置でカーブを切り換えることが可能です。







ヒント

- 「IN」と記載された数値がスロットルスティックの位置の値で、「OUT」と記載された数値がサーボへの出力値です。
- ここでの設定値は、0(最スロー) ～ 100(最ハイ) です。
- カーブ表示には、ホバリング スロットルトリムやハイピッチトリムの状態も反映されて表示されます。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

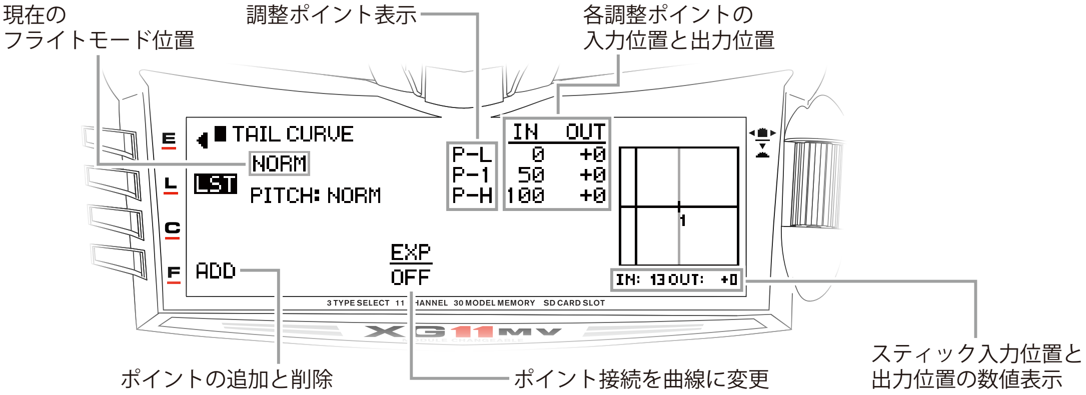
テールカーブ【TAIL CURVE】

機能説明

ピッチからテールサーボへのミキシングです。レボリューションミキシングとも呼ばれます。
自由にミキシング量を設定できます。　中間ポイントも増設でき自由な設定が可能です。またスタント系の細かな調整に便利なミキシングレート設定も可能です。設定カーブはフライトモードごとに最大 5 種類、設定できます。

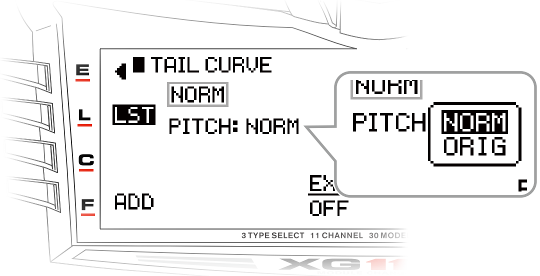
設定方法

初期設定では、スロー、センター、ハイ側の 3 ヵ所にポイントが設定されています。ポイントを追加するにはスティックを希望の位置にして「ADD」キ―を押します。またポイントを削除する
場合は「DEL」キ―で行います。　設定変更したいポイントにをダイヤルを回して選択し、ダイヤルをプッシュして設定枠を表示させ数値を入力してください。

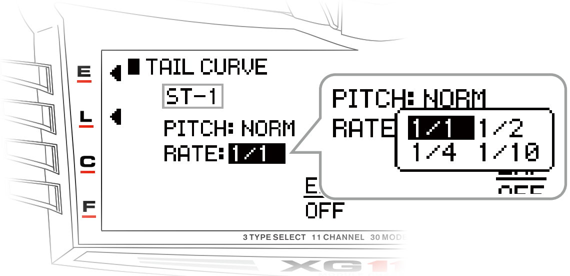


入力ピッチ (PITCH)

この機能で使用するピッチの入力値を選択します。
①「NORM」: ピッチカーブ機能で設定したピッチカーブを考慮した入力値。
② 「ORIG」: ピッチカーブを考慮しないスティック位置の入力値。



- スタントモード時のミキシングレート (RATE)
フライトモードをスタント位置にするとこの表示が出ます。これはグラフや出力数値はそのままでも、実際のミキシング量を下記の倍率で減らす作用を行います。この為より細かな調整が可能になります。但しスタントモード共通の倍率となります。
「1/1」: × 1
「1/2」: × 0.5
「1/4」: × 0.25
「1/10」: × 0.1



注意事項

- テールロック・ジャイロ (ヘディングロック・ジャイロ) では自動的にテールを補正するのでこの機能は不要です。各設定数値は必ずゼロにしてください。

スロットルホールド【THRO HOLD】

ヘリコプター

飛行機

機能説明

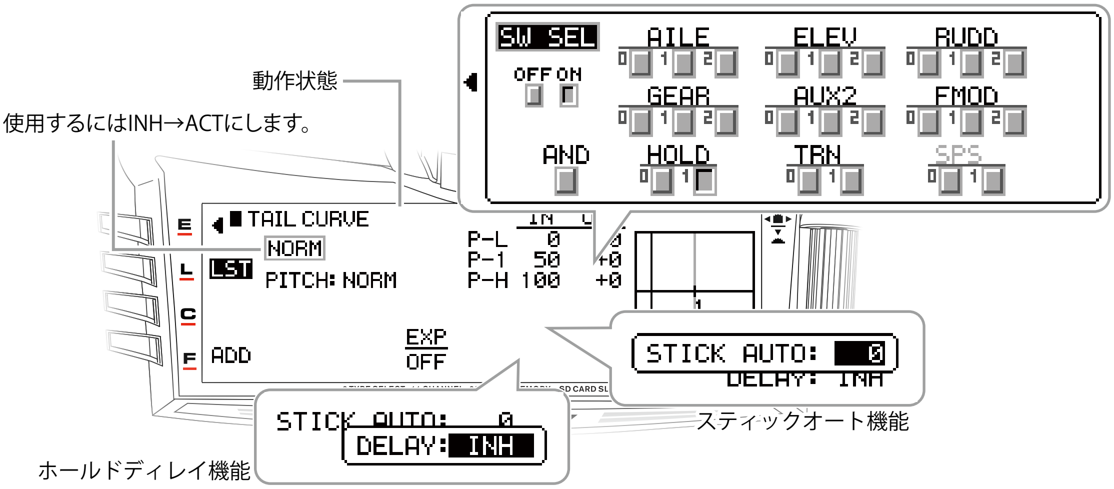
エンジンをホールドする位置に、スロットルサーボを固定するオートローテーション着陸の為の機能です。　選択したスイッチでエンジンを任意のスロー位置に固定できます。　また､スイッチとスティックの任意の位置でホールドするスティックオート機能もあります。

設定方法

この機能は初期設定では無効となっています。(INH 表示)　　有効にする為には、「INH」にカーソルを合わせて、ダイヤルをプッシュすることで「ACT」にしてください。　次に「HOLD POS.」にて、ホールドさせたい位置を設定してください。

「ヘリコプタータイプの場合」

初期設定では、ホールドさせる為のスイッチは「HOLD SW」の POS1 に設定されています。これはお好みにより、他のスイッチのポジションに変更することが可能です。



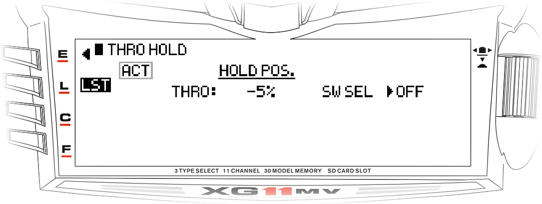
- スティックオート機能 (STICK AUTO)
  スイッチが ON になっている状態で、スロットルスティックを任意の位置にすることでホールド状態にさせることができます。
  スティックオート機能でホールド状態になっている時は、スイッチを OFF にすることでホールド状態を解除できます。
  初期設定では INH に設定されていますので、STICK AUTO の INH にカーソルを合わせて、ダイヤルをプッシュし、設定表示枠を評させた状態でスティックを動作させ任意の位置で STO キーを押して設定してください。
  IHN にする場合は、設定表示枠が表示された状態で CLR キーを押すことで INH にすることができます。
- ホールドディレイ機能 (DELAY)
  ホールド状態から解除した時に、急激にエンジンの回転が上がらないようにサーボの動作をディレイ (遅延) させる為の機能です。ディレイ時間は、0.1 ～ 2.0 秒です。
  このホールド機能を有効にしている時は、スロットルサーボのサーボスピードは無効となります。

ヒント

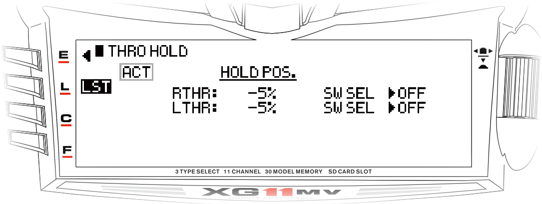
- ヘリモードの時は､本機能を ACT にすることで､フライトモードとして｢HOLD｣が使用できるようになります。それにより、HOLD 時のデュアルレートやピッチカーブの設定などを各機能にて設定することが可能となります。

「飛行機タイプの場合」

初期設定では、ホールドさせる為のスイッチは「MIX SW」の POS1 に設定されています。これはお好みにより、他のスイッチのポジションに変更することが可能です。



- ツインエンジンの場合
  ツインエンジンの場合、個別にホールド位置にホールドさせることが可能です。



注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ジャイロ感度【GYRO SENS】

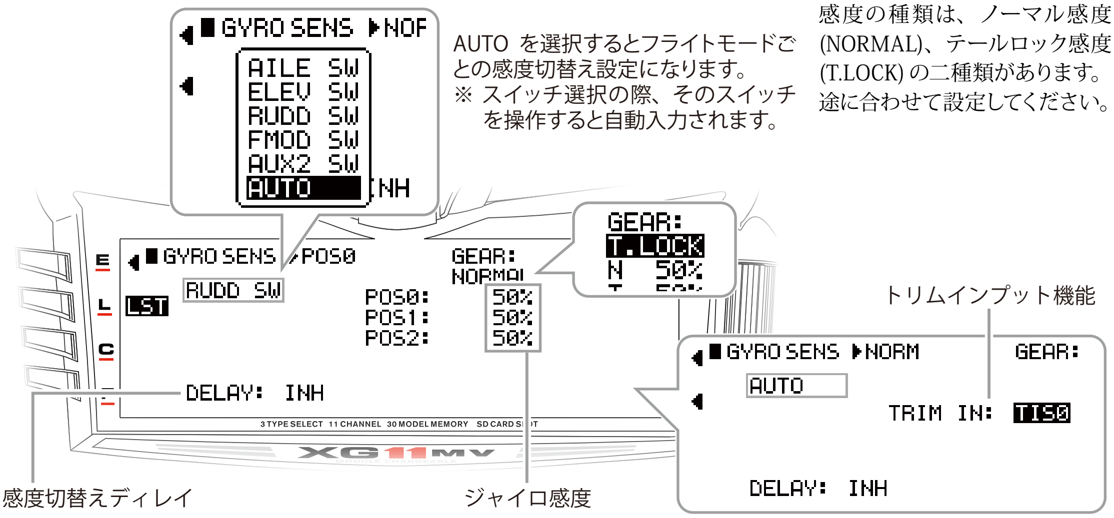
ヘリコプター
飛行機

機能説明

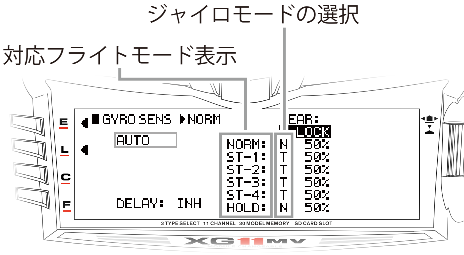
GEAR チャンネルや予備チャンネル (AUX) で送信機からジャイロの感度を調整する機能です。
1 つのチャンネルでテールロック感度〜ノーマル感度を設定できるモードや当社 G7000T のように 2 つのチャンネルで設定を行う「Dual Gain」、そして、3 軸ジャイロの AILE 軸、ELEV 軸、PIT. 軸のそれぞれの感度を個別に調整できるモードが搭載されています。
感度の切替えは各スイッチや各フライトモードにて行います。

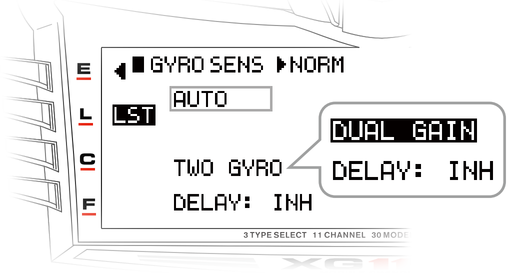
設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、何れかのチャンネルをジャイロに設定 (「OUT」に「GYRO.」を設定) する必要があります。
感度を切り替える為のスイッチを選択してスイッチのポジション毎の感度を設定表示枠を表示させて設定してください。
スイッチ選択表示の時に「AUTO」を選択した場合は、フライトモード毎にて感度を調整できます。



- 感度切り替えディレイ (DELAY)
  感度を高い方向に切り替える場合に、ローター回転が安定していない状態でのハンチングを抑える為に、感度の変化にディレイ (遅延) を設定することができます。
- トリムインプット機能 (TRIM IN)
  各ジャイロ感度をトリムレバーを使用して入力設定できます。 入力にトリムレバーを使用できるので飛行中であっても容易に微調整が行えます。
- 2 つのチャンネルをジャイロと設定した場合、下記の 2 種類のモードを選択できます。





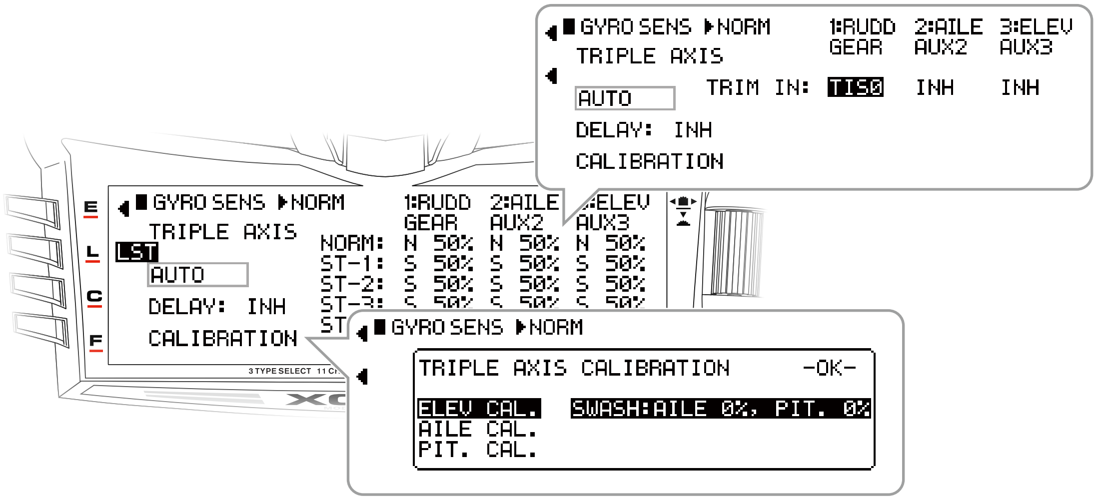
「TWO GYRO」
2 つのジャイロを個別に、それぞれの感度モードで設定できます。　但し、感度切り替えの為に使用できるスイッチは共通です。

「DUAL GAIN」
1 つのチャンネルをノーマル感度、もう 1 つのチャンネルをテールロック感度に固定して使用するモードです。

- TRIPLE AXIS モード
  3 つのチャンネルをジャイロとして設定した場合、AILE 軸、ELEV 軸、PIT. 軸のそれぞれの感度を、各スイッチや各フライトモードに切り替え可能です。
  また、それぞれの感度を、ノーマルかスタントに設定することが可能です。

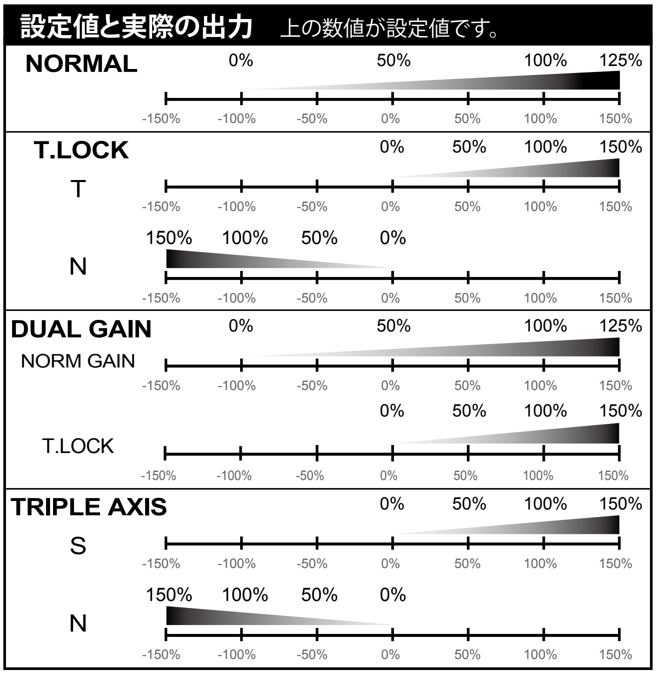
「CALIBRATION」
JR 製 RC ヘリコプター用 3 軸ジャイロシステムでは、プロポのスティックを操作してジャイロのコントロールユニット

に CCPM の種別判定と動作範囲を記憶させる作業「キャリブレーション」を行なう必要がある製品があります。その際、キャリブレーションする舵の操作を他の舵の影響をなく操作する必要があります。
このキャリブレーション機能を使用することで容易に設定することが可能です。



ヒント

- ジャイロ感度は図のように 4 タイプあります。　ご使用のジャイロの説明書を熟読して、ご使用にあったタイプを設定してください。
  ※感度の図を表示。
- トリムインプットを使用することで、トリムレバーでジャイロの感度値を変更できます。　フライトしながらでも容易に感度調整が行えます。



N＝ノーマル　　T＝テールロック　　S＝スタント

注意事項

- 事前にご使用のジャイロの説明書を熟読し、充分にご理解してからご使用ください。
- 飛行前にテールを振るなど、ジャイロの出力方法を必ず確認してください。

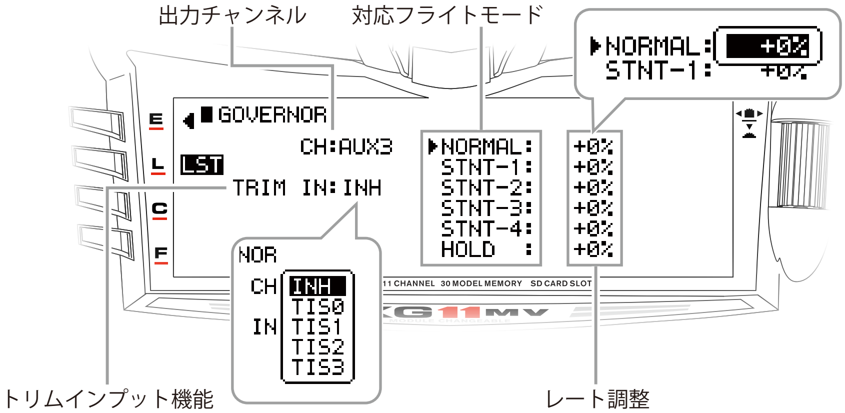
ガバナー【GOVERNOR】

機能説明

ローターの回転数を一定に保ち、安定したフライトを補助するガバナーの回転数を設定する機能です。
これは各フライトモード別に設定が可能です。また、トリムインプットスイッチ 機能も利用できます。

設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、何れかのチャンネルをガバナーに設定 (「OUT」に「GOV」を設定) する必要があります。
各フライトモードごとのローター回転数を設定します。希望のフライトモードにカーソルを合わせて、ダイヤルのプッシュで設定表示枠を表示させて設定してください。尚、ここでの設定はレート調整ですので実際の回転数はガバナー側で確認してください。



- トリムインプット機能 (TRIM IN)
  各ガバナー設定量をトリムレバーを使用して入力設定できます。 入力にトリムレバーを使用できるので飛行中であっても容易に微調整が行えます。

ヒント

- トリムインプットを使用することで、トリムレバーでガバナーの設定値を変更できます。フライトしながらでも容易に調整が行えます。

注意事項

- 事前にご使用のガバナーの説明書を熟読し、充分にご理解してからご使用ください。

スワッシュミキシング【SWASH MIX】

ヘリコプター

機能説明

この機能は、メインローターの動作を制御するサーボが 1 ～ 4 個のスワッシュに関するミキシングを設定します。このスワッシュミキシングは、CCPM システムを搭載したヘリコプターのスワッシュプレートの動作設定を簡単に行なう為のものです。

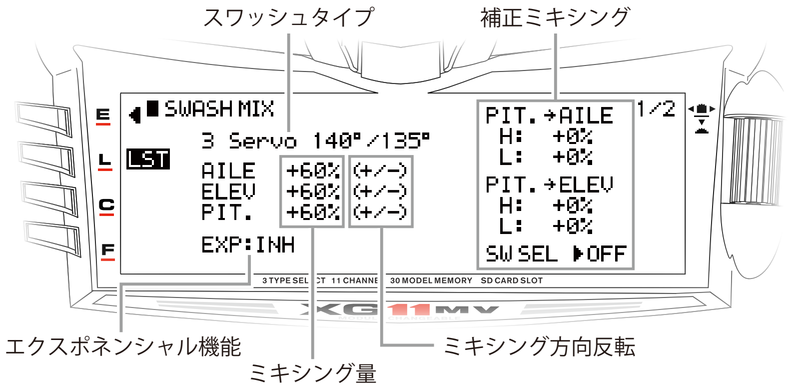
CCPM とは、サーボがスワッシュプレートに直接リンケージされ、ピッチを機械的に作動させる、ピッチミキシングの一種です。この送信機には、6 種類のスワッシュタイプが選択できます。

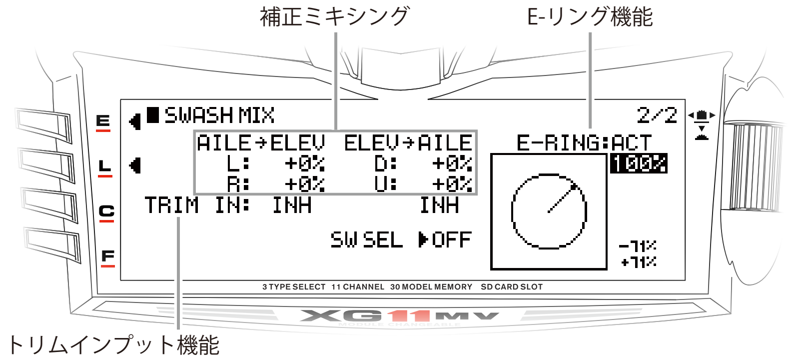
また、簡単にスワッシュ最大角度を調整する E- リング機能や、動作補正ミキシングも装備しています。

設定方法

スワッシュタイプは機体のスワッシュプレートの仕様に合わせて、あらかじめシステムリストの「スワッシュタイプ」(SWASH TYPE) にて設定してください。

エルロン (AILE)、エレベータ (ELEV)、ラダー (RUDD) のミキシング量の初期設定はそれぞれ +60% です。 ご使用のヘリコプターの仕様に合わせて、各舵のミキシング量を設定表示枠を表示させて設定してください。





- エクポネンシャル機能 (EXP)
  この機能を ACT にすることで、サーボホーンの円運動を直線運動に近づけることができます
- E- リング機能 (E-RING)
  この機能を ACT にすることで、電気的にスワッシュが全方向同じ角度に自動補正されます。スティックを操作してグラフで確認できます。また、円の直径はスワッシュの傾き角度で自由に設定することが可能です。
- 「補正ミキシング」

  ▶ PIT->AILE,->ELEV
  ピッチを上下させた時のエルロン側とエレベータ側の傾きを補正します。ピッチからエルロンとエレベーターへのミキシング量を前後左右別に調整できます。このミキシングの ON-OFF は各スイッチや各フライトモードで自由に設定できます。

  ▶ AILE->ELEV、ELEV->AILE
  エルロンとエレベーター操作がお互いに影響し合う場合の補正に使用します。エルロンとエレベーター相互のミキシング量が個別に調整できます。このミキシングの ON-OFF は各スイッチや各フライトモードで自由に設定できます。
  また、本機能にはトリムインプットを使用することができます。 フライトしながらでも容易に調整ができます。

- トリムインプット機能
  AILE>ELEV、ELEV>AILE の補正ミキシング量をトリムレバーを使用して設定できます。
  フライト中でもトリムで容易に調整が行えます。

ヒント

- 実際にサーボを動作させて、動作が逆になる場合はミキシング量をマイナス側に設定することも出来ます。
- ミキシング量の設定範囲は、± 125% ですが、大きすぎるとサーボの最大蛇角をオーバーしてしまいますので、不足の場合はサーボホーンの孔位置で調整してください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

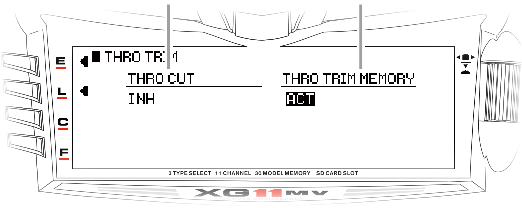
スロットルトリム【THRO TRIM】

機能説明

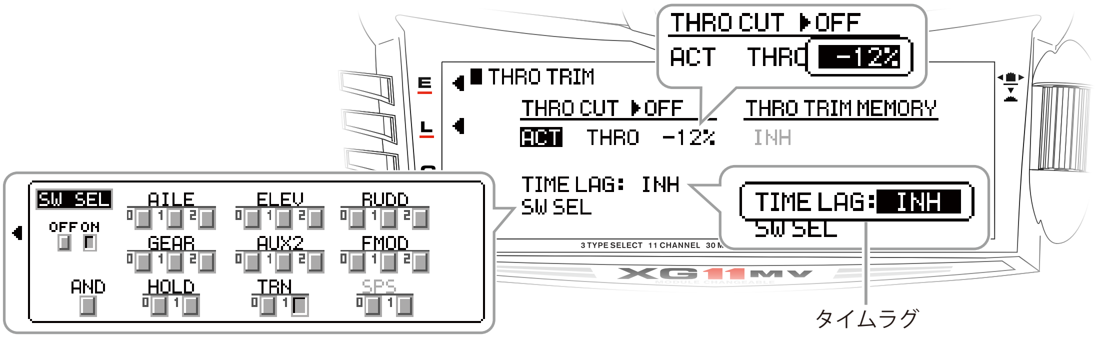
スロットルトリムの動作を設定します。エンジンを停止する為のスロットルカット機能、スロットルトリムでエンジンカットする為のトリムメモリー機能があります。　飛行機タイプではさらにアイドリング位置を細かく設定できるアイドルアジャスト機能も装備しています。

設定方法

カット機能はスロットルカットかトリムメモリーのどちらか 1 つだけ使用可能です。
スロットルカットを「有効」(ACT) にすると、トリムメモリーは強制的に「無効」(INH) になります。　トリムメモリーは、スロットルカットが「INH」の時にしか、「ACT」にすることはできません。

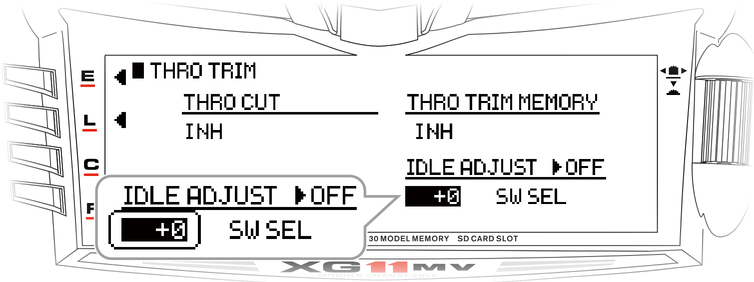


- スロットルカット機能 (THRO CUT)
  この機能を ACT にすることで、使用することができます。
  初期設定ではカットする為のスイッチは「TRN SW」の POS1 に設定されています。これはお好みにより、他のスイッチのポジションに変更することが可能です。
  カットした時のスロットルの位置を調整してください。



▶ タイムラグ (TIME LAG)
スロットルカットを行なうスイッチを ON にしてから、実際にスロットルがカットされるまでの時間を設定することができます。　誤ってスイッチを操作してしまった時の誤動作を防ぐ目的や、トレーナースイッチ (TRN SW) をタイマーと共用するなどに使用できます。

- トリムメモリー機能 (THRO TRIM MEMORY)
  トリムを一気に下げた時、その動作させる前のトリム位置を記憶して次にトリムを上げると記憶した位置までトリムが瞬間的に戻ります。　インフォメーション画面のトリムの表示には記憶した位置がマーキングされています。
- アイドルアジャスト (IDLE ADJUST)　　※飛行機タイプのみ。
  スロットルスティックがスローの時のアイドリング位置をスイッチで切り換える機能です。アイドリング飛行中、着陸時のアイドルアップ・ダウンに使用します。



ヒント

- キャブを閉じた時にリンケージがロックしないか良く確認してください。

注意事項

- ヘリタイプのスロットルカットは、フライトモードが「ノーマル」(NORMAL) の場合のみ有効です。

スロットルミキシング【MIX → THRO】

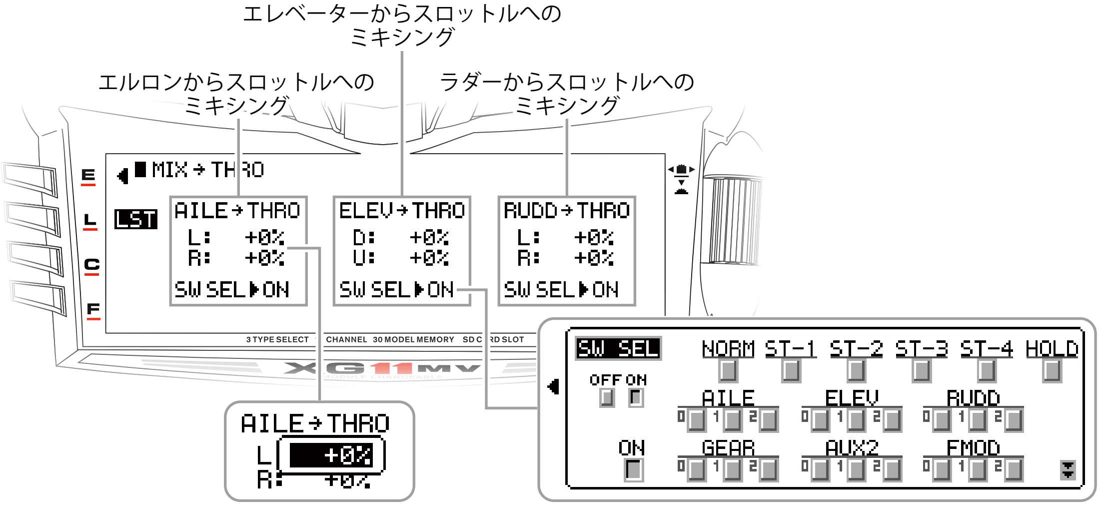
ヘリコプター

機能説明

各舵を操作するとローター回転が負荷により低下する事があります。この機能はその補正を行う為のミキシング機能です。ガバナーによって自動で行う回転数補正を再現できます。エルロン、エレベーター、ラダーの各舵からのスロットルへのミキシングをかけることができます。

設定方法

エルロン、エレベータ、ラダーの各舵からのミキシングをそれぞれのスイッチやスライトモードで独立して設定でき ON-OFF できます。
スティック操作の方向別でスロットルへのミキシング量を設定します。スティックをどちらに操作してもローター回転が上がる方向に設定してください。



ヒント

- 設定値の目安はエルロン、エレベーターは 10 〜 30、ラダーは L10・R15% からが推奨です。

注意事項

- ガバナー使用時にはこの機能は不要です。数値は全てゼロにしてください。
- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

フライトモードディレイ 【FLIGHT MODE DELAY】

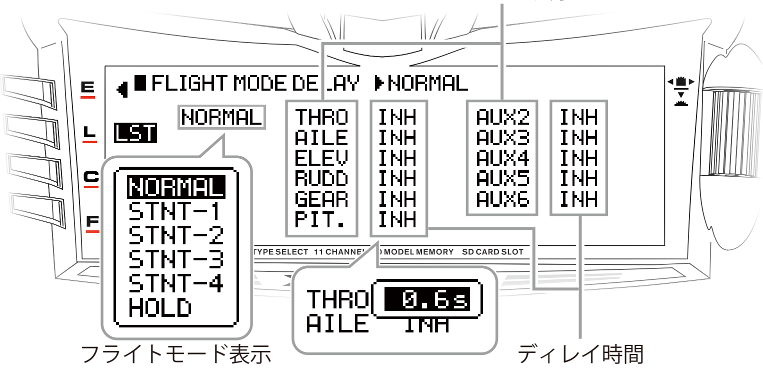
ヘリコプター

機能説明

フライトモードを切り替えた場合、急にサーボが移動してしまいフライトがギクシャクする場合があります。これを防ぐ為にフライトモードを切り替えた時のサーボ動作位置まで、ゆっくり移動する時間を各チャンネルごとに設定できます。これは各フライトモード毎に設定可能です

設定方法

各フライトモード毎に、そのフライトモードに遷移した時のディレイ時間を設定します。
設定変更したいチャンネルをダイヤルを回して選択し、ダイヤルをプッシュして設定枠を表示させ数値の設定を行います。



ヒント

- チャンネルの出力が、ジャイロやガバナーに設定されている場合など、本機能は無効となる場合があります。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

フラップシステム【FLAP SYSTEM】

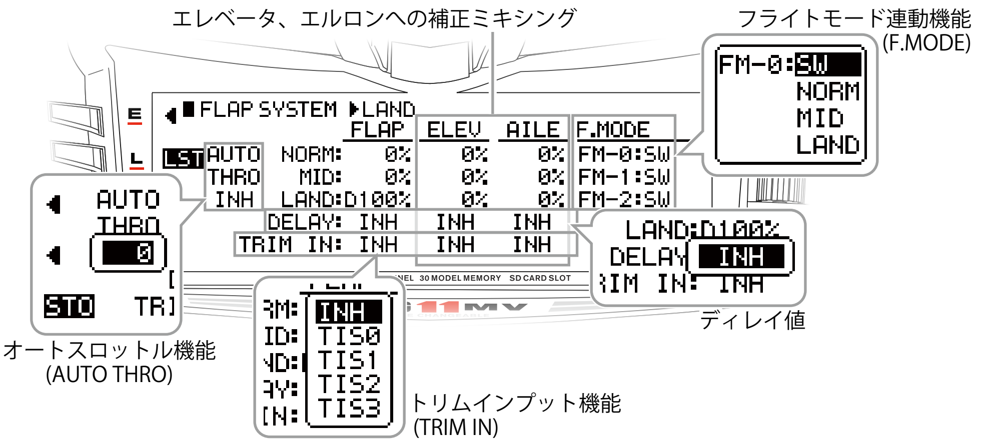
飛行機

機能説明

フラップをスイッチで 3 段階に制御できます。フラップ動作に対してディレイ (動作を遅くする) をすることや、エレベーターやエルロンへのミキシング補正も可能です。スロットルスティックを下げた時に自動的にフラップを下げるオートスロットル機能もあります。

設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、フラップチャンネルの出力に「SYS」を設定する必要があります。
また、「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、フラップチャンネルにて設定されたスイッチなどの入力デバイスによってフラップを制御します。
NORM、MID、LAND のそれぞれでのフラップ位置と必要に応じてディレイ値を入力してください。



- オートスロットル機能 (AUTO THRO)
  スロットルスティックの位置で自動でフラップの位置を変化させることができます。"AUTO THRO" にカーソルを合わせ、お好みのスティック位置を設定してください。
  設定したスロットルスティック位置より、スティックが上にある場合は「NORM」です、スティックが下にある場合は、スイッチ位置に対応したフラップ位置に自動的に変化します。
- フライトモード連動機能 (F.MODE)
  フライトモード毎のフラップ位置を設定することができます。
- エレベータ、エルロンへの補正ミキシング
  フラップ操作によっておきるピッチ変化を相殺する為にエレベータ軸への補正ミキシングをかけて連動されることが可能です。
  また、大きくフラップを下げた時のエルロン軸補正も可能です
- トリムインプット機能 (TRIM IN)
  フラップ量をトリムレバーを使用して入力設定できます。 入力にトリムレバーを使用できるので飛行中であっても容易に微調整が行えます。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

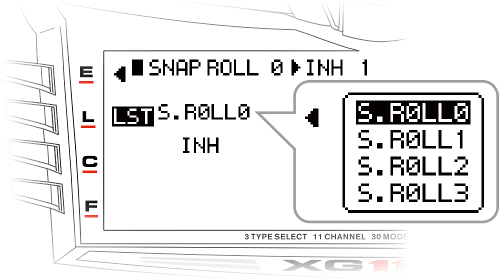
スナップロール【SNAP ROLL】

機能説明

スナップロールを簡単に行う為の機能です。プリセットは 4 種類あります、通常はスナップロール・スイッチで操作しますが、スティックを一定量操作した時にスナップロールに入るスティック・スイッチ機能も装備しています。また、どのフライトモードでスナップロール・スイッチやスティック・スイッチを有効にするかも選択できます。

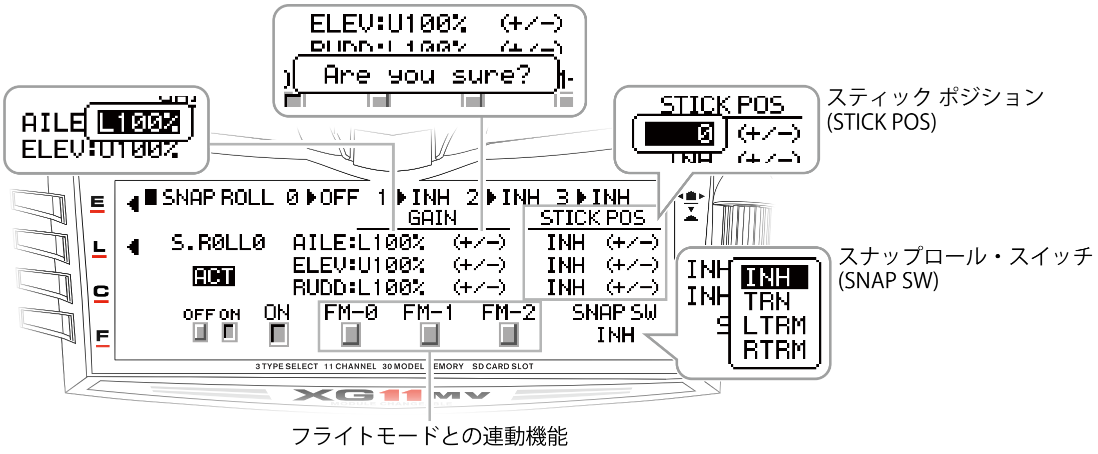
設定方法

本機能は、4 パターンのスナップロールを設定できますが、初期設定では全て「無効」(INH) です。
「有効」(ACT) にして動作させたい設定量をエルロン、エレベータ、ラダーの各舵毎に入力してください。
それぞれの初期設定値は下記の表をご確認ください。



	AILE	ELEV	RUDD
S.ROLL0　左アップ	L100%	U100%	L100%
S.ROLL1　左ダウン	L100%	D100%	R100%
S.ROLL2　右アップ	R100%	U100%	R100%
S.ROLL3　右ダウン	R100%	D100%	L100%

- スナップロール・スイッチ (SNAP SW)
  初期設定では、「無効」(INH) となっています。　スナップロール・スイッチを使用する場合は、どのデバイスを使用するのかを選択して設定してください。
- スティック　ポジション (STICK POS)
  初期設定は、「無効」(INH) となっています。　スティック・スイッチを使用する場合は、エルロン、エレベータ、ラダーのそれぞれのスティック位置を設定してください。
- フライトモードとの連動機能
  スナップロールスイッチ、スティックスイッチを設定した後、それぞれをどのフライトモードで有効にするのかを設定できます。初期設定では、常時オンになっています。



注意事項

- トレーナーにて、親送信機として使用している場合は、本機能は使用できません。
- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ディファレンシャル【DIFFERENTIAL】

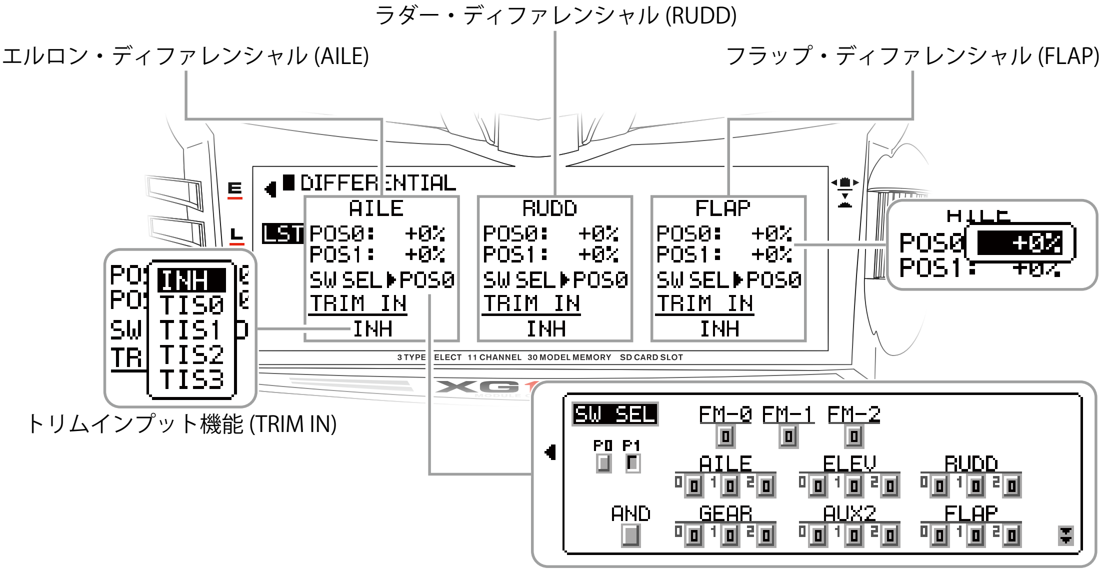
機能説明

エルロン、ラダー、フラップチャンネルがデュアルチャンネル設定の場合に上下の動作角度に差動を付ける機能です。
例としてエルロンで翼型が高揚力型の場合は、エルロンを上下同角度に操舵すると下側では空気抵抗となり機体は逆向きにヨーイングしてしまいます。
これを軽減させるために上下の動作角度に差動をつけます。
また、グライダータイプではブレーキ動作時にデファレンシャル動作が不要な場合もありますので、スポイラースティックを下げてブレーキをかけるとデファレンシャルを無効化するブレイク機能もあります。

設定方法

「飛行機タイプの場合」

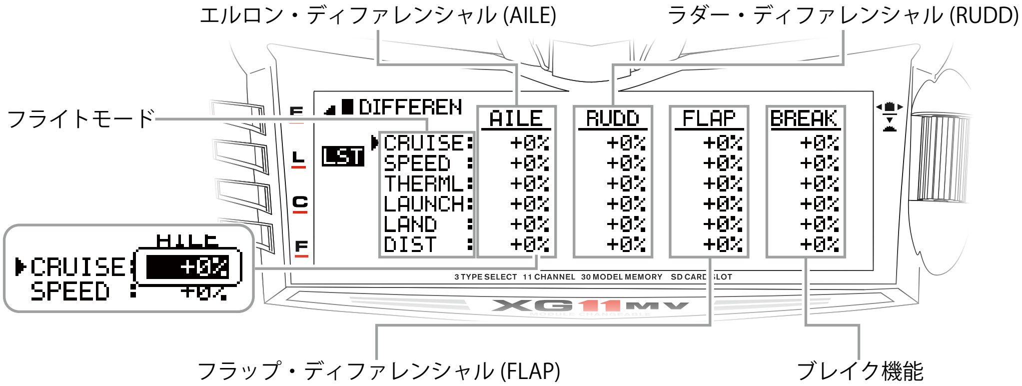
各舵に対して、２つの設定が可能です。 お好みのスイッチやフライトモード毎によって、２つの設定を切り換えることが可能です。



- エルロン・ディファレンシャル　(AILE)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「フラッペロン」(FLAPERON)
  「デルタ」(DELTA)
  「4 エルロン」(4-AILE)
  「デュアル エルロン」(DUAL AILE)
  「デュアル エレベータ」(DUAL ELEV)　※ プログラムミキシングにて、「AILV」へミキシングをかけて、エレベータをエルロン動作させた時の差動です。
- ラダー・ディファレンシャル　(RUDD)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「V テール」(V-TAIL)
  「デュアル ラダー」(DUAL RUDD)
- フラップ・ディファレンシャル (FLAP)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「デュアル フラップ」(DUAL FLAP)
- トリムインプット機能 (TRIM IN)
  各舵のディファレンシャル量をトリムレバーを使用して入力設定できます。 入力にトリムレバーを使用できるので飛行中であっても容易に微調整が行えます。

「グライダータイプの場合」

各舵に対して、フライトモード毎に設定することが可能です。



- エルロン・ディファレンシャル　(AILE)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「フラッペロン」(FLAPERON)　　※本送信機はグライダータイプの場合、常にフラッペロンの設定になります。
- ラダー・ディファレンシャル　(RUDD)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「V テール」(V-TAIL)
  「デュアル ラダー」(DUAL RUDD)
- フラップ・ディファレンシャル　(FLAP)
  ウイングタイプが下記の場合に設定することが可能です。
  「デュアル フラップ」(DUAL FLAP)
- ブレイク (BREAK) 機能
  各舵に対して、スポイラースティックの位置に連動して、設定されたディファレンシャル量を無効化 (ブレイク) します。
  スティックの上限が最小 (0%)、下限が最大 (100%) で無効化します。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

エルロン→ラダー ミキシング 【AILE → RUDD MIX】

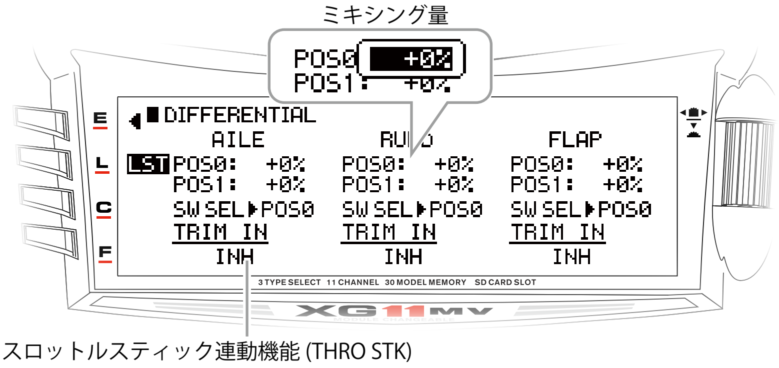
機能説明

スケール機などで旋回をスムーズに補助する機能です。エルロン操作でラダーを連動させる事ができます。
また、グライダータイプではラダーやエレベーター操作で自動的にこのミキシングを解除するブレイク機能も備えています。

設定方法

「飛行機タイプの場合」

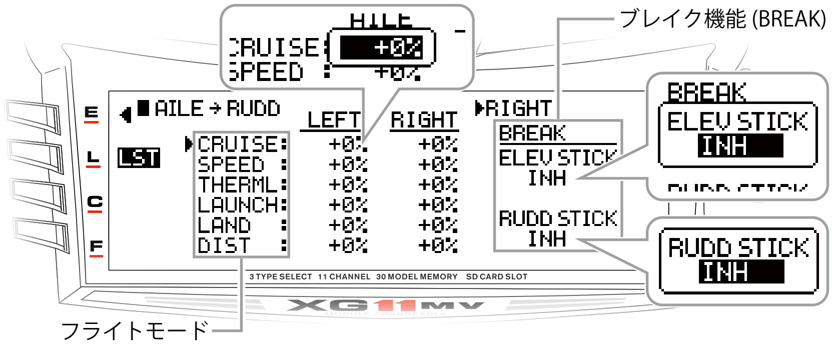
エルロンからラダーへのミキシングは左右別に２つの設定が可能です。お好みのスイッチやフライトモード毎によって、２つの設定を切り換えることが可能です。また、スロットルスティックの操作によって切り換えることも可能です。



- スロットルスティック連動機能 (THRO STK)
  スロットルスティックの任意の位置で、２つの設定を切換えることができます。初期設定は「無効」(INH) です、ご使用に応じて設定してください。

「グライダータイプの場合」

エルロンからラダーへのミキシングはフライトモード毎に左右別に設定することが可能です。フライトモード毎に必要なミキシング量を入力してください。



- ブレイク機能 (BREAK)
  エレベータスティック位置やラダースティック位置でこのミキシングを無効化 (ブレイク) する機能です。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

エルロン→フラップ ミキシング【AILE → FLAP MIX】

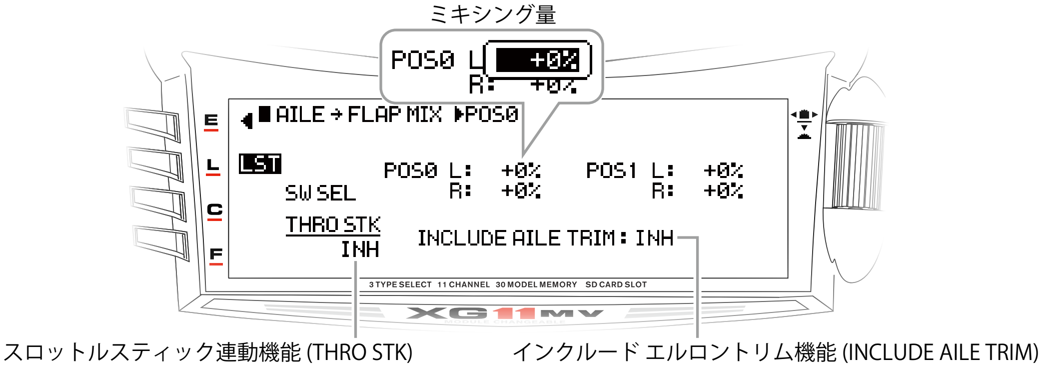
飛行機

機能説明

エルロン操作をフラップにミキシングする機能です。 フラップをエルロンとして使用することができるので、ロールレートを速めることができます。

設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「ウイングタイプ」(WING TYPE) にて、デュアルフラップを設定する必要があります。
エルロンからフラップへのミキシングは左右別に 2 つの設定が可能です。お好みのスイッチやフライトモード毎によって、2 つの設定を切り換えることが可能です。また、スロットルスティックの操作によって切り換えることも可能です。
エルロンのトリム量をミキシングに含めることもできます。



- スロットルスティック連動機能 (THRO STK)
  スロットルスティックの任意の位置で、2 つの設定を切換えることができます。初期設定は「無効」(INH) です、ご使用に応じて設定してください。
- インクルード エルロントリム機能 (INCLUDE AILE TRIM)
  エルロンからフラップのミキシングにエルロントリムを含めるか含めないのかを設定できます。初期設定では、「無効」(INH) となっておりますので、使用する場合は「有効」(ACT) としてください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

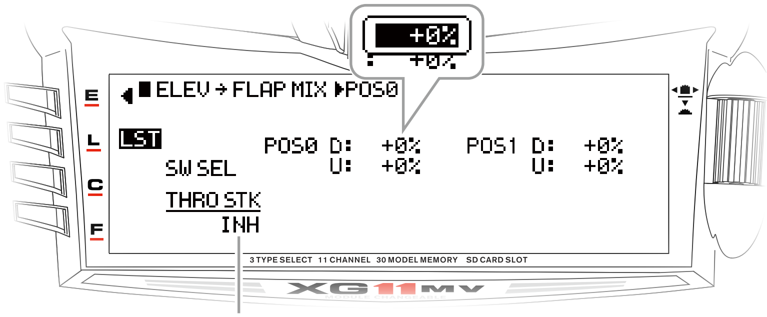
エレベーター→フラップ ミキシング 【ELEV → FLAP MIX】

機能説明

エレベーター操作をフラップにミキシングする機能です。　いわゆる空戦フラップです。

設定方法

エレベータからフラップへのミキシングは上下別に２つの設定が可能です。お好みのスイッチやフライトモード毎によって、２つの設定を切り換えることが可能です。また、スロットルスティックの操作によって切り換えることも可能です。



- スロットルスティック連動機能 (THRO STK)
  スロットルスティックの任意の位置で、２つの設定を切換えることができます。初期設定は「無効」(INH) です、ご使用に応じて設定してください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ラダー→エルロン / エレベータ ミキシング 【RUDD → AILE/ELEV MIX】

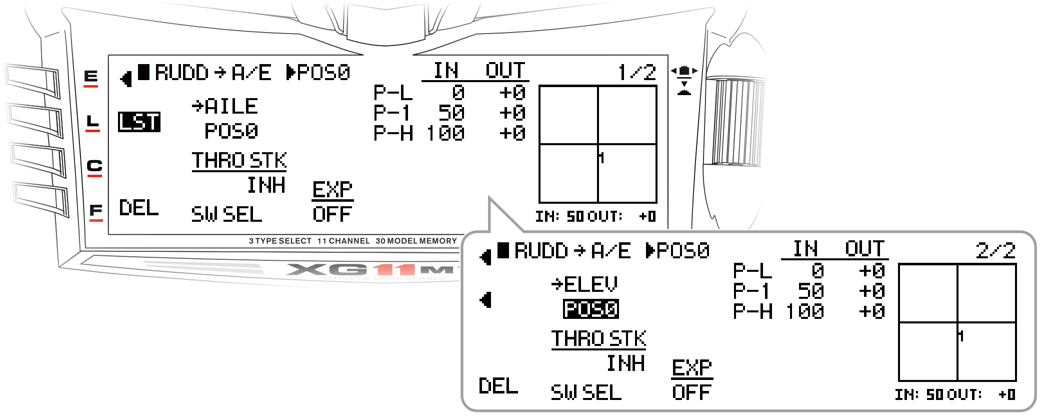
飛行機

機能説明

ラダー操作をエルロンとエレベータにミキシングする機能です。ナイフエッジ飛行のクセ取りに使用します。

設定方法

ラダーからエルロン、エレベータへのミキシングは左右別に 2 つの設定が可能です。お好みのスイッチやフライトモード毎によって、2 つの設定を切り換えることが可能です。また、スロットルスティックの操作によって切り換えることも可能です。



- スロットルスティック連動機能 (THRO STK)
  スロットルスティックの任意の位置で、2 つの設定を切換えることができます。初期設定は「無効」(INH) です、ご使用に応じて設定してください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

バランス【BALANCE】

機能説明

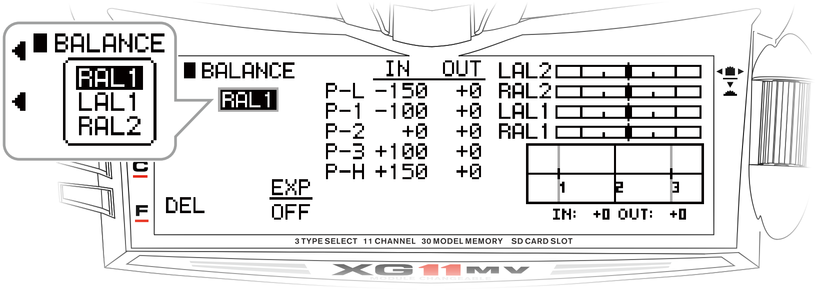
4 エルロン、デュアルエレベータ、デュアルフラップなどの 2 個以上のチャンネルを使用する設定を行った時、サーボの個体差による動作の若干のずれをミキシングによって補正する機能です。

設定方法

「飛行機タイプの場合」

本機能は、下記のウイングタイプの時に有効となります。　各ウイングタイプは、システムリストの「ウイングタイプ」(WING TYPE) にて設定してください。

- フラッペロン (FLAPERON)、デュアルエルロン (DUAL AILE)
  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・左翼 (LAIL) を基準として、右翼 (RAIL) の補正が可能です。
- デルタ (DELTA) ・・・・・・・・・・・・・左翼 (LEVN) を基準として、右翼 (REVN) の補正が可能です。
- 4 エルロン (4-AILE) ・・・・・・・・・・・左翼外側 (LAL2) を基準として、左翼内側 (LAL1)、右翼外側 (RAL2)
  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・右翼内側 (RAL1) の補正が可能です。
- V テール (V TAIL) ・・・・・・・・・・・・左翼 (LTAL) を基準として、右翼 (RTAL) の補正が可能です。
- デュアルエレベータ (DUAL ELEV) ・・・・左翼 (LELE) を基準として、右翼 (RELE) の補正が可能です。
- デュアルラダー (DUAL RUDD) ・・・・・・左翼 (LRUD) を基準として、右翼 (RRUD) の補正が可能です。
- デュアルフラップ (DUAL FLAP) ・・・・・左翼 (LFLP) を基準として、右翼 (RFLP) の補正が可能です。



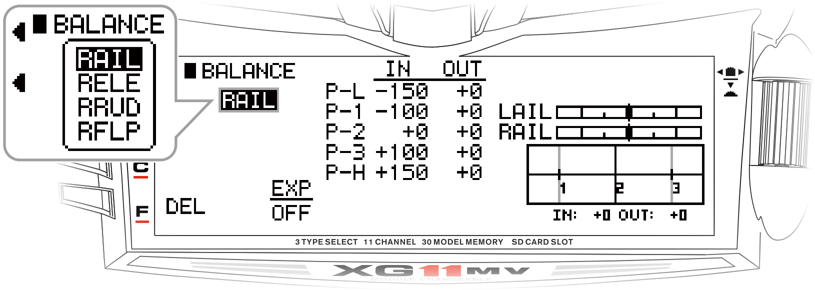
「グライダータイプの場合」

本機能は、下記のウイングタイプの時に有効となります。　各ウイングタイプは、システムリストの「ウイングタイプ」(WING TYPE) にて設定してください。

- フラッペロン (FLAPERON) ・・・・・・・左翼 (LAIL) を基準として、右翼 (RAIL) の補正が可能です。

※ 本送信機はグライダータイプの場合、常にフラッペロンの設定になります。

- V テール (V TAIL) ・・・・・・・・・・・・左翼 (LTAL) を基準として、右翼 (RTAL) の補正が可能です。
- デュアルエレベータ (DUAL ELEV) ・・・・左翼 (LELE) を基準として、右翼 (RELE) の補正が可能です。
- デュアルラダー (DUAL RUDD) ・・・・・・左翼 (LRUD) を基準として、右翼 (RRUD) の補正が可能です。
- デュアルフラップ (DUAL FLAP) ・・・・・左翼 (LFLP) を基準として、右翼 (RFLP) の補正が可能です。
- デュアルスポイラー (DUAL SPOI) ・・・・・左翼 (LSPI) を基準として、右翼 (RSPI) の補正が可能です。



ヒント

- 基準となる翼とのずれが生じる箇所で、ポイントを作り数値を入力してください。
- エキスポネンシャル機能により、動作カーブを滑らかにすることが可能です。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

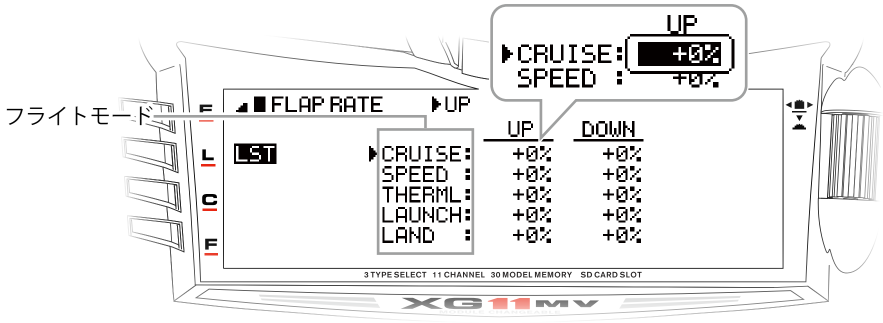
フラップレート【FLAP RATE】

機能説明

レバーやスイッチで操作する場合のフラップチャンネルの動作量 (舵角) をフライトモードごとに設定する機能です。アップ方向、ダウン方向の両方向別に設定できます。

設定方法

初期設定では各フライトモードにて、0% に設定されています。必要な動作量を設定してください。　また、フラップチャンネルの入力装置はシステムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて「フラップレバー」(FLAP LV) に設定されています。これはお好みのスイッチなどに変更可能です。



ヒント

- フラップ操作は他のミキシングやトリム (キャンバーシステム等) にて操作する場合に、飛行中のフラップレバーやスイッチ等での誤操作を危惧する場合は、全て 0% に設定してください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

モータシステム【MOTOR SYSTEM】

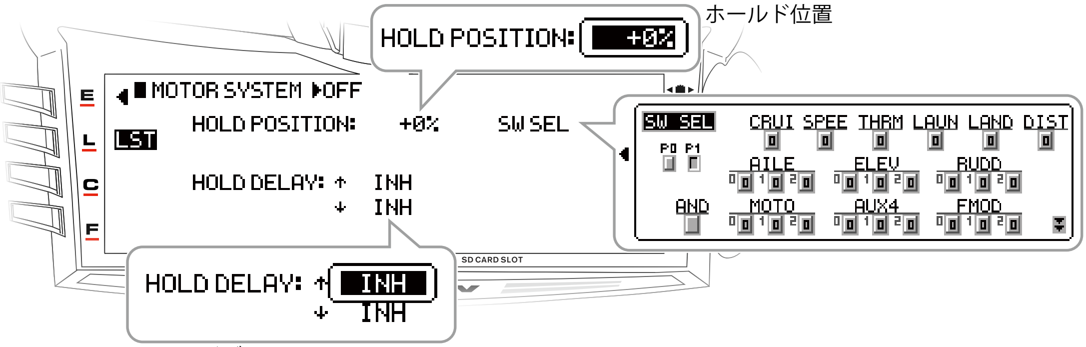
機能説明

スイッチやフライトモードによって任意の位置にモータチャンネルをホールドさせる機能です。　ホールドの ON/OFF 時にゆっくり動作させるためのディレイ機能もあります。

設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) にて、GEAR(ギヤ) チャンネルか AUX3 チャンネルのいずれかをモータに設定 (「OUT」に「MOT」を設定) する必要があります。　ホールドさせた時にポジションを設定し、ON/OFF するためのスイッチやフライトモードをお好みで設定してください。

ホールド位置



ホールドディレイ (HOLD DELAY)

- ホールドディレイ (HOLD DELAY)
  ↑ : ホールド状態を解除した時に現在のポジションまで戻る時間。
  ↓ : ホールドポジションへ移動する時間。

注意事項

- 本機能を使用する際は , 必ずシステムリストの「ワーニング」(WARING) 機能にて、モーターを制御するスイッチやフライトモードにワーニングを設定してください。スロットルスティックと違いスイッチでのモーター制御は見逃しやすく大変危険です。
- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

キャンバーシステム【CAMBER SYSTEM】

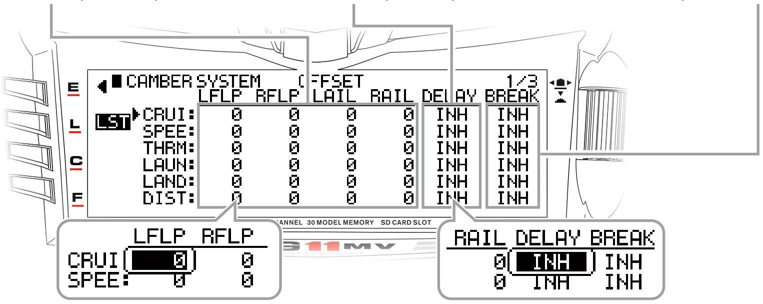
グライダー

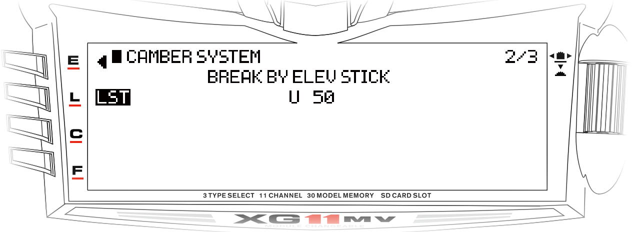
機能説明

オフセット量により、キャンバー (主翼断面の中心線) に角度に持たせ主翼の特性をフライトモードごとにスピード重視、滞空時間重視などに変化させることができます。
主翼の変化時にディレイ時間を設定できますので、機体の急激な姿勢変化を和らげることができます。また、ディレイ動作をエレベーター操作により途中でブレイク (中断) することも可能です。

設定方法

フライトモード毎のオフセット量の設定は、本機能のオフセットで設定する方法とトリムにて設定する方法があります。
このオフセット量に対してお好みのディレイ時間やブレイク (中断) の有無を設定します。



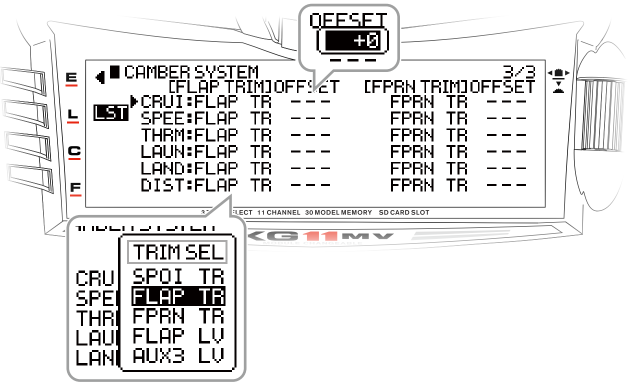


- オフセット量 (OFFSET)
  フラップ (FLAP) とフラッペロンに、フライトモード毎のオフセット量を設定します。
  - フラッペロン
    「左エルロン」(LAIL)、「右エルロン」(RAIL) のそれぞれに設定します。
  - フラップ
    シングルフラップ時は「FLAP」に設定、デュアルフラップ時は、「左フラップ」(LFLP)、「右フラップ」(RFLP) のそれぞれに設定します。

- ディレイ時間 (DELAY)
  フライトモードを切り換えた時のディレイ時間を設定します。「INH」はディレイ無し、「0.1s ～ 6.0s」はオフセット量の移動時間、「HOLD」はその前の状態を維持します。
  このディレイ時間はトリムにも有効となります。　有効となるトリムは下記の通りです。
  - フラップトリム　「FLAP TRIM」
  - フラッペロントリム　「FPRN TRIM」
  - エレベータトリム　「ELEV TRIM」

- ブレイク機能 (BREAK / BREAK BY ELEV STICK)
  フライトモード毎にエレベータ操作によるブレイク (中断) を無効 (INH) とするのか、ACT(有効) とするのかを設定します。
  また、エレベータスティックのどこの位置でブレイクさせるのかを「BREAK BY ELEV STICK」にて設定します。

- トリム選択
  フラップトリム (FLAP TRIM)、フラッペロントリム (FPRN TRIM) を、どのトリムレバーやレバー (LV) に選択するのかをできます。
  初期設定では、フラップトリムは「フラップトリム」(FLAP TR)、フラッペロントリムは「フラッペロントリム」(FPRN) になっています。　レバー (LV) を選択した場合は、レバーのセンター位置をオフセットさせることもできます。



ヒント

- もし、一度設定した各フライトモード毎のキャンバー位置 (トリム位置) を誤って操作したくない場合、回避する為に、このトリムを操作無効にする手段があります。システムリストの「トリムシステム」(TRIM SYSTEM) にて FLAP と FPRN トリムのステップ数を "0" にすることで設定位置を覚えたままトリムレバーが実質動作しなくなります。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ブレーキシステム【BRAKE SYSTEM】

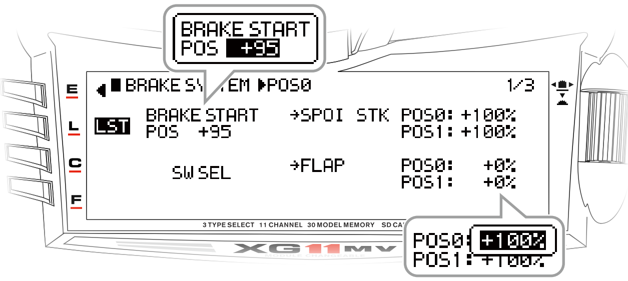
機能説明

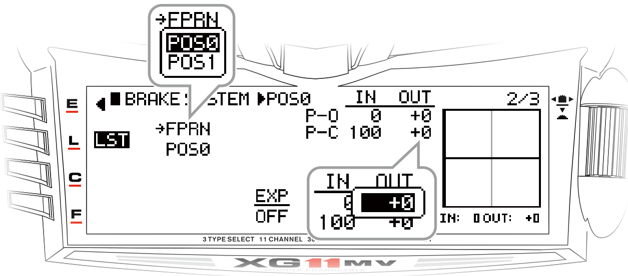
スポイラーやエルロン、フラップでエアブレーキを行なう機能です。バタフライミキシングやクロウミキシングとも呼ばれます。スポイラースティックを下げるとフラップは下がり、エルロンは上がり機体正面から見るとエアブレーキとなります。操作するスポイラースティックには操作ミスを防ぐ為の不感帯を設定できます。また、エルロンやエレベーターへはカーブポイントを使いエアブレーキ角度に応じた詳細な設定が可能です。

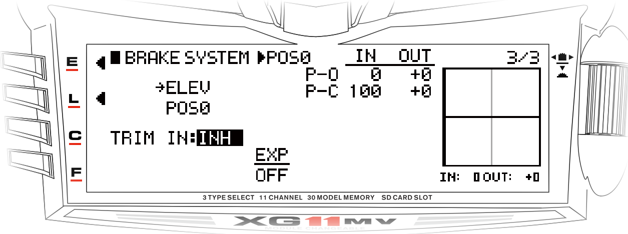
設定方法

初期設定では、スポイラースティックから、フラップ、エルロン、エレベータへの動作量を設定できるようになっています。それぞれの舵の動作量を設定してください。

- ブレーキスタートポジション (BRAKE START POS)
  スポイラースティックを使用してブレーキをかける場合、スティックのどの位置からブレーキをかけ始めるのかを設定できます。ブレーキの開始点をずらすことにより不感帯を作り、誤動作を防ぐことが可能です。
- スポイラーへの動作量
  「→ SPOI」の設定により、スポイラースティックからのスポイラーへの動作量を設定できます。　本送信機は基本的に、スポイラーをAUX2 チャンネルとしています。
- トリムインプットスイッチ (エレベータのみ)
  エレベータへの動作量の設定は、カーブにて設定が可能ですが、ポイント 0(ブレーキ量が最大の位置) にはトリムインプットスイッチを設定でき、トリムレバーを使用して飛行中でも容易に微調整が可能です。







ヒント

- 初期設定では、スポイラースティックからのブレーキですが、これはシステムリストの「デバイスセレクト」(DEVICE SELECT) の AUX2 チャンネルに設定されている入力デバイスが「スポイラースティック」(SPOI STK) に設定されている為です。　AUX2 チャンネルの入力デバイスをお好みに合わせて他のスイッチ等に変更することも可能です。

注意事項

- この機能をフルに操作するとサーボはかなり大きく動作します。この時に各舵に無理な力が加わらないように注意する必要があります。リミットアジャスト機能でサーボ動作に制限をかけて舵を破損させないようにしてください。
- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

フラッペロンミキシング【FLAPERON MIX】

機能説明

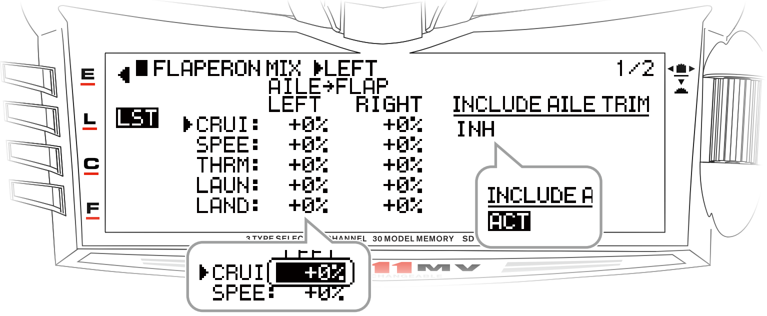
この機能は、下記のそれぞれのミキシングがそれぞれ独立して設定できます。

「エルロン ->フラップ　ミキシング」・・・・エルロン操作からフラップへのミキシングで、フラップをエルロンとして
・・・・・使用することができるのでロールレートを速めることができます。

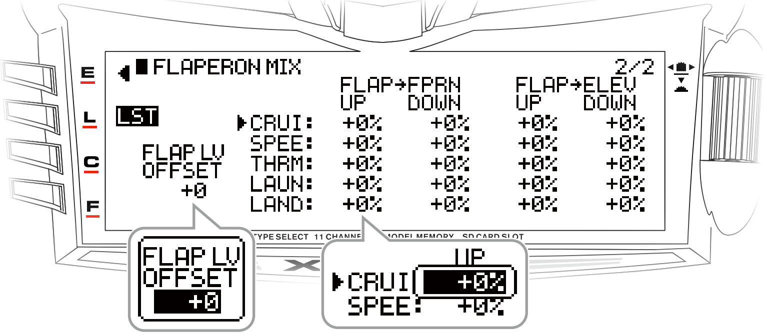
「フラップ ->フラッペロン　ミキシング」・・フラップ操作からのエルロンへのミキシングで、エルロンをフラップとし
・・・・・て使用することができます。

「フラップ -> エレベータ　ミキシング」・・・フラップ操作からのエレベータへのミキシングで、フラップ動作による
・・・・・ピッチ変化をエレベータで補正することができます。

設定方法



- 「エルロン ->フラップ　ミキシング」
  フライトモード毎に左右別に設定することが可能です。
- インクルード エルロントリム機能 (INCLUDE AILE TRIM)
  エルロンからフラップへのミキシングにエルロントリムを含めるか含めないのかを設定ができます。初期設定では、「無効」(INH) となっておりますので、使用する場合は「有効」(ACT) としてください。



- 「フラップ ->フラッペロン　ミキシング」、「フラップ -> エレベータ　ミキシング」
  それぞれフライトモード毎に左右別に設定することが可能です。
- フラップレバーオフセット (FLAP LV OFFSET)
  フラップチャンネルの入力デバイスにレバー (LV) が設定されている場合に、レバーのセンター (ニュートラル) にオフセットを設定することが可能です。これにより、レバーの任意の位置を基準点にしてミキシングをかけることができます。

ヒント

- 本機能でのフラップからのミキシングは、レバーやスイッチで操作する場合のフラップチャンネルの動作量を基準にしている為、フラップトリムやキャンバーシステム (CAMB SYSTEM) でのオフセット量はミキシングへ含まれません。
- 初期設定ではフラップレート (FLAP RATE) が、0% になっています。　フラップからミキシングをかける場合は、まずフラップレート (FLAP RATE) にてフラップの動作量を設定してください。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

エレベーター→キャンバーミキシング【ELEV → CAMB MIX】

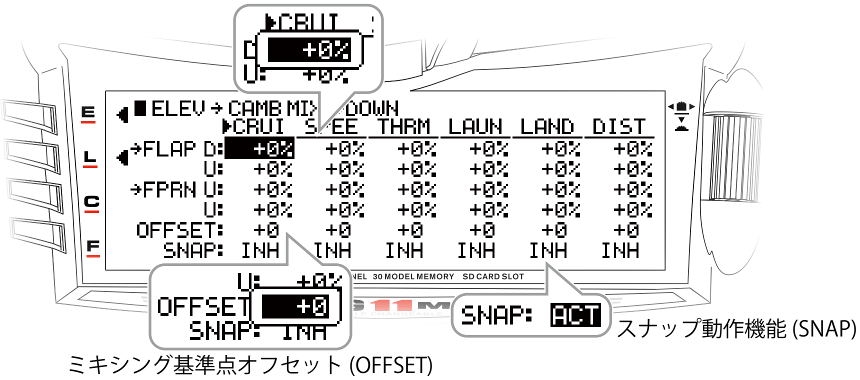
グライダー

機能説明

エレベーター操作から主翼のキャンバー (主翼断面の中心線) にミキシングを掛ける機能です。フラップとフラッペロンに上下別々にミキシングにて調整できます。

設定方法

フラップとフラッペロンへのミキシングは、フライトモード毎にエレベータがアップ側、ダウン側に個別に設定できます。



- ミキシング基準点オフセット (OFFSET)
  オフセットを設定することにより、エレベータ操作の任意の位置をミキシングの基準点とすることができます。
- スナップ動作機能 (SNAP)
  スナップ動作機能を ACT(有効) にすると、ミキシング基準点 (OFFSET) で設定したエレベータスティックの位置を基点に、フラップとフラッペロンを移動させることが可能です。
  フラップとフラッペロンのミキシング量 (%) は、この機能が有効の場合は、実際に移動させたい位置を設定することになりますので注意してください。

ヒント

- 3 サーボ構成の主翼の機体でいわゆる空戦フラップが使用できます。安定性の為には翼根フラップより翼端エルロンの方のミキシング量を減らした方が翼のねじり下げ効果も出て安定します。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

ラダー→スポイラーミキシング【RUDD → SPOI MIX】

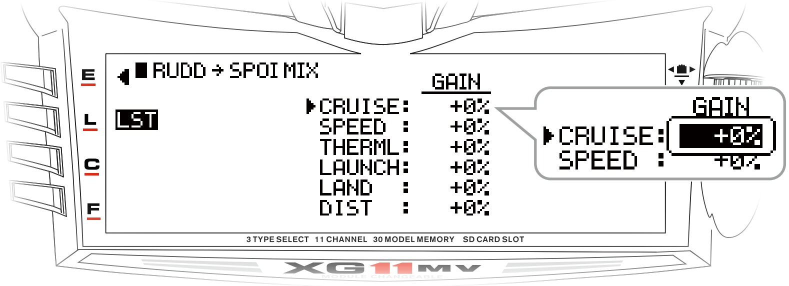
グライダー

機能説明

デュアルスポイラーを装備した機体の時にスポイラーでラダー操作を行う機能です。この操作法はドラッグラダーとも呼ばれます。ラダー操作によって左右のスポイラーが交互に出ます。

設定方法

本機能を有効にする為には、システムリストの「ウイングタイプ」(WING TYPE) にて、DUAL SPOI(デュアルスポイラー) を設定する必要があります。
フライトモード毎にミキシング量を設定することができます。



ヒント

- 大型の機体で主翼にスポイラーが装備されている場合、ラダーと併用するとヨー軸の操作に効果があります。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

マスターチャンネルの名称と用途、インクルード可能な項目について

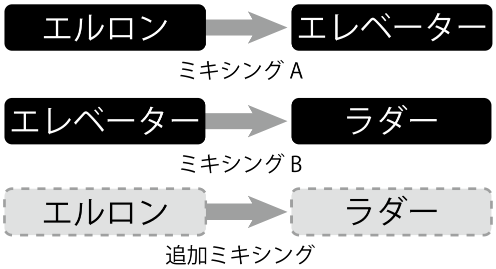
インクルードとは・・・

複数のミキシングを使用している場合、それぞれのミキシングに関連性はありません。
ただしインクルードの設定をすれば他のミキシング設定を含んだミキシングが可能となり、ミキシングの簡略化に有効です。

例）

右の図は、機体の癖取りなどのために、**エルロン → エレベーター** と、**エレベーター → ラダー** のそれぞれにミキシングが設定してある場合を表しています。
このままではエルロン操作がラダーに反映されないため、**エルロン → ラダー** 間のミキシングを別途設定しなければなりません。
しかし、**ミキシング B** にインクルード設定をすると、下記のような関係になり、**ミキシング B** は **ミキシング A** を含んだ動作になります。

※ この設定により、エルロン → ラダー 間のミキシングを省略できます。



ヘリタイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: スロットル (THRO)	スロットルトリム、スロットルカーブ (THROCURVE)、スロットルミキシング (MIX → THRO)、スロットルホールド (THROHOLD)、スロットルカット (THROCUT)
Ch2: エルロン (AILE)	エルロントリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch3: エレベータ (ELEV)	エレベータトリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch4: ラダー (RUDD)	ラダートリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: ピッチ (PIT.)	ピッチカーブ (PIT.CURVE)
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
エキストラ : FMOD	フライトモードに連動した位置にてミキシングをかけます。
TRNT	トレーナースイッチからミキシングをかけます。
NEDL	ニードルチャンネルとして設定されているチャンネル。

飛行機タイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: スロットル (THRO)	スロットルトリム、スロットルカーブ (THROCURVE)、スロットルホールド (THROHOLD)、スロットルカット (THROCUT)
Ch2: エルロン (AILE)	エルロントリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch3: エレベータ (ELEV)	エレベータトリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch4: ラダー (RUDD)	ラダートリム、デュアルレート (D/R&EXP)
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: フラップ (FLAP)	フラップトリム、フラップシステム (FLAPSYS)
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
エキストラ : LTRM	左側のトリム (AUXTRIM) からミキシングをかけます。
LLVR	左側のレバー (AUX3LEVER) からミキシングをかけます。
RTRM	右側のトリム (FLAPTRIM) からミキシングをかけます。
RLVR	右側のレバー (FLAPLEVER) からミキシングをかけます。
TRNT	トレーナースイッチからミキシングをかけます。
PIT.	ピッチチャンネルとして設定されているチャンネルからミキシングをかけます。

グライダータイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: フラッペロン (FPRN)	フラッペロンミキシング (FPRNMIX)、ブレーキシステム (BRAKESYS)、キャンバーオフセット (CAMBOFST)
Ch2: エルロン (AILE)	エルロントリム、デュアルレート (D/R&EXP)、キャンバーオフセット (CAMBOFST)
Ch3: エレベータ (ELEV)	トリム、デュアルレート (D/R&EXP)、フラッペロンミキシング (FPRNMIX)、ブレーキシステム (BRAKESYS)
Ch4: ラダー (RUDD)	トリム、デュアルレート (D/R&EXP)、AILE → RUDD(エルロン→ラダーミキシング)
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: フラップ (FLAP)	トリム、キャンバーオフセット (CAMBOFST)、ブレーキシステム (BRAKESYS)、エレベータ→フラップミキシング (ELEV → FLAPMIX)、フラッペロンミキシング (FPRNMIX)
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
エキストラ : #SPO	スポイラースティックからミキシングをかけます。
FMOD	フライトモードに連動した位置にてミキシングをかけます。
TRNT	トレーナースイッチからミキシングをかけます。
MOTO	モータチャンネルとして設定されているチャンネルからミキシングをかけます。

スレーブチャンネルの名称と用途、インクルード可能な項目について

ヘリタイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: スロットル (THRO)	
Ch2: エルロン (AILE)	
Ch3: エレベータ (ELEV)	
Ch4: ラダー (RUDD)	
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: ピッチ (PIT.)	
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
その他 : CH2	スワッシュタイプが設定されている時に、チャンネル 2 に対してミキシングがかかります。
CH3	スワッシュタイプが設定されている時に、チャンネル 3 に対してミキシングがかかります。
CH6	スワッシュタイプが設定されている時に、チャンネル 6 に対してミキシングがかかります。
CH8	スワッシュタイプが設定されている時に、チャンネル 8 に対してミキシングがかかります。
NEDL	ニードルチャンネルとして設定されているチャンネルへミキシングが可能です。

飛行機タイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: スロットル (THRO)	
Ch2: エルロン (AILE)	エルロンディファレンシャル (AILE DIFF.)
Ch3: エレベータ (ELEV)	
Ch4: ラダー (RUDD)	ラダーディファレンシャル (RUDD DIFF.)
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: フラップ (FLAP)	
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
その他 : FPRN	ウイングタイプが、「デュアルエルロン」(DUAL AILE) や「4 エルロン」(4-AILE) の時に、エルロンに対して、フラップ動作でのミキシングが可能です。
RTHR	ウイングタイプが、「ツインエンジン」(TWIN ENGINE) の時に、右スロットルに対してのミキシングが可能です。
LTHR	ウイングタイプが、「ツインエンジン」(TWIN ENGINE) の時に、左スロットルに対してのミキシングが可能です。
AILV	ウイングタイプが、「デュアルエレベータ」(DUAL ELEV) の時に、エレベータに対してエルロン動作でのミキシングが可能です。　また、エルロンディファレンシャル (AILE DIFF.) のインクルードが可能。
RDVT	ウイングタイプが、「デュアルラダー」(DUAL RUDD) の時に、ラダーに対してエレベータ動作でのミキシングが可能です。
FLAI	ウイングタイプが、「デュアルフラップ」(DUAL FLAP) の時に、フラップに対してエルロン動作でのミキシングが可能です。　また、フラップディファレンシャル (FLAP DIFF.) のインクルードが可能。
PIT.	ピッチチャンネルとして設定されているチャンネルへのミキシングが可能です

グライダータイプ

チャンネル名称	インクルード可能な項目
Ch1: フラッペロン (FPRN)	
Ch2: エルロン (AILE)	エルロンディファレンシャル (AILE DIFF.)
Ch3: エレベータ (ELEV)	
Ch4: ラダー (RUDD)	ラダーディファレンシャル (RUDD DIFF.)
Ch5: ギア (GEAR)	
Ch6: フラップ (FLAP)	
Ch7: AUX2	
Ch8: AUX3	
Ch9: AUX4	
Ch10: AUX5	
Ch11: AUX6	
その他 : AILV	ウイングタイプが、「デュアルエレベータ」(DUAL ELEV) の時に、エレベータに対してエルロン動作でのミキシングが可能です。　また、エルロンディファレンシャル (AILE DIFF.) のインクルードが可能。
RDVT	ウイングタイプが、「デュアルラダー」(DUAL RUDD) の時に、ラダーに対してエレベータ動作でのミキシングが可能です。
FLAI	ウイングタイプが、「デュアルフラップ」(DUAL FLAP) の時に、フラップに対してエルロン動作でのミキシングが可能です。　また、フラップディファレンシャル (FLAP DIFF.) のインクルードが可能。
SPRD	ウイングタイプが、「デュアルスポイラー」(DUAL SPOI) の時に、スポイラーに対してラダー動作でのミキシングが可能です。
MOTO	モータチャンネルとして設定されているチャンネルへのミキシングが可能です。

注意事項

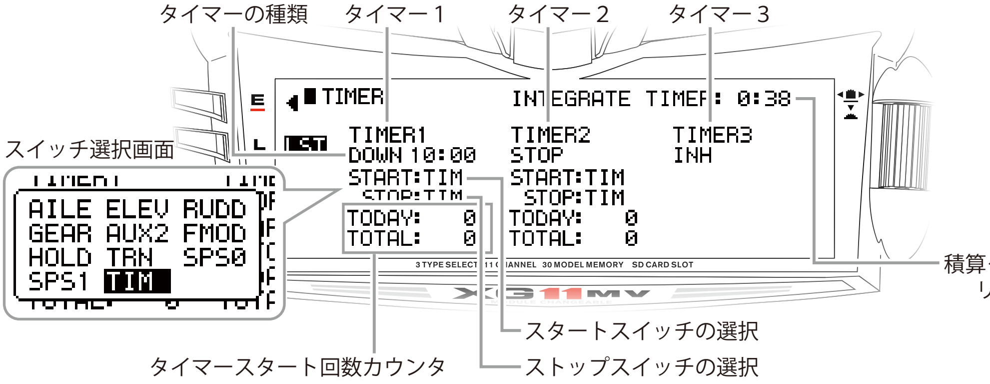
- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

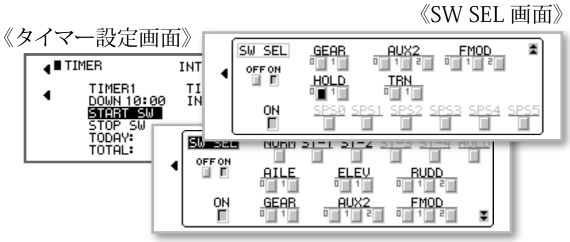
タイマー【TIMER】

機能説明

本送信機は 3 系統の独立したタイマーと積算タイマーを装備しています。
タイマーはダウンタイマー、ストップウォッチの 2 種類から選択可能です。　またフライトモードや自由なスイッチで操作する事ができます。

設定方法





- ダウンタイマー
  初期設定では「無効」(INH) ですので、「INH」にカーソルを合わせ、「DOWN」を選択してください。
  ダウンタイマーの初期時間は「10:00」(10 分 00 秒) です。最大設定時間は「59:55」(59 分 55 秒) で 5 秒間隔で設定することが可能です。
  カウント中は、1 分毎に時間の経過を知らせるアラーム音がなります。　また、60 秒前から 10 秒毎、10 秒前から 終了 (0 秒) までの 1 秒毎にアラーム音にて時間の経過を知らせます　。
- ストップウォッチ
  初期設定では「無効」(INH) ですので、「INH」にカーソルを合わせ、「STOP」を選択してください。
  ストップウォッチタイマーは、「00:00」(0 分 0 秒) からのスタートで、最大「59:59」(59 分 59 秒) までカウントして「00:00」に戻ります。
  カウント中は、1 分毎に時間の経過をお知らせするアラーム音がなります。
- スタート / ストップスイッチの選択 (START/STOP)
  タイマーをスタート / ストップするスイッチを選択してください。　スタートとストップのスイッチはそれぞれ別のスイッチに設定することが可能です。　スティックポジションスイッチ (SPS) を使用することでスティックでのタイマーのスタート / ストップを行なう事ができます。　また、ストップのスイッチに「無効」(INH) を選択することで、スタートのみ行なう設定が可能です。
- タイマースタート回数カウンター (TODAY/TOTAL)
  タイマーをスタートした回数をカウントします。　「TODAY」と「TOTAL」の 2 種類のカウンターを用意していますので、タイマーのスタート回数により、その日のフライト回数やモデルの総フライト回数などを簡易的に管理することが可能です。　それぞれのカウンターを選択してクリヤーキー (CLR) にて初期化することが可能です。
- 積算タイマー (INTEGRATE TIMER) のリセット
  本送信機にはモデル毎に積算時間をカウントしてインフォメーション画面に表示しています。100 時間でゼロに戻ります。 各モデルの機体のメンテナンス時期の目安などに使用してください。
  本ファンクションにて積算タイマーのリセットが可能です。　積算タイマーにカーソルを合わせリセットしてください。

ヒント

- インフォメーション画面のタイマー表示部から、このファンクションにダイレクトに移動することができます。
- インフォメーション画面のタイマー表示部にカーソルを合わせ、クリアーキー (CLR) を押すことでタイマーのリセットが可能です。

ミキシングモニター【MIX MONITOR】

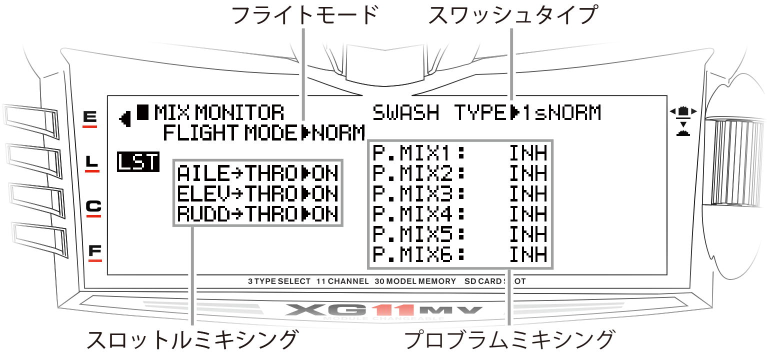
機能説明

送信機に装備されている各ミキシングの状態や基本的設定を一括して確認できる画面です。モデルごとに装備されているミキシングが全て表示されますので意図しない設定ミスも発見できます。また画面内の各項目から直接そのファンクションに行くこともできます。

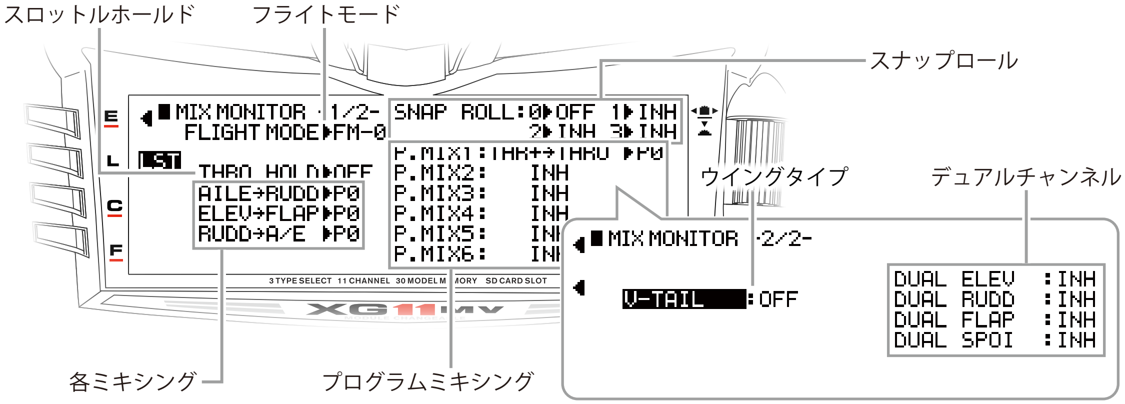
設定方法

各ミキシングの状態を確認できます。　カーソル移動してダイヤルを押すことで、そのファンクションに移動して設定を行なうことができます。

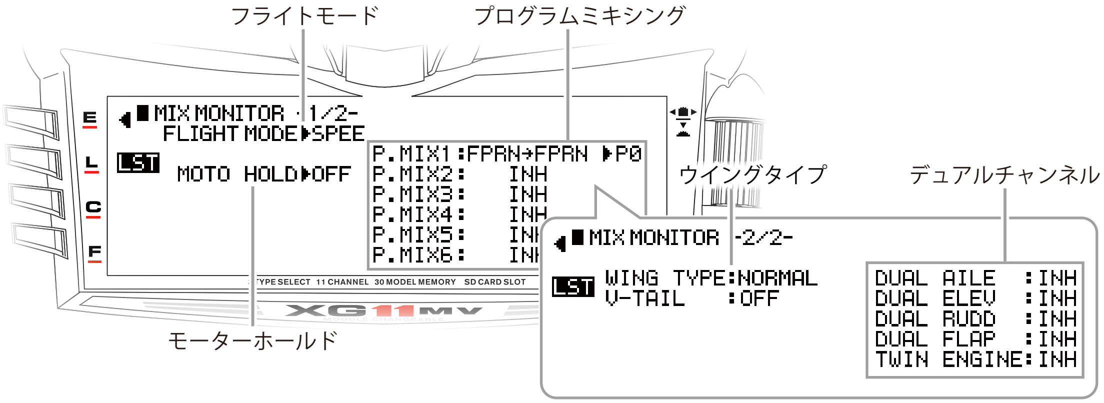
「ヘリコプタータイプの場合」



「飛行機タイプの場合」



「グライダータイプの場合」



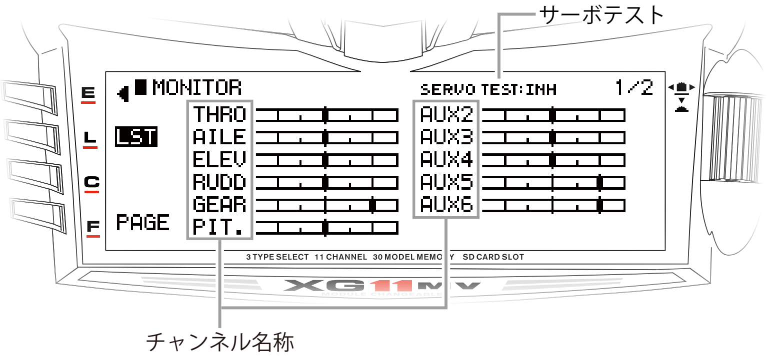
サーボモニター【MONITOR】

機能説明

サーボの動作を送信機上で確認できる機能です。送信機の全ての設定が反映されていますので、実際にサーボを接続する前に仮確認が行えます。また意図しないミキシング設定などの発見にも役に立ちます。

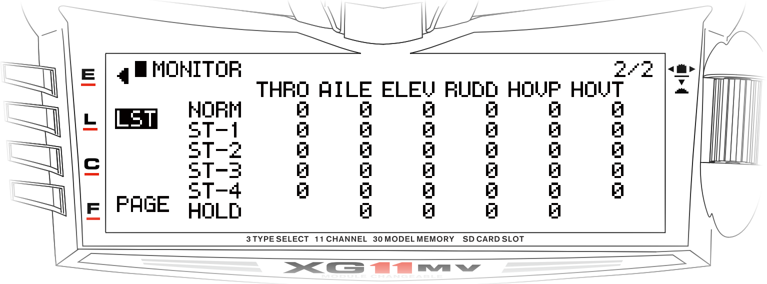
設定方法

各チャンネルの出力状態が確認できます。実際に各チャンネルを動作させて確認してください。



- サーボテスト (SERVO TEST)
  サーボテストモードは、本機能内でしか働きません。下記の 4 種類の動作から選択できます。また、ファンクションリストの「リミットアジャスト」(LIMIT ADJUST) にて設定されたリミット以上には動作しませんので、リミットを設定している場合は、リンケージの破壊を防ぐことができます。

  INH: 無効
  NEUTRAL: 各サーボをニュートラル状態にします。
  SLOW: 低速で各サーボが ± 100% でリニアに動作します。
  QUICK: 高速で各サーボが ± 100% でリニアに動作します。
  STEP: 各サーボが 1 チャンネル毎に 100% の動作量で片側ずつ動作します。
- トリム量の確認
  サーボモニターのページ 1 の画面にて、PAGE を選択すると下図のように各トリム量が数値で確認できます。



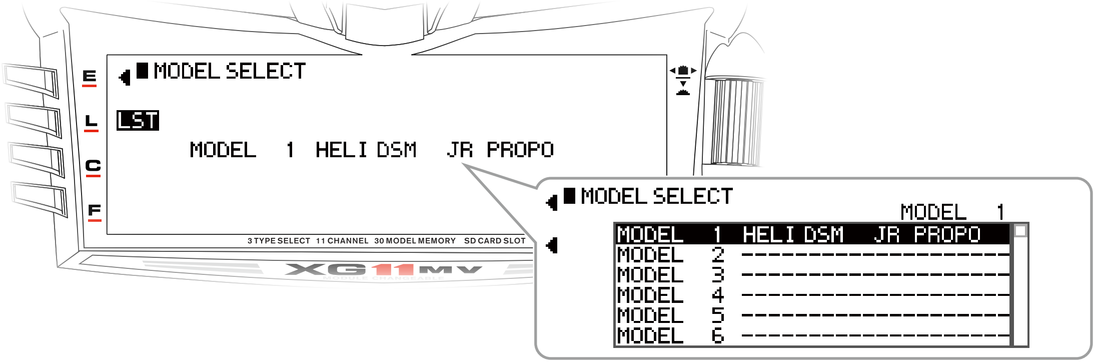
モデル選択【MODEL SELECT】

機能説明

この機能によって、モデルの新設や切り換えを行います。　モデルのメモリー数は 30 です。

設定方法

本機能にて、モデルの新設や切り換えを行なう為には、安全の為に電波の発射を止める仕様になっています。
本機能を選択した際に「電波の停止」(RF-POWER OFF?) が表示されますので、YES にて電波を止めてください。
新規にモデルを設定する場合は「----」表示のモデルにカーソルを合わせダイヤルをプッシュすることで、ウィザードが開始されますのでタイプやウイングタイプなどを選択して設定ください。
既存のモデルを選択する場合は、切り換えたいモデル番号にカーソルを合わせ選択します。



モデルコピー & 削除【MODEL COPY/ERASE】

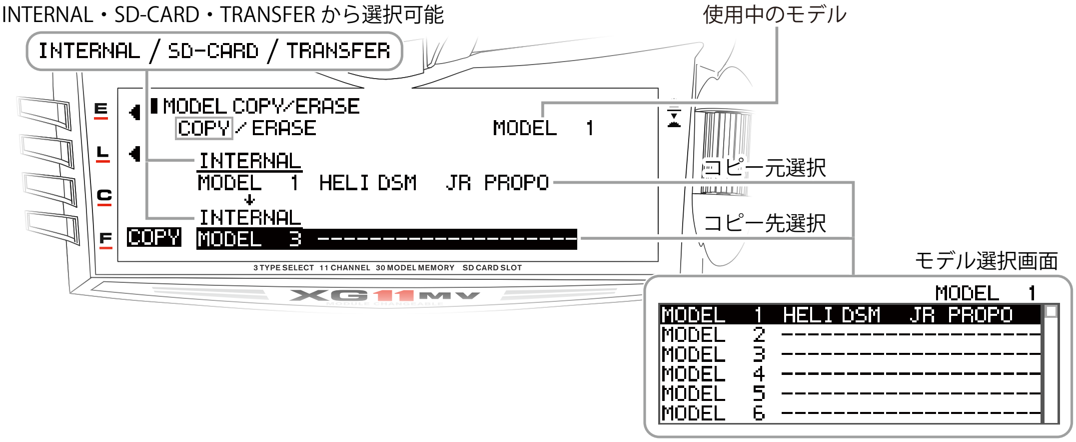
機能説明

この機能ではモデルデーターのコピーや削除を行います。　コピーは、送信機内のメモリー間、SD カード、他の送信機間にて行なうことができます。

設定方法

本機能にて、モデルのコピーや消去を行なう為には、安全の為に電波の発射を止める仕様になっています。
本機能を選択した際に「電波の停止」(RF-POWER OFF?) が表示されますので、YES にて電波を止めてください。

- モデルコピー



コピー元

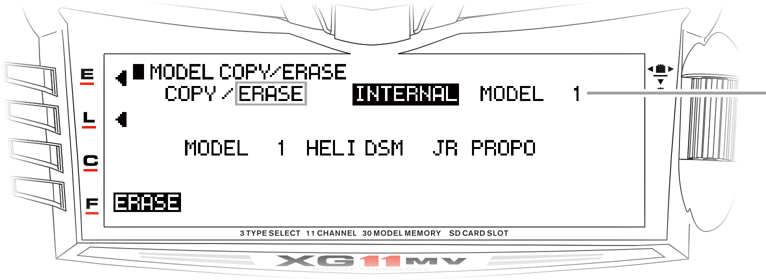
コピー元として選択できるのは、内部メモリ「INTERNAL」、SD カード「SD-CARD」、送信機間転送「トランスファー」(TRANSFER) の 3 種類です。
「TRANSFER」を選択した場合は、現在のモデル番号がコピー元となります。　内部メモリ「INTERNAL」と SD カード「SD-CARD」を選択した場合は、コピーしたいモデルデータを選択してください。

コピー先

コピー先として選択できるのは、内部メモリ「INTERNAL」、SD カード「SD-CARD」、送信機間転送「トランスファー」(TRANSFER) の 3 種類です。
コピー先を選択してから、**内部メモリ「INTERNAL」**と**送信機間転送「トランスファー」(TRANSFER)** の場合は、格納したいモデル番号を選択してください。

※コピー先のデータ存在している場合は、上書き登録できません。コピー先のデータを予め削除した上でコピーしてください。
SD カード「SD-CARD」を選択した場合は、ファイル名を入力してください。
挿入されている SD カードに同じファイル名がある場合は、上書き禁止となっていますのでコピーした場合エラーとなります、ファイル名を変更してください。

● モデルイレーズ (削除)



削除できるのは、内部メモリ「INTERNAL」、SD カード内のデータの 2 種類です。
削除したいデータを選択して、確認のうえで消去してください。

※ 現在使用中のモデルデータを削除した場合は、選択されているモデルが無くなるので自動的に新規モデルを作成する為にウィザードが開始されます。　現在使用しているモデル番号を空けたい場合は、他のモデル番号へコピーし、モデルセレクトでモデルを変更してから削除してください。

ヒント

● 送信機間転送「トランスファー」(TRANSFER) は、トレーナーコード (別売) が挿入され、電源スイッチが OFF の場合のみに転送を行えます。
● 新しくコピーしたモデルを使用する場合は、受信機との再バインドを行ってください。

注意事項

● SD カードへのコピーや削除を実行中は、絶対に SD カードを抜かないでください。SD カードのデータが破壊される恐れがあります。

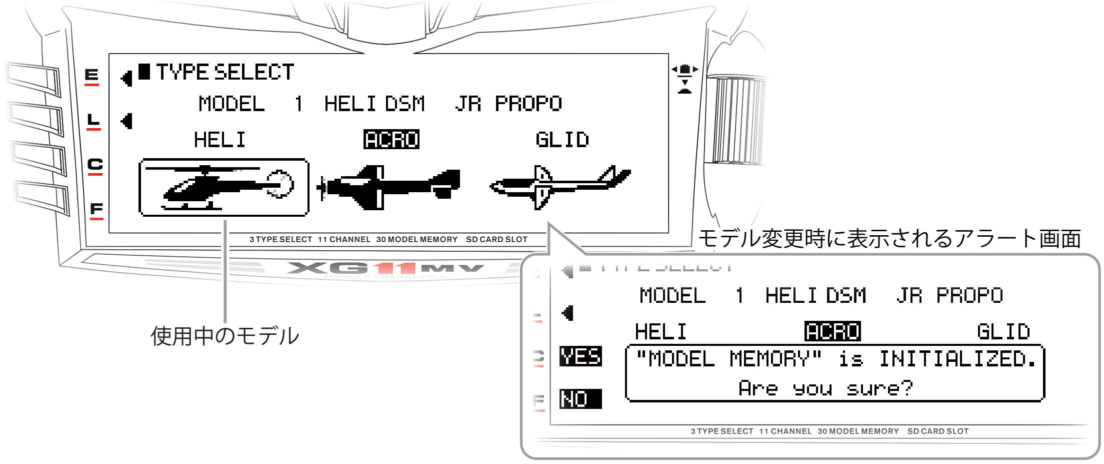
モデルタイプ選択【TYPE SELECT】

機能説明

本送信機は、ヘリ、飛行機、グライダーの３タイプを選択できます。
本機能にて各タイプを選択することができます。

設定方法

現在選択しているモデル番号に対して、タイプを切り替えます。　タイプは、ヘリ、飛行機、グライダーの３種類です、変更したいタイプを選択してください。
本機能にて、モデルのタイプを変える場合は、安全の為に電波の発射を止める仕様になっています。本機能を選択した際に「電波の停止」(RF-POWER OFF?) が表示されますので、YES にて電波を止めてください。



ヒント

- 各タイプ毎の受信機との基本接続は下図になります。

受信機との接続チャンネル一覧

受信機	ヘリコプター	飛行機	グライダー
1) THRO	THRO	THRO	LAILE
2) AILE	AILE	AILE	RAILE
3) ELEV	ELEV	ELEV	ELEV
4) RUDD	RUDD	RUDD	RUDD
5) GEAR	GYRO	GEAR	GEAR
6) AUX1	PIT.	FLAP	FLAP
7) AUX2	GOV	AUX2	AUX2
8) AUX3	NEDL	AUX3	AUX3
9) AUX4	AUX4	AUX4	AUX4
10) AUX5	AUX5	AUX5	AUX5
11) AUX6	AUX6	AUX6	AUX6

注意事項

- タイプを切り替えた場合はモデルデータが初期化されますので注意してください。
  また、選択したタイプの基本設定を行なう為にウィザードが開始されますのでタイプやウイングタイプなどを選択して設定ください。

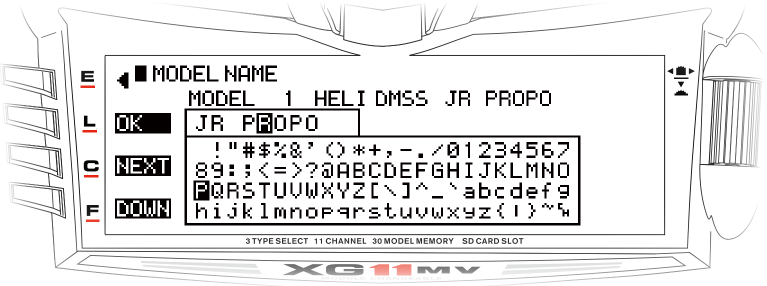
モデルネーム【MODEL NAME】

機能説明

本機能にて、各モデル毎のモデル名を登録することができます。
入力できる文字数は最大 10 文字です。

設定方法

入力したい文字位置にカーソルを合わせ、ダイヤルをプッシュすることで入力モードにして文字一覧から入力したい文字を選択してください。



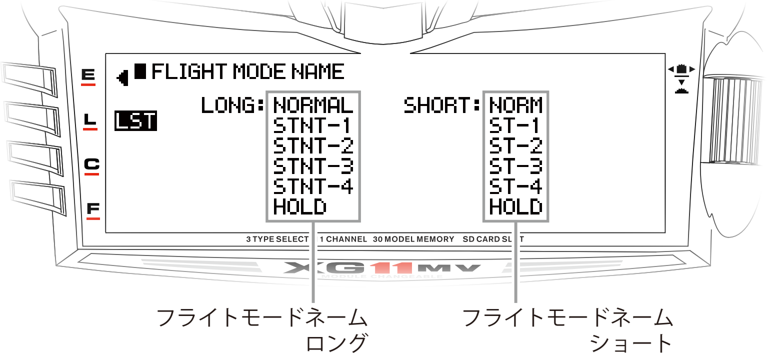
ヒント

- 入力したモデル名は、インフォメーション画面や「モデル選択」(MODEL SEL.) にて表示されます。 機体名などを入力しておけば確認する時に便利です。

フライトモードネーム【FLIGHT MODE NAME】

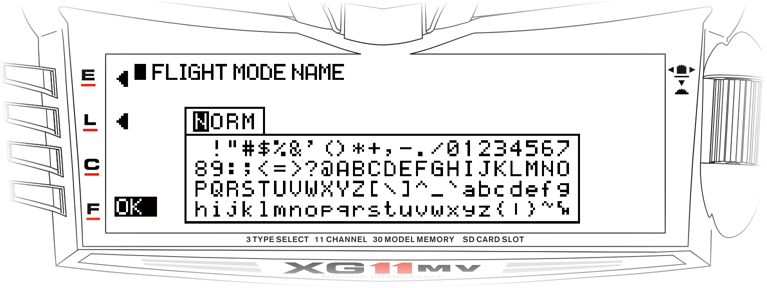
機能説明

フライトモード毎の名称を変更するための機能です。
フライトモード名の表示は各機能にて、6 文字や 4 文字にて表示されます。



設定方法

各フライトモードはロング 6 文字とショート 4 文字があります。
各タイプ毎に初期内容が入力されていますので、変更したい名称にカーソルを合わせ入力してください。



ヒント

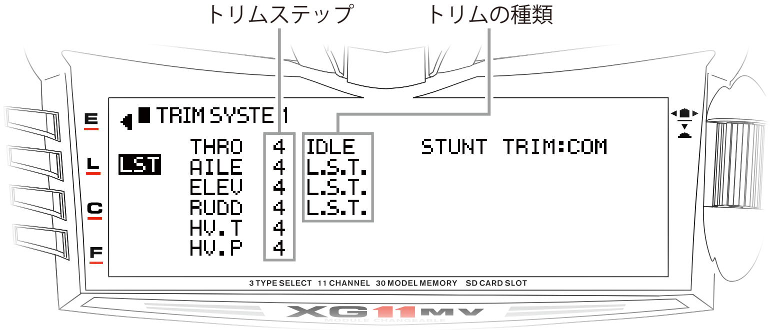
- 入力したフライトモード名は、インフォメーション画面や各機能にてフライトモードの状態を示す場合に表示されます。

トリムシステム【TRIM SYSTEM】

機能説明

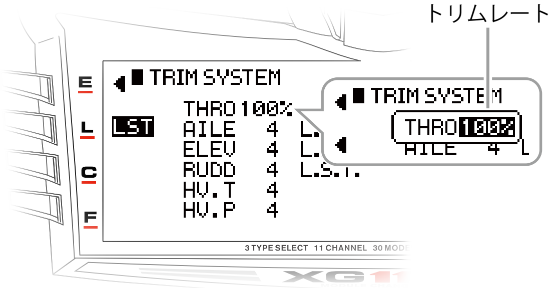
トリムに関する設定を行う機能です。　トリム毎の動作量 (トリムステップ) やトリムの種類、フライトモード毎に個別とするか共通とするかなどを設定できます。

設定方法



● トリムステップ
トリムレバーを一回動作させた時のトリムの動作量を設定できます。　初期設定では、4 ステップとなっています。
0 ～ 10 の範囲にて設定できます。

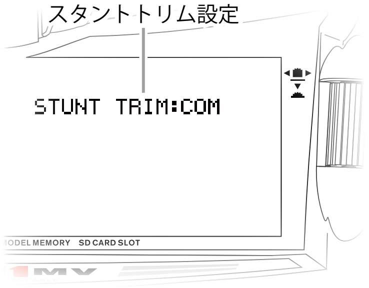
● トリムレート
スロットルがアナログトリムの送信機の場合、スロットルのみがトリムレートになっています。
アナログトリムの動作量を制限することができます。
100% で最大の動作量です。



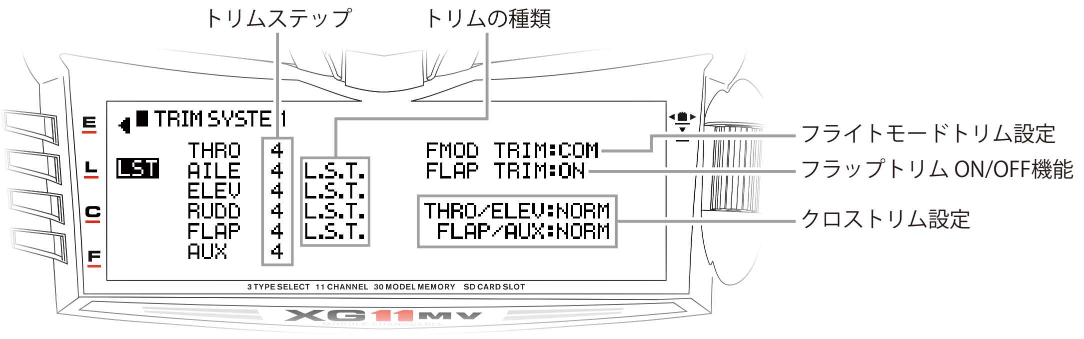
● トリムの種類
－ノーマルトリム (NORM) ・・・・・・・・・　各チャンネルの動作範囲全体にトリムが反映されます。
－リミットストロークトリム (L.S.T.) ・・・・・　各チャンネルのセンター位置では入力されたトリム量が最大となり、最大蛇角位置ではトリムの影響を無くします。
よって、トリムによってのリンケージ破壊を防ぐことができます。
－アイドルトリム (IDLE) ※ヘリタイプのみ ・・　スロットルトリムのみに設定可能で、スロットルのスロー位置にのみトリムが影響します。

「ヘリコプタータイプの場合」

● スタントトリム設定 (STUNT TRIM)
スタント時のトリムをフライトモードのスタント (ST-1, ST-2, ST-3, ST-4) にて、1 つのトリム量で共通とするか、それぞれ個別のトリム量とするか選択できます。
　COM : 共通
FMOD : フライトモードのスタント毎に個別



「飛行機タイプの場合」



- フライトモードトリム設定 (FMOD TRIM)
  フライトモード毎にそれぞれ個別のトリム量とするか、1 つのトリム量で共通とするかを選択できます。
  COM : 共通
  FMOD : フライトモード毎に個別
- フラップトリム ON/OFF 機能 (FLAP TRIM)
  フラップのトリムを使用するかしないかを設定できます。
- クロストリム設定
  入れ替え (クロス) できるトリムは、下記の 2 種類です。
  ① スロットルトリムとエレベータトリムの入れ替えができます。 (THRO/ELEV)
  ② フラップトリムと AUX トリムの入れ替えができます (FLAP/AUX)
  NORM : 通常
  CROSS : クロストリム

「グライダータイプの場合」

- エルロントリムとラダートリムのフライトモードトリム設定 (AILE/RUDD TRIM)
  エルロントリム (AILE) とラダートリム (RUDD) において、フライトモード毎にそれぞれ個別のトリム量とするか、1 つのトリム量で共通とするかを選択できます。
  COM : 共通
  FMOD : フライトモード毎に個別
- フラッペロントリム方向設定 (FPRN DIRECTION)
  フラッペロントリムを入力した時の動作方向を変更することができます。 機体の状態やお好みに合わせて設定してください。
  NORM: 標準
  REV. : 逆方向

ヒント

- トリムステップを "0" を設定することで、トリムの動作を無効化することができます。
  ヘリタイプにて、スロットルトリムを「NORM」にした場合、スロットルカーブ全体を上下できますので、電動機のアンプ設定でガスモードを使用する場合は便利です。

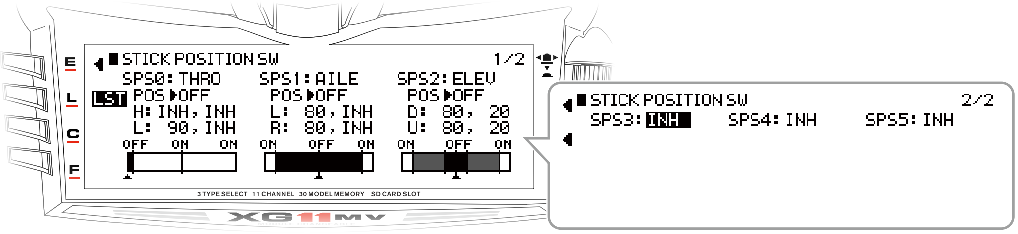
スティックポジションスイッチ【STICK POSOTION SW】

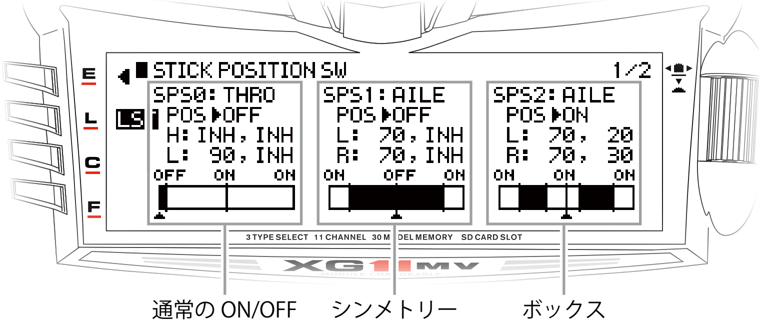
機能説明

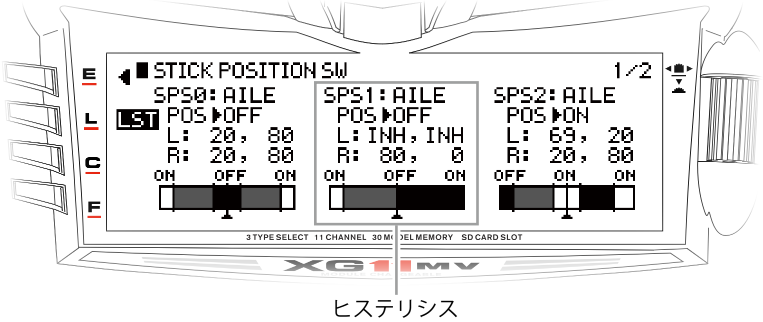
スティックの任意の位置に ON/OFF を設定することができ、スティックをスイッチのように使用できる機能です。　本機能にて設定された内容は各ミキシングなどで使用できますので、スティックでのミキシングの ON/OFF やタイマーのスタート / ストップなどを行なうことができます。

設定方法

本機能によって 6 種類の SPS(スティックポジションスイッチ) が設定できます。 初期設定では、全て無効 (INH) となっていますので、各設定においてスティックの選択と ON/OFF する境界線、及び、その境界線において ON するのか OFF するのかを設定してください。
境界線の設定は、ON と OFF の設定のみならず、スティックの両端だけ ON や OFF にする設定や、ON する位置と OFF する位置をそれぞれに設定して不感帯を作るなど、多彩な設定に対応しています。







ヒント

- 各機能にある「スイッチセレクト」(SW SEL) にて、SPS0 ～ 5 を選択することで、その機能の ON/OFF をスティックにて行なうことが可能になります。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

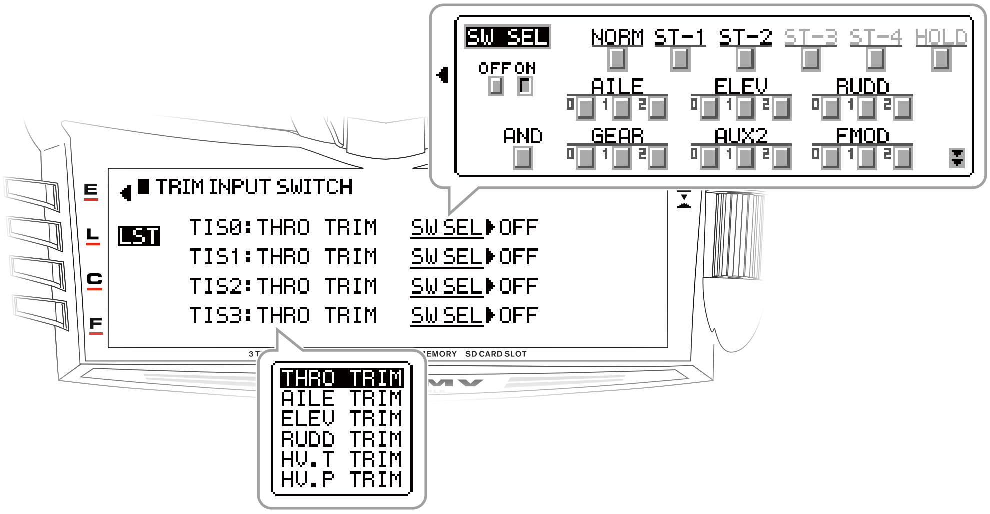
トリムインプットスイッチ【TRIM INPUT SWITCH】

機能説明

ミキシング量や感度などをトリムレバーを使用して入力できる機能です。　トリムレバーを使用できるため、ミキシング量や感度を飛行しながらでも調整することが可能です。

設定方法

4 種類のトリムインプットが設定できます。
トリムレバーは初期設定では､「スロットル トリム」(THRO TRIM) ※グライダータイプでは「スポイラートリム」(SPOI TRIM) が設定されています。
トリムインプットを有効にする為の「スイッチセレクト」(SW SEL) は設定されていません。
使用したいトリムレバー、有効にしたいスイッチの組み合わせをそれぞれ設定してください。



ヒント

- トリムインプットを使用できる機能は各タイプにて異なります。　また、使用できる機能にて、4 種類の何れかのトリムインプットを選択して有効にする必要があります。
- **「ヘリコプタータイプの場合」**
  - 「ジャイロセンス」(GYRO SENS) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 感度入力
  - 「ガバナー」(GOVERNOR) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 回転数ゲイン入力
  - 「スワッシュミキシング」(SWASH MIX) ・・・・・・・・・・・・・・・ AILE->ELEV、ELEV->AILE 補正ミキシング量の入力
- **「飛行機タイプの場合」**
  - 「フラップシステム」(FLAP SYSTEM) ・・・・・・・・・・・・・・・・ フラップ位置の入力
  - 「ディファレンシャル」(DIFFERENTIAL) ・・・・・・・・・・・・・・・ ディファレンシャル量の入力
  - 「ジャイロセンス」(GYRO SENS) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 感度入力
- **「グライダータイプの場合」**
  - 「ブレーキシステム」(BRAKE SYSTEM) ・・・・・・・・・・・・・・・ エレベータへのポイント 0(ブレーキ量が最大の位置) でのミキシング量の入力

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。
- トリムインプットスイッチが有効の時は、通常のトリムは動作しなくなります。

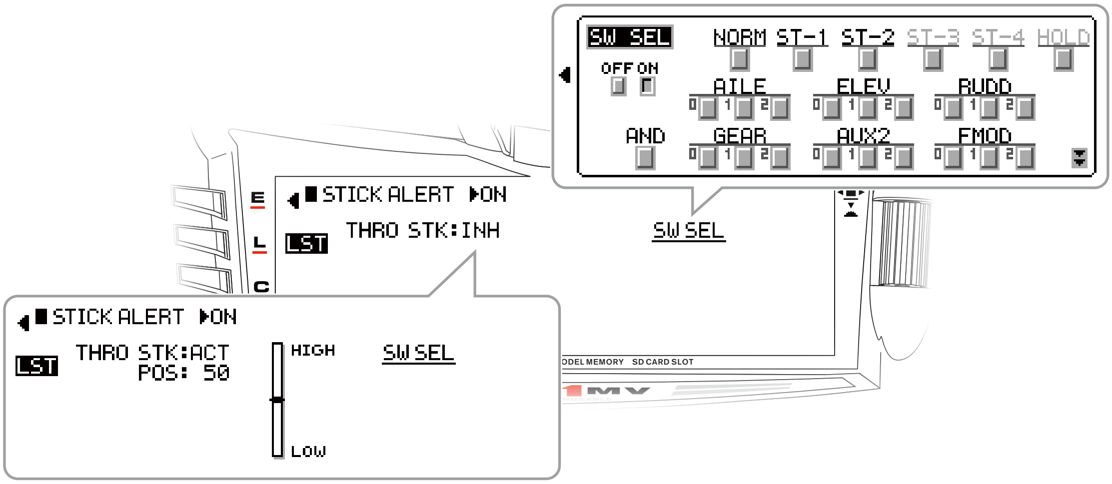
スティックアラート【STICK ALERT】

機能説明

スロットルスティックの位置で音を鳴らす機能です。ゼロピッチ位置などの確認に使用できます。

設定方法

初期設定では無効 (INH) となっています。　有効 (ACT) にして、音を鳴らすスティックの位置を設定してください。また、必要に応じて「スティックセレクト」(SW SEL) を使用して、有効にするフライトモードやスイッチの組み合わせを設定してください。



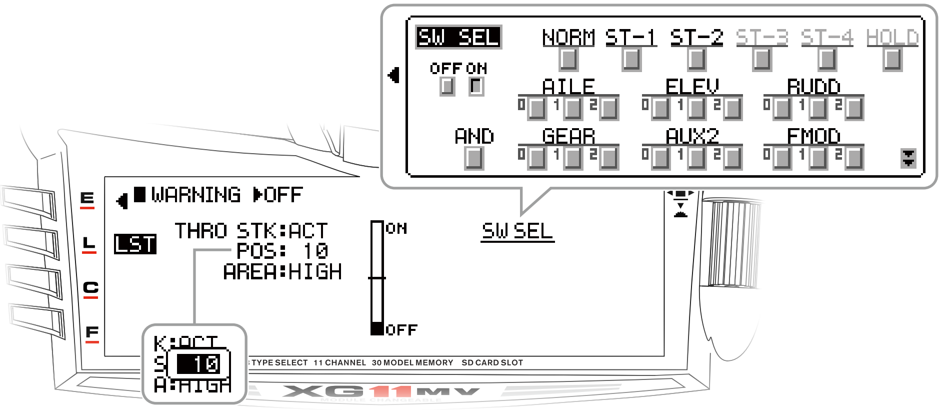
ワーニング【WARNING】

機能説明

送信機を ON にして電波を発射する前に、スロットルスティックやフライモードスイッチが危険な位置にある場合に警告を発する機能です。

設定方法

初期設定はタイプ毎に異なりますが、「スロットルスティック」(THRO STK) の位置や「スイッチセレクト」(SW SEL) によって、警告を発する組み合わせを設定してください。



「ヘリコプタータイプの場合」

初期設定では下記の条件の場合に警告が発するように設定されています。

- スロットルスティックが、スロー側にない場合。(POS:10)
- フライトモードが「ノーマルモード」(NORM) でない場合。

「飛行機タイプの場合」

初期設定では下記の条件の場合に警告が発するように設定されています。

- スロットルスティックが、スロー側にない場合。(POS:10)

「グライダータイプの場合」

初期設定では警告を発する設定にはなっていません。必要に応じて設定してください。　例えば、電動グライダーのモータ操作を行なうスイッチなどです。

注意事項

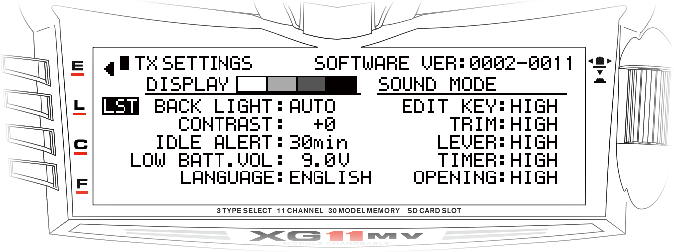
- 安全の為、この機能は必ず設定して警告確認を行なってください。

送信機設定【TX SETTING】

機能説明

本機能では、送信機の基本的な機能設定を行なうことができます。

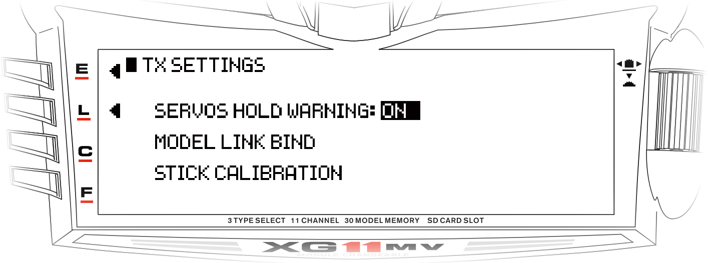
設定方法



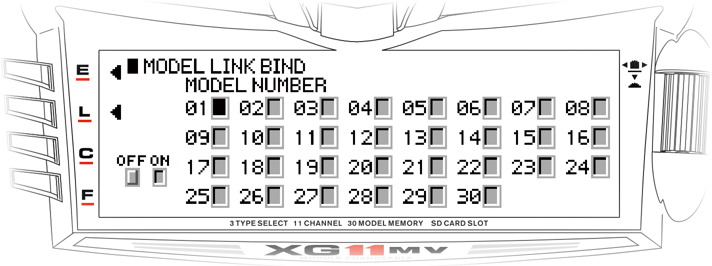
- バックライト (BACK LIGHT)
  LCD のバックライトを、30 秒後に自動消灯 (AUTO)、常時点灯 (ON)、常時消灯 (OFF) の何れかに設定可能です。
- コントラスト (CONTRAST)
  LCD のコントラストを設定可能です。
- アイドルアラート (ILDE ALERT)
  送信機が操作されない場合に音を鳴らす機能です。　電源の切り忘れを防止できます。　無効 (INH)、10 分 (10min)、30 分 (30min)、60 分 (60min) から設定可能です。
- 低バッテリ電圧設定 (LOW BATT.VOL)
  送信機の低バッテリー電圧を設定することが可能です。初期設定は 6.0V です。
- サウンドモード (SOUND MODE)
  下記のスイッチの音程や消音を設定できます。
  - エディターキー (EDIT KEY)　・・・・・・・キー操作音
  - トリム (TRIM)　・・・・・・・・・・・・・・トリム操作音
  - サイドレバーのセンター (LEVER)　・・・・・サイドレバーセンター音
  - タイマー (TIMER)　・・・・・・・・・・・・タイマー音
  - オープニング (OPENING)　・・・・・・・・起動音
- ソフトウエアバージョン (SOFTWARE VER)
  ソフトウェアのバージョンを示しています。　例 :0002-0001(Ver2.1)

ヒント

- サウンドモードでは、警告音などの消音設定はできません。

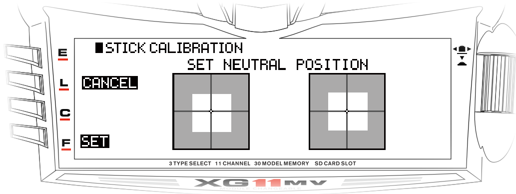


- サーボホールドワーニング (SERVOS HOLD WARNING)
  各ファンクションに入る時に全てのサーボをホールドするかの確認画面が出ます。
  これはファンクションにてスティックを使用しての設定項目があり、サーボを動作させたままでは危険である為のワーニング機能です。
  このワーニング機能を解除することができます。 初期設定では ON となっていますので、解除する場合はＯＦＦに設定してください。
- モデルリンク バインド (MODEL LINK BIND)
  本送信機には、受信機をバインドする際に送信機にて選択されているモデル番号を記憶する機能があります。
  バインドされた送・受信機間であってもモデル番号が一致しない場合は動作しません。 誤ったモデル番号で動作させたときの事故を防ぐことができる安全機能ですが、その安全機能を解除することも可能です。
  初期設定では全てのモデルで安全機能がＯＮとなっていますので、解除する場合は解除するモデル番号を選択し OFF を設定してください。
  また、OFF にしたモデル番号にて再度バインドを行なってください。

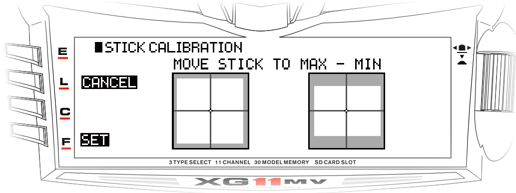


- スティックキャリブレーション（STICK CALIBRATION）
  本送信機はスティックのニュートラルのずれや、動作範囲のずれを補正する機能を持っています。
  補正の方法は下記です。

① 各スティックをニュートラルに合わせ ” ＳＥＴ ” を押すことでニュートラルを補正します。



② 次に各スティックを動かして動作範囲の調整を行ない ” ＳＥＴ ” を押すことで完了となります。



③ 実際にサーボモニターで正確に動作しているかを確認してください。

トレーナー【TRAINER】

機能説明

2 台の送信機をトレーナーケーブル (別売) で接続して生徒のスティック操作を指導できる機能です。本送信機は親機モード (MASTER) と子機モード (SLAVE) を持っています。　親機と子機の操作の切替えは親機のトレーナースイッチやトリムレバーで行えます。

設定方法

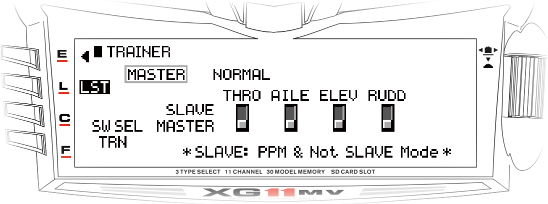
● 親機としての使用
親機として使用する場合の条件を下記に示します。

① 電源スイッチが ON で電波を発射している状態。

② トレーナーコードが挿入されている。

③ スイッチセレクト (SW SEL) に選択されているスイッチかトリムレバーが ON されている。　ON/OFF することで、親機と子機の操作を切り換えます。 親機としてのモードは下記の 2 種類あります。

「ノーマルトレーナー (NORMAL)」
親機は子機から入力するデータをそのまま電波に乗せて出力します。 よって、親機はもちろん子機でも単独飛行できる必要があります。
子機のモジュレーションは「PPM」で、スレーブモード (SLAVE) ではないことが必要です。



「プログラムトレーナー (PROGRAM)」
親機は子機へ操作を任せるチャンネルを 1ch(THRO/SPOI)、2ch(AILE)、3ch(ELEV)、4ch(RUDD) から選択して ""SLAVE"" に設定します。
親機が子機から入力するデータは、”SLAVE” に設定されたチャンネルのスティック情報です。 親機は子機からのスティック情報をもとに親機側の設定内容を反映させて電波に乗せて出力します。
よって、親機の送信機は単独で飛行できる必要がありますが、子機は単独で飛行できる必要はありません。但し、子機での操作の時のトリムや蛇角が正常でない場合は親機側で調整してください。
また、子機側はスレーブモード (SLAVE) であることが必要です。

● 子機としての使用
子機として使用する場合の条件を下記に示します。

① 電源スイッチが OFF で電波を発射していない状態。

② トレーナーコードが挿入されている。
子機としてのモードは下記の 2 種類あります。

親機がノーマルトレーナー (NORMAL) の場合
特に設定として項目があるわけではありませんが、トレーナーのモードを ”SLAVE” とはしないでください。 また、子機でも単独飛行できる必要があります。 上記の子機として使用する場合の条件を満たせば子機として使用することができます。

スレーブモード (SLAVE)
親機側がプログラムトレーナー (PROGRAM) の場合に設定します。 スレーブモード (SLAVE) に設定した場合は、親機に対してスティックの情報を出力しますので、送信機の設定内容 (デュアルレートやミキシングなど) は全て無視されます。

注意事項

● 飛行前に必ず親機操作と子機操作の双方での動作確認を行ない、各スティックのトリムや動作方向、舵角などに問題ないことを確認してください。

バインド & レンジチェック【BIND&RANGE】

※ DMSS モジュールのみ

機能説明

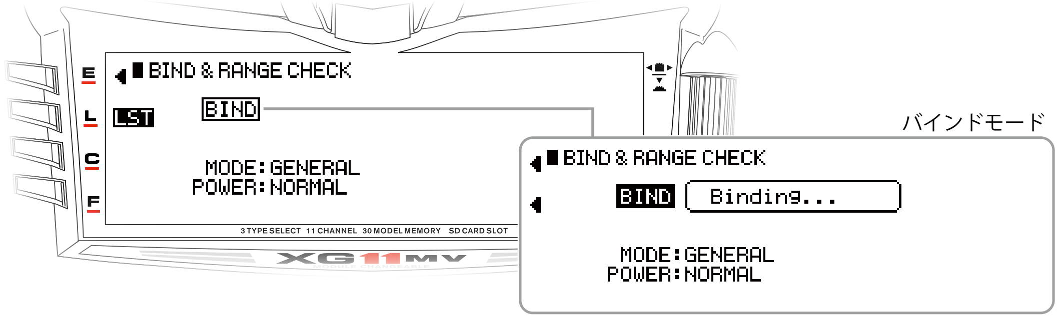
DMSS モジュールを使用時に受信機とのバインド (ペアリング) を行なう機能です。また、送信機の電波出力を下げて距離テストを行なう機能もあります。

※ 参考ページ

「DMSS バインド設定方法」10 ページ
「DMSS イージーバインドシステム バインド設定方法」11 ページ
「DSMJ バインド設定方法」15 ページ

設定方法

● バインド (BIND)
受信機がバインド待機状態の時に、カーソルを ”BIND” に合わせてダイヤルをプッシュすると ”Binding



…” と表示されバインドモードになります。
”SUCCESS…(成功)” と表示されればバインドの完了です。　” 時間切れ、再度試してください (TIMEOUT PLEASE TRY AGAIN.)” と表示された場合は、再度バインド作業を行なってください。

● 電波出力の強さ (POWER)　・・・レンジチェック
電波出力を ” 通常出力 (NORMAL)” から ” 低出力 (LOW)” にすると LED が点滅を行ない、電波出力が低くなります。
この状態で、機体から約 40m 離れて正常に動作するかの距離テストが行えます。

● DMSS 電波モード (MODE)
フランス国内および同国領域にて使用する場合、” フランス (FRANCE)” に設定してください。フランスでは他の地域より 2.4G 帯域幅が法的に狭くなります。 それ以外の地域では ” 一般 (GENERAL)” の設定としてください。
初期設定では、”GENERAL” となっています。

ヒント

● バインドがうまくいかない場合は、下記を確認してください。
- 送・受信機のバッテリー残量は十分ありますか。
- 送信機と受信機の距離が近づきすぎていませんか。
  ※ 近すぎる場合は、電波出力が強すぎる為にバインドできない場合があります。
- 金属製の机や台の上では、バインドできない場合があります。

● 本送信機には、受信機をバインドする際に送信機にて選択されているモデル番号を記憶する機能があります。
バインドされた送・受信機間であってもモデル番号が一致しない場合は動作しません。 誤ったモデル番号で動作させたときの事故を防ぐことができます。
この安全機能はシステムリストの「TX SETTING」で解除することも可能です。(モデルリンク バインド)
「送信機設定【TX SETTING】」P.87 参照

注意事項

● バインド後には、システムリストの「フェイルセーフ」(FAIL SAFE) にて、フェイルセーフの設定を必ず行い、フェイルセーフが正しく動作することを確認してください。

● 電波出力が ” 低出力 (LOW)” の設定では絶対に飛行させないでください。

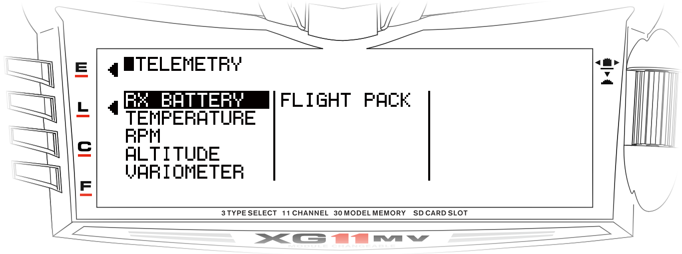
● モジュールを DMSS 以外に設定すると本機能は自動的に無効になります。

テレメトリー【TEREMETRY】 ※ DMSS モジュールのみ

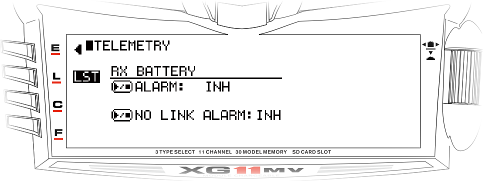
機能説明

受信機のバッテリー電圧でアラームを鳴らす設定や、機体に設置した回転センサーの設定など、テレメトリーに関するさなざまな設定を行なう機能です。
テレメトリーセンサーの計測値は、サブ INFO 画面に表示させることができます。
「サブインフォメーション画面」P.22 参照

設定方法

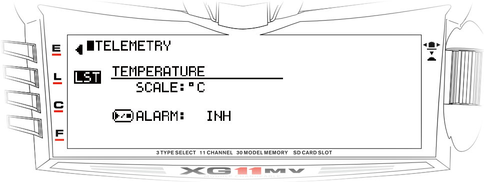


受信機バッテリー (RX-BATT) / ノーリンクアラーム (NO LINK ALARM)



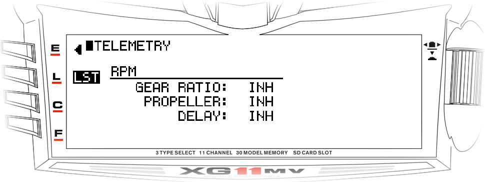
- 受信機バッテリーアラーム (RX BATTERY ALARM)
  受信機のバッテリー低下を知らせる為のアラームを設定します。 初期設定では無効 (INH) となっていますので、アラームを鳴らしたい電圧を設定してください。
  3.0V ～ 9.0V の範囲で 0.1V 刻みにて設定することができます。
- ノーリンクアラーム (NO LINK ALARM)
  送信機のテレメトリー受信が途絶えた時にアラームを鳴らす機能です。 初期設定では無効 (INH) となっていますので、10s(10 秒)、15s(15 秒)、20s(20 秒)、30s(30 秒) の中からお好みに合わせて設定してください。

温度 (TEMPERATURE)



- 単位 (SCALE)
  温度の表示を行なう際の単位を設定します。
  ℃ : 摂氏、℉ : 華氏
- アラーム (ALARM)
  温度にてアラームを鳴らすことができます。
  初期設定では無効 (INH) となっていますので、アラームを鳴らす温度を設定してください。
  30℃～ 500℃の範囲で 1℃刻みに設定することができます。

回転数 (RPM)

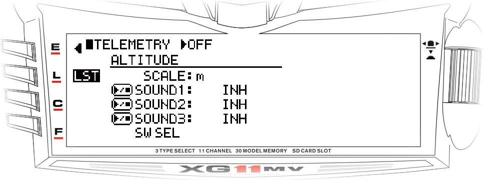


- ギヤ比 (GEAR RATIO)
  磁気センサーを取り付けた回転軸と、検出したい回転軸が異なる場合、そのギヤ比を設定することで、希望の回転数を表示します。
  ギヤ比については各機体の取説などで確認してください。
  初期設定では無効 (INH) となっていますので、必要な数値を入力してください。 1.00 ～ 20.00 の範囲で、0.01 刻みに設定することができます。
  例：
  ヘリコプターにおいて、モーター (エンジン) の回転軸に磁石を取付け、その回転をセンサーで検出する場合、モーターからメインローターまでのギヤ比 (GEAR RATIO) を設定することで、メインローターの回転数を表示させることができます。
- プロペラ枚数 (PROPELLER)
  回転センサーをプロペラに対して設置した場合、プロペラの枚数を設定することで、正確なプロペラの回転を表示す

ることができます。
光学式 (OPTICAL) はプロペラがセンサーの前を横切る事で回転数を検出します。　２枚プロペラの場合一回転につき2回センサーの前を横切るので、「2」を設定。　３枚プロペラの場合「3」を設定します。
磁気式 (MAGMETIC) も同様に一回転にセンサーを通過するマグネットの数を設定してください。
初期設定では無効 (INH) となっていますので、必要枚数を設定してください。1 ～ 20 枚で 1 枚刻みに設定することが可能です。

- マグネットポール (MAGNET POLE)
  モーターのポール数を設定します。
  設定範囲 : INH ～ 40(偶数)
- イニシャルディレイ (INITIAL DELAY)
  センサーが検出を開始するまでの遅延 (ディレイ) を設定します。
  例：
  TLS3-ROT の場合、ESC が初期化している間にモーターが回転していると誤認識するため、電源投入後から検出開始までの遅延を設定しなければなりません。
- フライトモードディレイ (F.MODE DELAY)
  フライトモード毎の最大回転数を記憶し表示させる機能がありますが、フライトモードを切り換えた時に回転が安定しない状態で記憶した場合、遷移前のフライトモードの回転数を遷移後のフライトモードの回転数だと誤認識してしまうことがあります。
  よって、フライトモードを切り換えてから回転が安定するまでの時間を設定し、その間は計測を行なわないようにする必要があります。
  初期設定では無効 (INH) となっていますので、必要に応じた時間を入力してください。　0.5 秒 (0.5s) ～ 10 秒 (10.0s) の間で 0.5 秒刻みで設定することが可能です。

高度 (ALTITUDE)



- 単位 (SCALE)
  高度の表示を行なう際の単位を設定します。
  m: メートル、ft: フィート
- サウンド (SOUND1,2,3)
  機体の高度によって、3 種類のサウンドを設定することができます。　初期設定では無効 (INH) となっていますので、高度とサウンドを鳴らす条件を設定してください。
  1 ～ 2000m の範囲で 1m 刻みで設定することができます。
  サウンドを鳴らす条件)　↑ : 設定された高度以上、　↓ : 設定された高度以下、　～ : 設定された高度範囲 ※高度範囲は 0.3m ～ 9.9m の範囲で 0.3m 刻みで設定できます。

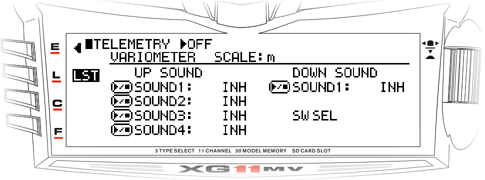
※ 3 種類のサウンド設定の条件が重なった時の優先順位は、「SOUND3 > SOUND2 > SOUND1」です。

- スイッチセレクト (SW SEL)
  サウンドを鳴らす時のスイッチやスティックの組み合わせをスイッチセレクト (SW SEL) にて設定することが可能です。
  初期設定では、常時 ON となっています。

サブ INFO 画面における操作

ALTITUDE の数値表示にカーソルを合わせ " **クリヤキー** " を押すことで、センサーが示す高度を「0.0m」にリセットスリうことができます。
「サブインフォメーション画面」P.22 参照

昇降計 バリオメータ (VARIOMETER)

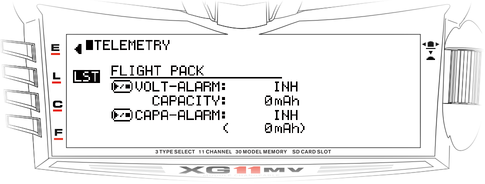


- 単位 (SCALE)
  高度の表示を行なう際の単位を設定します。
  m: メートル、ft: フィート
- 上昇サウンド (UP SOUND1,2,3,4)
  毎秒ごとの上昇速度を 4 種類設定でき、それぞれのサウンドを鳴らすことができます。　初期設定は無効 (INH) となっています。
  上昇速度は、± 3.0m/s の範囲で 0.1m/s 毎に設定することができます。
  マイナス設定の利用例：
  　無風時の下降速度がわかっているグライダーの場合、その下降速度を設定することで、沈下が遅い (上昇気流がある) 事を知ることが出来ます。

※ 4 種類のサウンド設定の条件が重なった時の優先順位は、「SOUND4 > SOUND3 > SOUND2 > SOUND1」です。

- DOWN SOUND(下降サウンド)
  毎秒ごとの下降速度を設定できサウンドを鳴らすことができます。 初期設定は無効 (INH) となっています。
  下降速度は、± 3.0m/s の範囲で 0.1m/s 毎に設定することができます。
  プラス設定の利用例：
  モーターグライダーなどで無風時の上昇速度がわかっているグライダーの場合、その上昇速度を設定することで、上昇が早い (上昇気流がある) 事を知ることが出来ます。
- スイッチセレクト (SW SEL)
  サウンドを鳴らす時のスイッチやスティックの組み合わせを SW SEL(スイッチセレクト) にて設定することが可能です。
  初期設定では、常時 ON となっています。

動力用バッテリー (FLIGHT PACK)



- バッテリーアラーム (VOLT-ALARM)
  バッテリー低下を知らせる為のアラームを設定します。 初期設定では無効 (INH) となっていますので、アラームを鳴らしたい電圧を設定してください。
  0.1V ～ 655.3V の範囲で 0.1V 刻みにて設定することができます。
- バッテリー公称容量値 (CAPACITY)
  お使いのバッテリーの公称容量値を設定します。 バッテリーの残量値はここで設定された容量値から、消費された容量を差し引くことで表示されます。 0mAh ～ 30000mAh の範囲で、10mAh 毎に設定することが可能です。
- 残量アラーム (CAPA-ALARM)
  設定されたバッテリー公称容量値の残量によってアラームを設定することができます。 初期設定では無効 (INH) となっていますので、0 ～ 100% の範囲の中で設定してください。

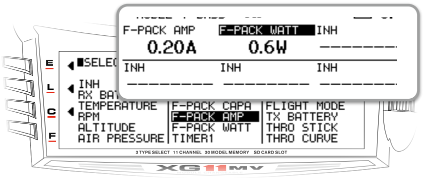
サブ INFO 画面における操作

電流と電力が表示可能です。

- F-PACK AMP ・・・・ 電流 (アンペア)
- F-PACK WATT・・・・ 電力 (ワット)

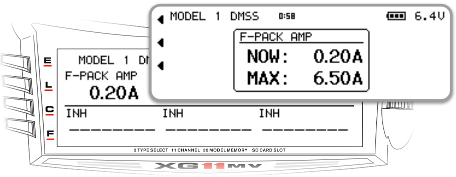
運用時にサブ INFO 画面で、「F-PACK AMP」・「F-PACK WATT」を選択しダイヤルをプッシュするとポップアップ画面が表示されます。
それぞれの画面で、現在の計測値 (NOW) とピーク値 (MAX) を確認することができます。
「サブインフォメーション画面」P.22 参照

サブINFO表示



サブINFO選択画面

F-PACK AMP ポップアップ画面



サブINFO表示

ヒント

- 各テレメトリーの情報は、インフォメーション画面にて表示させることができます。初期設定では表示無効 (INH) となっていますので、表示させたい項目を設定してください。

注意事項

- これらのセンサーは測定器ではありませんので、計測結果についての保証は致しかねます。

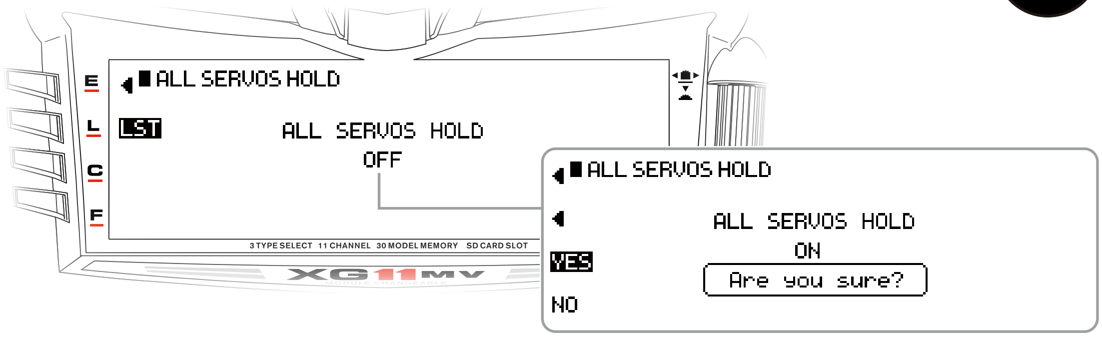
オールサーボホールド【ALL SERVOS HOLD】

機能説明

全てのサーボを現在の位置に固定 (ホールド) する機能です。調整等でサーボを動作させたくない時に使用します。
ここでオールサーボホールドが ”ON” の時は、インフォメーション画面に「サーボホールド」(SERVO HOLD) の文字が点滅表示します。またシステムリストの「サーボモニター」(MONITOR) でも "HOLD" と点滅表示されます。

設定方法

初期設定では OFF となっています。　必要な際に ON にしてください。



注意事項

- 不用意に ON にすると大変危険です。 サーボホールドにできる状態であることを十分に確認してから ON としてください。

デバイス選択【DEVICE SELECT】

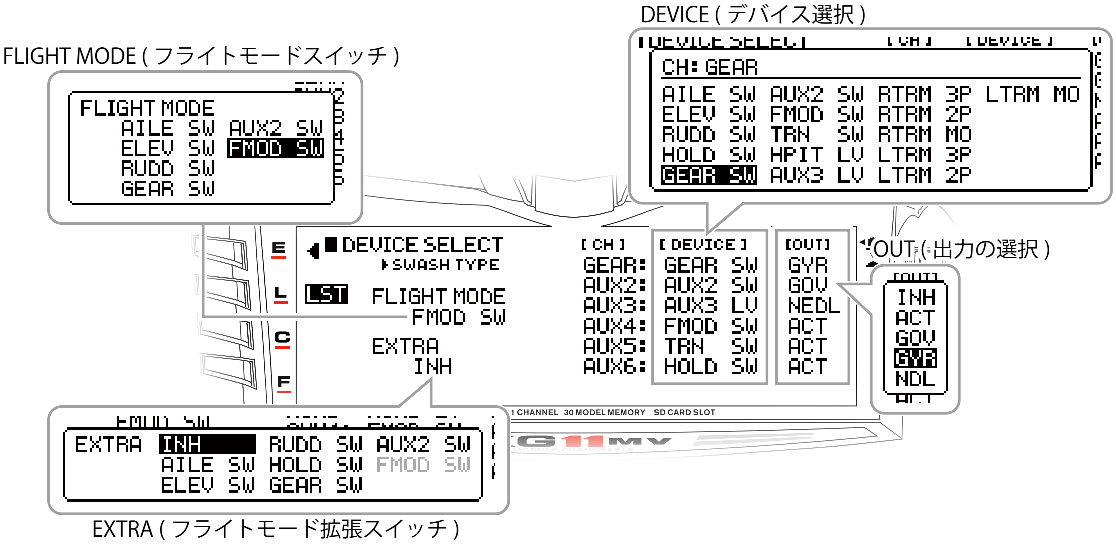
機能説明

フライトモードを切り換えるスイッチの選択、各チャンネルの入力デバイス (スイッチやレバーなど) の選択、また各チャンネル出力の選択を行なう機能です。

設定方法

「ヘリコプタータイプの場合」

- フライトモードスイッチ (FLIGHT MODE) / フライトモード拡張スイッチ (EXTRA)
  初期設定ではフライトモードを切り換えるスイッチに、フライトモードスイッチ (「FMOD SW」) が設定されています。 お好みに応じて他のスイッチに変更することができます。
  また、初期設定では無効 (INH) となっていますが、フライトモード拡張スイッチ (EXTRA) にてスイッチを選択することで、フライトモードを 2 種類拡張することができます。
- デバイス選択 (DEVICE)
  各チャンネル毎の入力デバイス (スイッチやレバーなど) を選択し設定します。お好みの入力デバイスを設定してください。
- 出力の選択 (OUT)
  各チャンネルの出力状態を設定します。
  INH: 出力無効
  ACT: 出力許可
  GOV: ガバナーチャンネルとしての使用
  ファンクションリストの「ガバナー」(GOVERNOR) が使用可能となり、ガバナーのレートが設定できます。
  GYR: ジャイロチャンネルとしての使用
  ファンクションリストの「ジャイロセンス」(GYRO SENS) が使用可能となり、ジャイロの感度が設定できます。
  NDL: ニードルチャンネルとしての使用
  各ファンクションにて「ニードル」(NEDL) チャンネルとして表示されますので、どのチャンネルをニードルにしているかが分かり易くなります。

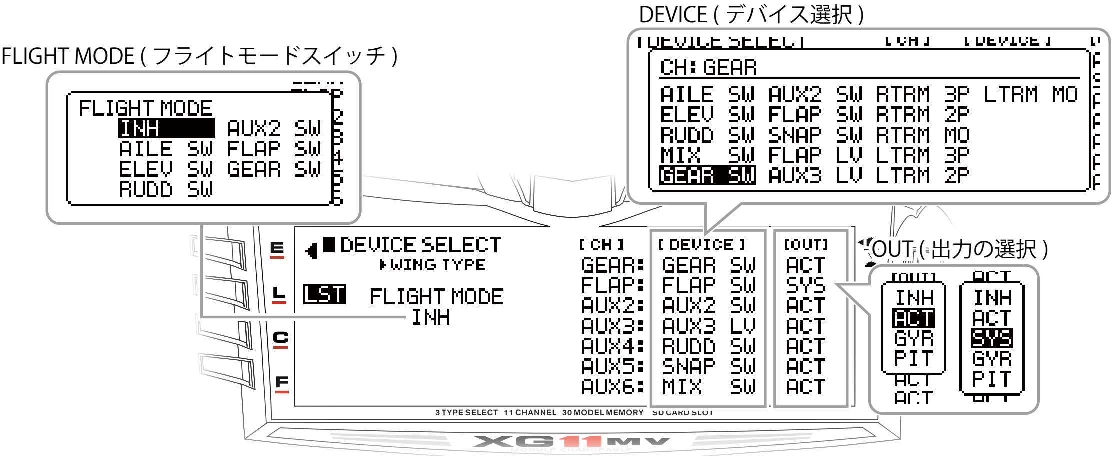


「飛行機タイプの場合」

● フライトモードスイッチ (FLIGHT MODE)
初期設定では無効 (INH) となっています。 いずれかのスイッチを選択して設定することでフライトモードが有効となります。

● デバイス選択 (DEVICE)
各チャンネル毎の入力デバイス (スイッチやレバーなど) を選択し設定します。お好みの入力デバイスを設定してください。

● 出力の選択 (OUT)
各チャンネルの出力状態を設定します。
INH: 出力無効
ACT: 出力許可
SYS: フラップシステムの使用
※フラップチャンネルにて "SYS" を設定するとで、ファンクションリストの「フラップシステム」(FLAP SYSTEM) が使用可能となります。
GYR: ジャイロチャンネルとしての使用
※ファンクションリストの「ジャイロセンス」(GYRO SENS) が使用可能となり、ジャイロの感度が設定できます。
PIT: ピッチチャンネルとしての使用
※ファンクションリストの「ピッチカーブ」(PITCH CURVE) が使用可能となり、ピッチカーブが設定できます。



「グライダータイプの場合」

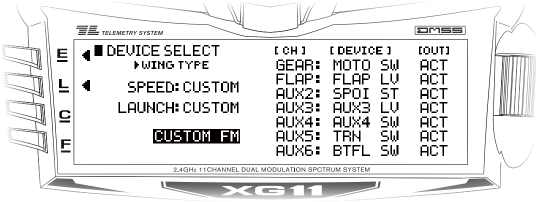
● スピード / ランチスイッチ (SPEED/LAUNCH)
SPEED(スピードスイッチ) と LAUNCH(ランチスイッチ) を設定することでフライトモードが有効となります。
フライトモードの設定には２種類の方法があります。

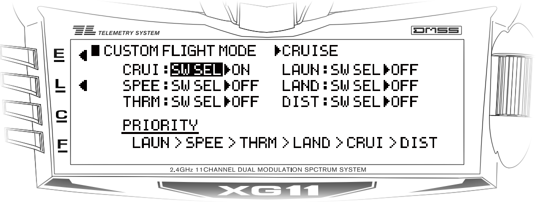
① SPEED/LAUNCH(スピード / ランチスイッチ) にスイッチを選択する場合
スイッチを選択することによって、固定のスイッチの位置でフライトモードを切り換えます。
SPEED(スピードスイッチ) にスイッチ（*** SW）を選択することによって下記のフライトモードが有効となります。
- スピードモード (SPEED)
- クルーズモード (CRUISE)
- サーマルモード (THERMAL)

LAUNCH(ランチスイッチ) にスイッチ（*** SW）を選択することによって下記のフライトモードが有効となります。
- LAMD(ランディングモード)　※但し、2 ポジションスイッチを選択した場合は、ランディングモードは有効になりません。
- クルーズモード (CRUISE)
- ランチモード (LAUNCH)

※ ランチスイッチ リバース (LAUNCH REV)
ランチスイッチにて切り換えるフライトモードを上下で入れ替えることができます。
NORM : スイッチの上側 (POS0) にてランディングモード (LAND)、下側 (POS2) にてランチモード (LAUNCH) になります。
REV. : スイッチの上側 (POS0) にてランチモード (LAUNCH)、下側 (POS2) にてランディングモード (LAND) になります。

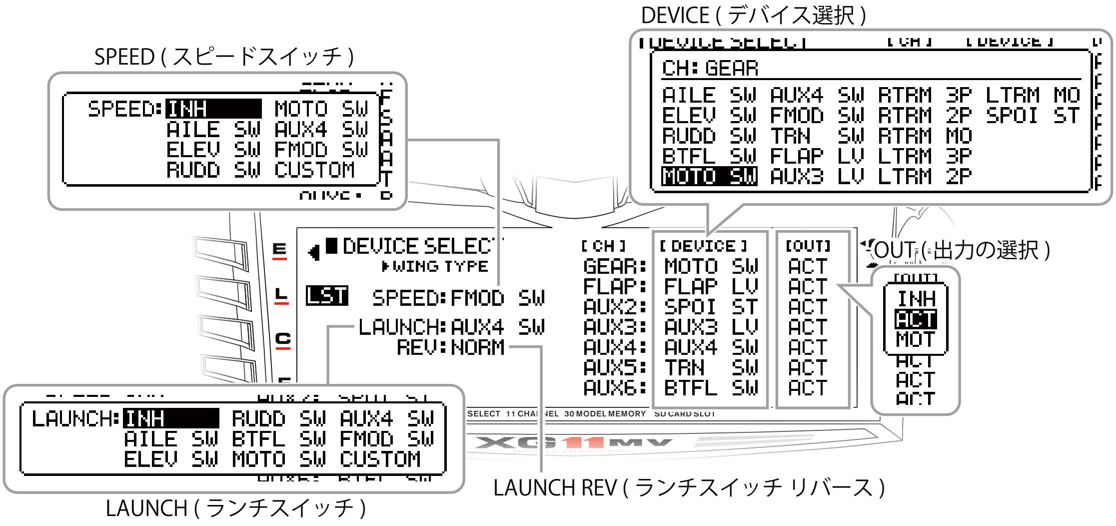
② スピード / ランチスイッチ (SPEED/LAUNCH) にカスタムを選択する場合
カスタムを選択すると各フライトモードをどのスイッチで切り換えるのかを自由に設定することが可能です。
また、フライトモード毎の優先順位を任意に設定することが可能です。





"SW SEL" にてお好みのスイッチのポジションを設定して、各フライトモードの優先順位を ”PRIORITY” (プライオリティー) にて設定してください。

- デバイス選択 (DEVICE)
  各チャンネル毎の入力デバイス (スイッチやレバーなど) を選択し設定します。お好みの入力デバイスを設定してください。
- 出力の選択 (OUT)
  各チャンネルの出力状態を設定します。
  INH: 出力無効
  ACT: 出力許可
  MOT: モーターチャンネルとしての使用。　※モーターチャンネルとして設定できるチャンネルは「ギヤチャンネル」(GEAR) と「チャンネル AUX3」(AUX3) です。
  モーターチャンネルを設定すると、ファンクションリストの「モーターシステム」(MOTOR SYSTEM) が使用可能となります。



ヒント

- 各チャンネルの出力 (OUT) が無効 (INH) 設定であっても、ファンクションリストの「プログラムミックス」(PROGRAM MIX) のマスターチャンネルとして使用することができます。　また、その際のデバイス選択 (DEVICE) は有効です。
- 各デバイスなどを選択する場合は、実際にそのスイッチなどを操作することで自動的に操作したスイッチに設定されます。(タッチセレクト)　スイッチ名が分からない場合に便利です。
- トリムレバーを入力デバイスに選択する場合は 3 種類の動作から選択することが可能です。
  2P: 2 ポジション動作
  3P: 3 ポジション動作
  MO: モーメンタリー動作

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

スワッシュタイプ【SWASH TYPE】

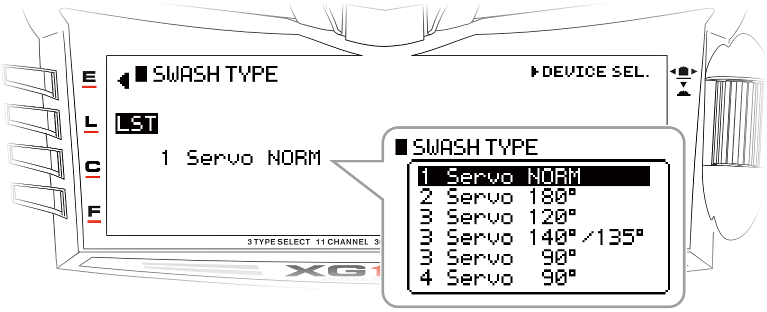
機能説明

CCPM システムを搭載したヘリコプターを使用する場合、スワッシュプレートの構成に合わせてスワッシュのタイプを設定する機能です。

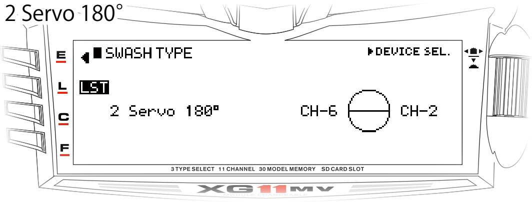
設定方法

初期設定では、「1 サーボ ノーマル」(1 Servo NORM) となっています。 ご使用のヘリコプターの機体に合わせたタイプを設定してください。
また、実際の各サーボのミキシング量や動作の補正は、ファンクションリストの「スワッシュ ミキシング」(SWASH MIX) にて行ないます。

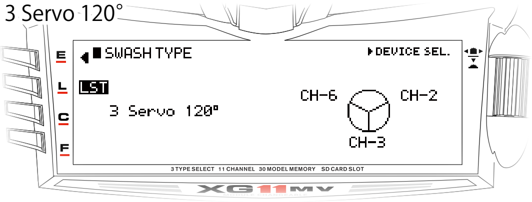
- スワッシュタイプの種類
  - 2 Servo 180°
  - 3 Servo 120°
  - 3 Servo 140° /135°
  - 3 Servo 90°
  - 4 Servo 90°



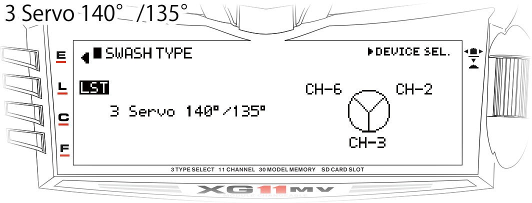
2 Servo 180°



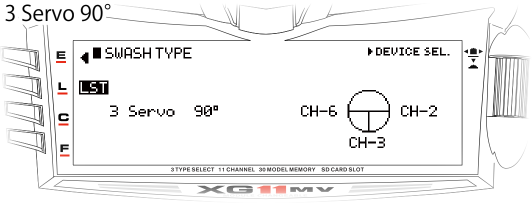
3 Servo 120°



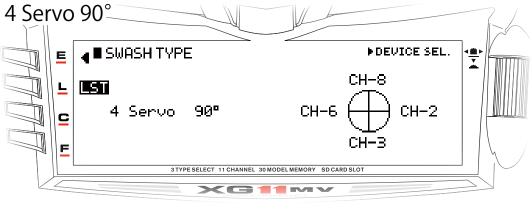
3 Servo 140° /135°



3 Servo 90°



4 Servo 90°



注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

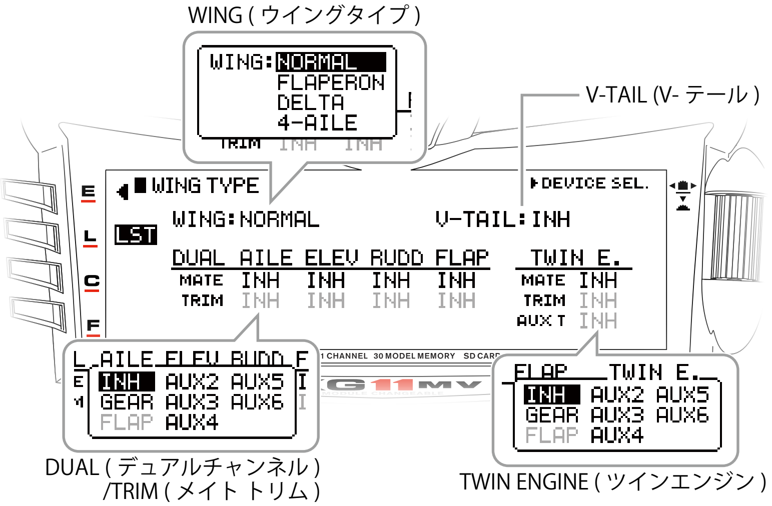
ウイングタイプ【WING TYPE】

機能説明

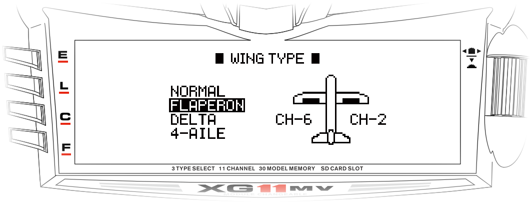
機体の種類に応じた翼の設定を行なう機能です。

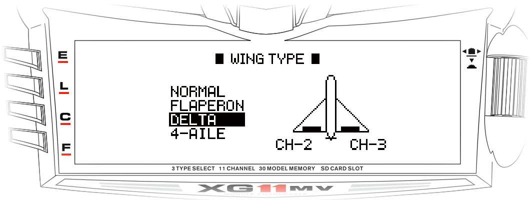
設定方法

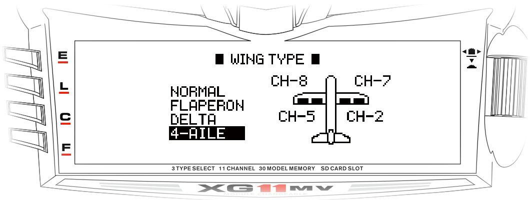
「飛行機タイプの場合」

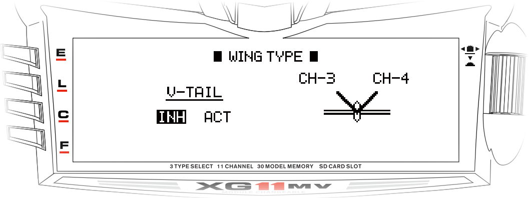


- ウイングタイプ (WING)
  主翼の種類を設定します。
  - ノーマル (NORMAL)
    通常の翼設定です。
  - フラッペロン (FLAPERON)
    デュアルエルロンの翼です。 また、デュアルエルロンをフラップ動作することも可能です。
    対応チャンネルは下記です。
    チャンネル 2(AILE) ： 右エルロン (RAIL)
    チャンネル 6(FLAP) ： 左エルロン (LAIL)
  - デルタ (DELTA)
    デルタ機でエレボン動作できます。
    対応チャンネルは下記です。
    チャンネル 2(AILE) ： 左エレボン (LEVN)
    チャンネル 6(FLAP) ： 右エレボン (REVN)
  - 4 エルロン (4AILE)
    4 枚のエルロン設定です。
    対応チャンネルは下記です。
    チャンネル 2(AILE) ： 右エルロン 1(RAL1)
    チャンネル 7(AUX2) ： 右エルロン 2(RAL2)
    チャンネル 5(GEAR) ： 左エルロン 1(LAL1)
    チャンネル 8(AUX3) ： 左エルロン 2(LAL2)









- V- テール (V-TAIL)
  V 尾翼機の場合に設定します。対応のチャンネルは下記です。
  チャンネル 3(ELEV)： 左テール (LTAL)
  チャンネル 4(RUDD)： 右テール (RTAL)
- デュアルチャンネル (DUAL)/ メイト トリム (TRIM)

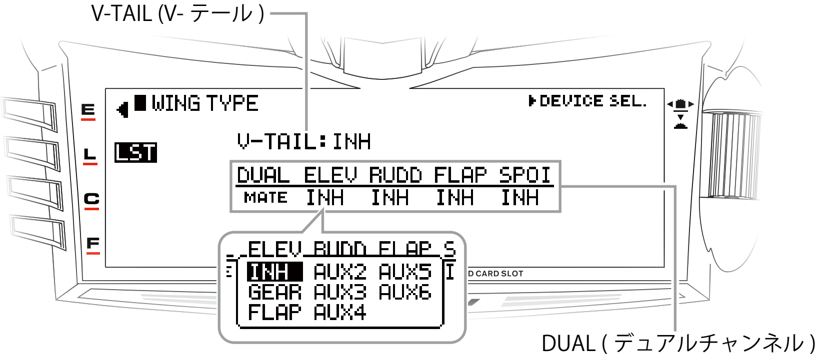
下記の翼に対して、デュアルチャンネルの設定が行えます。
デュアルに使用するチャンネルを選択し設定してください。
　また、デュアルトリムの設定が可能です。

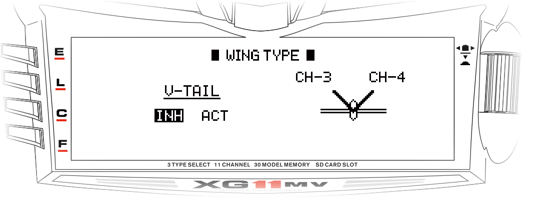
- エルロン (AILE)
- エレベータ (ELEV)
- ラダー (RUDD)
- フラップ (FLAP)

- ツインエンジン (TWIN ENGINE)
  ツインエンジンの設定が可能です。　2 個目のスロットルチャンネルを選択して設定してください。
  また、追加したスロットルチャンネルに対して、スロットルトリムを有効にする設定や、さらに別のトリムレバーをスロットルトリムとして用いる場合ことも可能です。

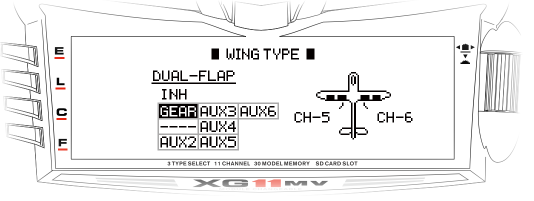
「グライダータイプの場合」

グライダータイプでは、デュアルエルロンが標準の仕様となります。
チャンネル 1： 左エルロン (LAIL)
チャンネル 2： 右エルロン (RAIL)





- V- テール (V-TAIL)
  V 尾翼機の場合に設定します。対応のチャンネルは下記です。
  チャンネル 3(ELEV) ：左テール (LTAL)
  チャンネル 4(RUDD) ：右テール (RTAL)
- デュアルチャンネル (DUAL)
  下記の翼に対して、デュアルチャンネルの設定が行えます。 デュアルに使用するチャンネルを選択し設定してください。



- エレベータ (ELEV)
- ラダー (RUDD)
- フラップ (FLAP)
- スポイラー (SPOI)

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

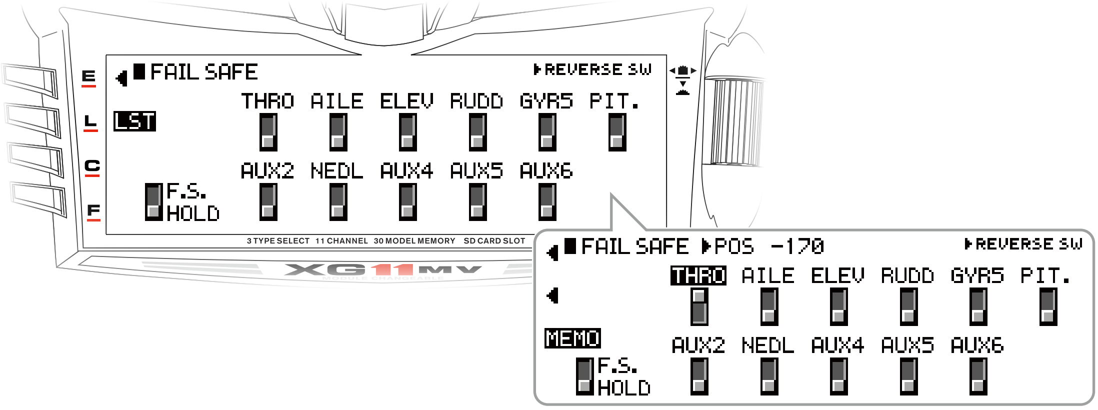
フェイルセーフ【FAIL SAFE】 ※ DMSS・SPCM モジュールのみ

機能説明

受信機が正常に送信機の電波を受信できない場合、サーボを設定しておいた任意の位置に移動させる機能です。フルスロットルでの墜落など危険な状態を避けるため、必ずフェイルセーフを設定してください。

設定方法

電波が途切れる直前の位置を保持する「ホールド」(HOLD) と、任意の位置にサーボを移動させる「フェイルセーフ」(F.S.) の 2 種類から選択できます。
初期状態では全てのチャンネルが「HOLD」に設定されています。
「フェイルセーフ」(F.S.) を設定するには、設定したいチャンネルを「フェイルセーフ」(F.S.) 側に切り換え、チャンネルを任意の位置に動作させた状態で "MEMO" を押し記憶させます。



注意事項

- スロットルチャンネルは、必ず最スロー側に設定してください。
- フェイルセーフの設定は、リバーススイッチやスティックモードの変更で、意図した設定では無くなる可能性があります。必ず全ての設定の最後に設定し、飛行前に動作を確認してください。

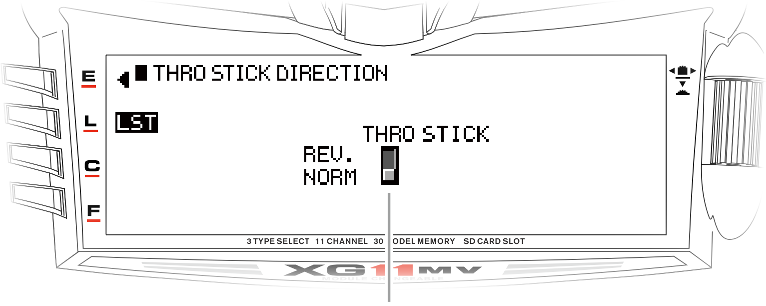
スロットルスティック方向【THRO(SPOI) STICK DIRECTION】

機能説明

スロットルスティック (スポイラースティック) の入力方向を切り換える機能です。　出力値を逆にするリバーススイッチとは内容が異なります。

設定方法

初期設定では、"ノーマル "(NORM: 下がスロー、上がハイ) となっています。 お好みに合わせ、" リバース "(REV.: 上がスロー、下がハイ) に設定してください。



REV.　　リバース : 上がスロー、下がハイ
NORM　ノーマル : 下がスロー、上がハイ

ヒント

- リバーススイッチで出力を逆にした場合も、スロットルスティックが下側でスローであることは変わりありません。スロットルスティックの上側でスローとしたい場合は本機能を使用します。

注意事項

- 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

スティックモード【STICK MODE】

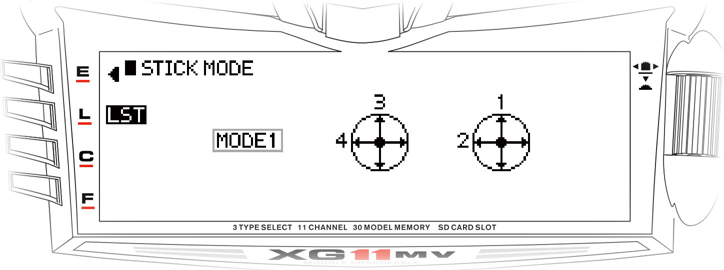
機能説明

左右のスティックのチャンネル配置を変更する機能です。通常日本ではモード 1、アメリカではモード 2 が主流です。

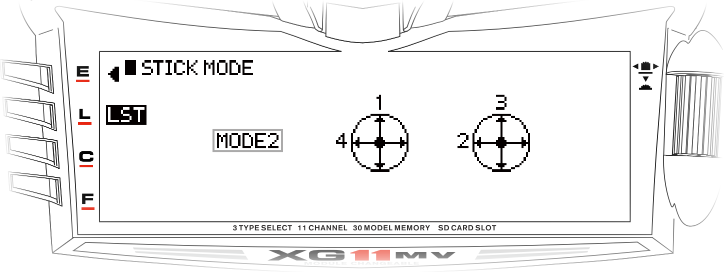
設定方法

ご購入された時点で選択されたモードが初期設定となっています。　変更したい場合はどのモードかを選択して設定してください。

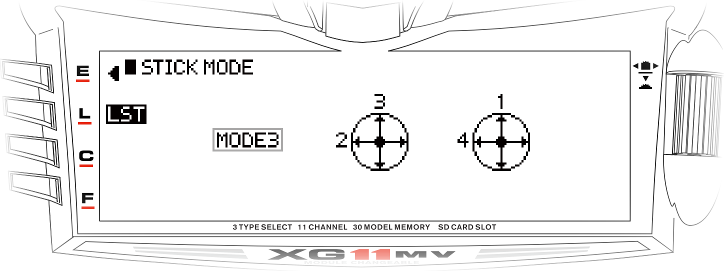
モード 1



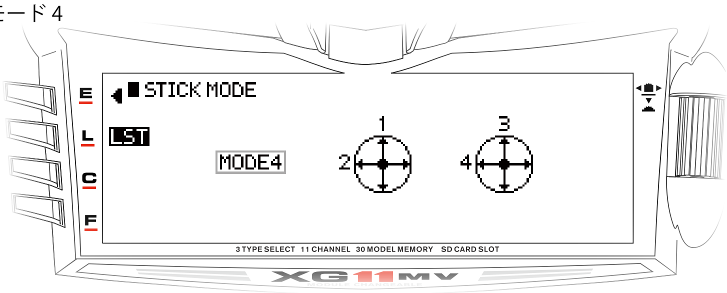
モード 2



モード 3



モード 4



注意事項

- スロットルスティックを左右で入れ替える時は、スティックのスプリングなどを入れ替える必要があります。

モジュレーション切換【MODULATION】

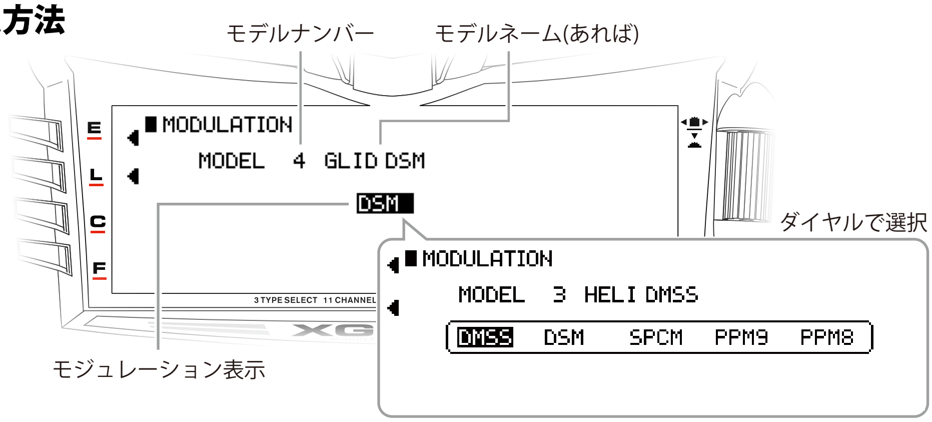
機能説明

この送信機は、DMSS、DSM、SPCM、PPM9、PPM8 との切換が可能です。
ご使用になる受信機の形式に合わせて設定してください。

- DMSS：TG2.4XP モジュール + 2.4GHz 受信機（RG1131B 等）
  ※ TG2.4XP を使用する場合、必ず TG2.4XP 付属のアダプタピンをご使用ください。
  品名：TG2.4XP モジュール用アダプタピン
  品番：03595

- DSM ：TD2.4JM モジュール + 2.4GHz 受信機（RD1231 等）
- SPCM：TS-72J + SPCM 受信機（RS77S 等）
- PPM9：TD2.4JP + 2.4GHz 受信機（RD931 等）
  TS-72J + FM タイプ受信機（R700 等）
- PPM8：TD2.4JP + 2.4GHz 受信機（RD931 等）
  TS-72J + FM タイプ受信機（R700 等）

設定方法



モジュレーション表示部を選択し、ダイヤルをプッシュすると選択画面が表示されます。
選択するモジュレーションにカーソルを合わせ、ダイヤルをプッシュして確定してください。

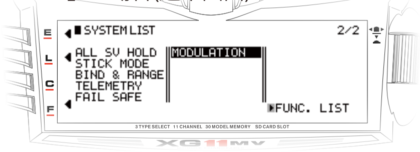
注意事項

- モジュレーション選択により、システム設定リストの設定項目が変わります。
  - 「DSM」と「PPM」の場合
    BIND & RANGE　TELEMETRY　FAIL SAFE が非表示になります。
  - 「SPCM」の場合
    BIND & RANGE　TELEMETRY が非表示になります。
- モジュレーションにより使用できるチャンネル数が変わります。注意してください。

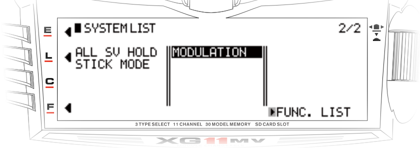
各モジュレーションとチャンネル数

モジュレーションタイプ	チャンネル数
DMSS	11 チャンネル
DSM	11 チャンネル
SPCM	10 チャンネル
PPM9	9 チャンネル
PPM8	8 チャンネル

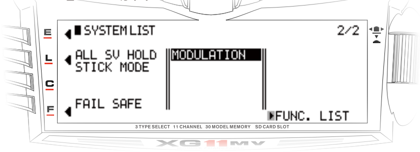
「DMSS」の場合(通常画面)



「DSM」と「PPM」の場合



「SPCM」の場合



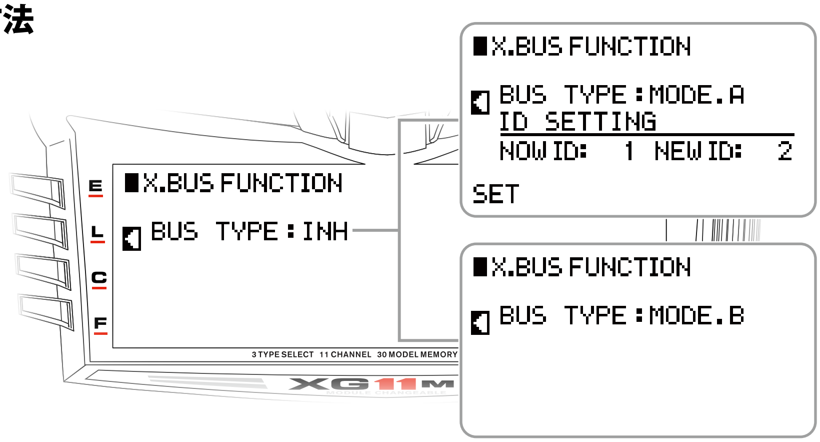
X.BUS 機能【X.BUS】

機能説明

X.BUS とは、受信機からの制御信号が従来の PWM 方式ではなく、シリアルデータ通信方式で制御するシステムです。　受信機の1ポートから対応するサーボなどを全て動作させることができます。
対応サーボなどは、どのチャンネルで動作させるのかをあらかじめ設定する必要があります。
下記の設定方法を参考に設定を行ってください。

※ X.BUS システムを使用するためには対応した受信機が必要となります。

設定方法



X.BUS のタイプは３種類あります。

- バスタイプ (BUS TYPE)

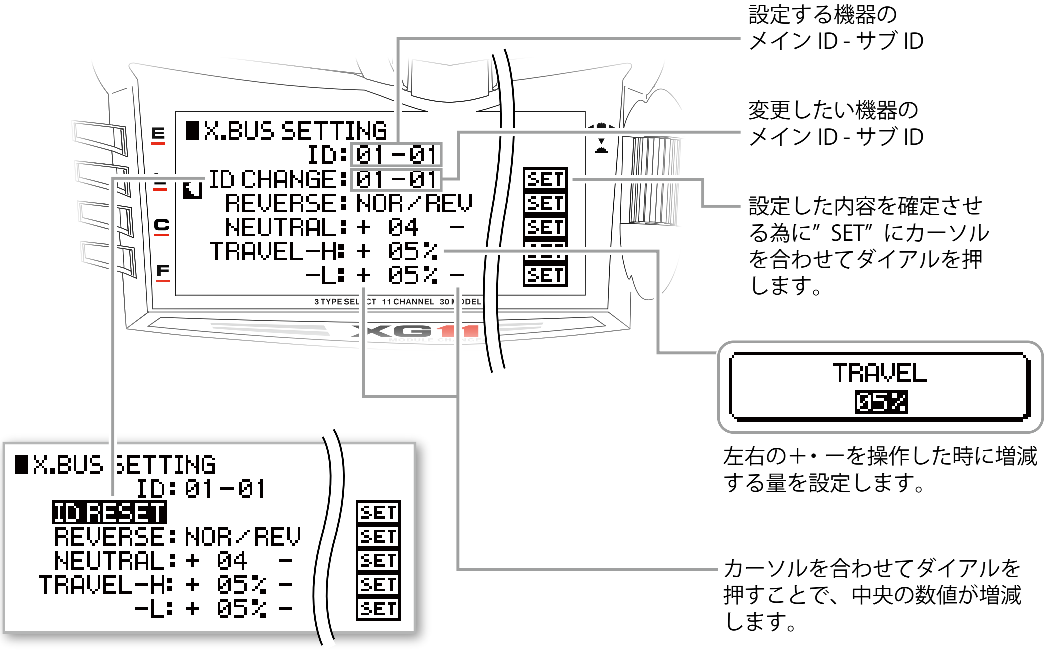
  - **INH**　：X.BUS を使用しない場合に設定します。

    ※ X.BUS に対応していない DMSS 受信機の場合は「INH」としてください。

  - **MODE.A**：JR 製品が対応するオリジナルのモードです。
    対応するサーボやジャイロに対して通常の動作をさせることはもちろん、それら機器へのチャンネル ID の設定なども送信機から行うことができます。

  - **MODE.B**：他社製品にて、シリアルデータ通信方式に対応した機器を動作させることができます。
    出力されているチャンネルデータの並びは下記となります。 また、最大チャンネル数は 12 チャンネルです。
    1) エルロン
    2) エレベータ
    3) ラダー
    4) AUX1(ピッチ / フラップ)
    5) スロットル
    6) GEAR
    7) AUX2
    8) AUX3
    9) AUX4
    10) AUX5
    11) AUX6
    12) AUX7

    ※ 従来の PWM 信号が出力されるポートからの PWM 出力は停止となりますのでご注意ください。



● X.BUS MODE.A の場合の各種設定項目について

- I Dについて
  I Dには、メインI DとサブI Dがあります。 メインI Dは各チャンネルの番号です、サブI Dは1つのチャンネル出力で最大4つまでのサーボの個々に対しての動作調整を可能とする為に使用します。
- ID 変更 (ID CHANGE)
  X.BUS に対応する機器への ID の設定を送信機から行うことができます。
  設定機器のチャンネル ID と変更したいチャンネル ID を入力し、"SET" にカーソルを合わせてダイアルを押すことで対応機器のチャンネル ID を変更します。
- ID 初期化 (ID RESET)
  X.BUS に対応する機器の ID を工場出荷時の初期 ID に戻すことができます。
  "ID CHANGE" にカーソルを合わせてダイアルを押すことで "ID RESET" を表示させることができます。
  ID RESET と表示させた状態で "SET" を押すことで、受信機に接続させている X.BUS 機器の ID を初期化します。
- リバース設定 (REVERSE)
  X.BUS に対応するサーボのリバースを設定します。
  設定するサーボのチャンネル ID とサブ ID を設定して、"NORM"(ノーマル) か "REV"（リバース）にカーソルを合わせてダイアルを押すことで設定することが出来ます。　また、対応機器への設定を確定させる為には "SET" を押す必要があります。
- ニュートラル設定 (NEUTRAL)
  X.BUS に対応するサーボのニュートラルを設定します。
  設定するサーボのチャンネル ID とサブ ID を設定して、"+"(プラス) か "-"（マイナス）にカーソルを合わせてダイアルを押すことで設定することが出来ます。 その際、一度に調整する範囲を設定させることが可能です。
  また、対応機器への設定を確定させる為には "SET" を押す必要があります。
- トラベル設定 (TRAVEL)
  X.BUS に対応するサーボのトラベル量を設定します。
  設定するサーボのチャンネル ID とサブ ID を設定して、"+"(プラス) か "-"（マイナス）にカーソルを合わせてダイアルを押すことで設定することが出来ます。 その際、一度に調整する範囲を設定させることが可能です。
  また、対応機器への設定を確定させる為には "SET" を押す必要があります。

※ 各種の設定を行なうと時は、送信機とバインドされた受信機に対応機器が接続されて電源入っている状態で行なってください。

注意事項

● 飛行前には実際に動作させて良く設定を確認してください。

XG11MV DATA SHEET / HELI

ヘリコプター

MODEL No. ________________

MODEL NAME ________________

FLIGHT MODE NAME	NORMAL(NORM)	STNT-1(ST-1)	STNT-2(ST-2)	STNT-3(ST-3)	STNT-4(ST-4)	HOLD(HOLD)
LONG						
SHORT						

		THRO	AILE	ELEV	RUDD	GEAR	PIT.	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
REVERSE SW		NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV
SUB TRIM												
TRAVEL ADJUST		H %	L %	D %	L %	+ %	H %	+ %	+ %	+ %	+ %	+ %
		L %	R %	U %	R %	- %	L %	- %	- %	- %	- %	- %
FAIL SAFE												
SERVO SPEED	↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
	↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
	SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5									

		THRO	AILE	ELEV	RUDD	HOV. PITCH	HOV. THRO
A.D.T.	NORM						
	ST-1						
	ST-2						
	ST-3						
	ST-4						
	HOLD						
TRIM STEP							
TRIM TYPE		IDLE・NORM	L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	STUNT TRIM COM・FMOD	

THRO HOLD	INH・ACT	HOLD Pos.	%
		STICK AUTO	INH・( )
		Delay	INH・(s)
	SW SEL	AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0 HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

STICK POSITION SW					
	STICK	↑・←		↓・→	
SPS 0					
SPS 1					
SPS 2					
SPS 3					
SPS 4					
SPS 5					

GYRO SENS							
TWO GYRO DUAL GAIN	Channel						
	TYPE	NORMAL・T.LOCK・STUNT		NORMAL・T.LOCK・STUNT		NORMAL・T.LOCK・STUNT	
AILE D/R・ELEV D/R・RUDD D/R・FMOD SW・AUX2 SW・AUTO	NORM(Pos0)	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	ST-1(Pos1)	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	ST-2(Pos2)	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	ST-3	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	ST-4	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	HOLD	T・N	%	T・N	%	T・N	%
	DELAY						
	TRIM IN						

TIMER			
	TIMER 1	TIMER 2	TIMER 3
Timer	Down-T STOP W	Down-T STOP W	Down-T STOP W
Time	10'00"・	10'00"・	10'00"・
START			
STOP			

WARNING	THRO STICK	ACT・INH	POS.	10・( )	AREA	HIGH・LOW
	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				

GOVERNOR	
Channel	
NORM	%
ST-1	%
ST-2	%
ST-3	%
ST-4	%
HOLD	%
TRIM IN	

XG11MV DATA SHEET / HELI

ヘリコプター

AILE	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)		DELAY 5	→		INH・(s)	
DELAY 2	→	INH・(s)		DELAY 6	→		INH・(s)	
DELAY 3	→	INH・(s)		DELAY 7	→		INH・(s)	
DELAY 4	→	INH・(s)		DELAY 8	→		INH・(s)	

ELEV	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)		DELAY 5	→		INH・(s)	
DELAY 2	→	INH・(s)		DELAY 6	→		INH・(s)	
DELAY 3	→	INH・(s)		DELAY 7	→		INH・(s)	
DELAY 4	→	INH・(s)		DELAY 8	→		INH・(s)	

RUDD	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)		DELAY 5	→		INH・(s)	
DELAY 2	→	INH・(s)		DELAY 6	→		INH・(s)	
DELAY 3	→	INH・(s)		DELAY 7	→		INH・(s)	
DELAY 4	→	INH・(s)		DELAY 8	→		INH・(s)	

XG11MV DATA SHEET / HELI

ヘリコプター

SWASH MIX	TYPE	1s・2s180°・3s120°・3s140° /135°・3s90°・4s90°			
	AILE	%	PIT.	%	
	ELEV	%	EXP	INH・ACT	
	AILE → ELEV	L: %	R: %	TRIM IN	
	ELEV → AILE	D: %	U: %	TRIM IN	
	SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		
	PIT. → AILE	H: %	L: %		
	PIT. → ELEV	H: %	L: %		
	SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		
	E-RING	INH・ACT			

		EXP		L	1	2	3	4	5	H
THRO Curve	NORM	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-2	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-3	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
TRIM OFFSET: %	ST-4	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
PITCH Curve	NORM	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-2	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	ST-3	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
Hi PIT : INH・ACT INPUT: HiPIT LV AUV LV RATE : %	ST-4	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	HOLD	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							

		MASTER	EXP		L	1	2	3	4	5	H
TAIL Curve	NORM	NORM・ORIG	OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	ST-1	NORM・ORIG	OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	ST-2	NORM・ORIG	OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	ST-3	NORM・ORIG	OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
STUNT MIX RATE: 1/1・1/2・1/4・1/10	ST-4	NORM・ORIG	OFF・ON	IN	0						100
				OUT							

	CHANNEL	AILE → THRO		ELEV → THRO		RUDD → THRO	
MIX → THRO	Gain	L: %	R: %	D: %	U: %	L: %	R: %
	SW SEL	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

XG11MV DATA SHEET / HELI

THRO TRIM				
THRO TRIM	THRO CUT	INH・ACT	TRIM MEMORY	INH・ACT
	THRO	+/- %	TIME LAG: INH・ s	
	SW SEL	AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0 HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		

FLIGHT MODE DELAY		THRO	AILE	ELEV	RUDD	GEAR	PIT.	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
	NORM	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	ST-1	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	ST-2	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	ST-3	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	ST-4	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	HOLD	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s	INH・ s

PROGRAM MIX										
	MIX 1	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX 2	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX 3	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX 4	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX 5	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX 6	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			%		%			
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		ON・OFF	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						

XG11MV DATA SHEET / HELI

ヘリコプター

STICK ALERT	ACT・INH	POS	
	ON・AND	NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

THRO STICK DIRECTION	REV・NORM
STICK MODE	

DEVICE SELECT	FLIGHT MODE	FLIGHT MODE EXTRA	CH	GEAR	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
	Flight mode SW・RUDD D/R SW	INH	DEVICE	GEAR SW	AUX2 SW	AUX3 SW	AUX4 SW	AUX5 SW	AUX6 SW
			OUT	INH・ACT GOV・GYR NDL	INH・ACT GOV・GYR NDL	INH・ACT GOV・GYR NDL	INH・ACT GOV・GYR NDL	INH・ACT GOV・GYR NDL	INH・ACT GOV・GYR NDL

TRIM INPUT SW		TRIM	SW SELECT
	TIS 0		ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 1		ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 2		ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 3		ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5

ALUTITUDE	SOUND 1	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SOUND 2	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SOUND 3	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SW SEL	ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5		

VIRIOMETER	SOUND 1	m/s・fps
	SOUND 2	m/s・fps
	SOUND 3	m/s・fps
	SW SEL	ON・AND NORM・ST-1・ST-2・ST-3・ST-4・HOLD・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FMOD-0/1/2・HOLD-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5

TEMPERATURE	ALARM
	INH・(　　℃/℉)

RX-BATTERY	ALARM
	INH・(　　V)

RPM	TYPE	GEAR RATIO	PROPELLER	DELAY
		INH・(　　)	INH・(　　)	INH・(　　)
	F.MODE DELAY	INH・(　　)	F.MODE DELAY	INH・(　　)

FLIGHT PACK	VOLT-ALARM	CAPACITY	CAPA-ALARM
	INH・(　　V)	mAh	INH・(　　%)

NO LINK ALARM	ALARM
	INH・10s・15s・20s・30s

XG11MV DATA SHEET / ACRO

飛行機

MODEL No. ____________________

MODEL NAME ____________________

FLIGHT MODE NAME	FMOD-0(FM-0)	FMOD-1(FM-1)	FMOD-2(FM-2)
LONG			
SHORT			

	THRO	AILE	ELEV	RUDD	GEAR	PIT.	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
REVERSE SW	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV
SUB TRIM											
TRAVEL ADJUST	H %	L %	D %	L %	+ %	H %	+ %	+ %	+ %	+ %	+ %
	L %	R %	U %	R %	- %	L %	- %	- %	- %	- %	- %
LIMIT ADJUST	H %	L %	D %	L %	+ %	H %	+ %	+ %	+ %	+ %	+ %
	L %	R %	U %	R %	- %	L %	- %	- %	- %	- %	- %
FAIL SAFE											
SERVO SPEED ↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
SERVO SPEED ↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
SERVO SPEED SW SELECT	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5									

		THRO	AILE	ELEV	RUDD	FLAP	AUX
A.D.T.	FM-0						
	FM-1						
	FM-2						
TRIM STEP							
TRIM TYPE			L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	
FMOD TRIM: COM・FMOD			THRO/ELEV TRIM: NORM・CROSS				
FLAP TRIM: ON・OFF			FLAP/AUX TRIM: NORM・CROSS				

STICK POSITION SW					
	STICK	↑・←		↓・→	
SPS 0					
SPS 1					
SPS 2					
SPS 3					
SPS 4					
SPS 5					

GYRO SENS		TWO GYRO・DUAL GAIN			
AILE D/R・ELEV D/R・RUDD D/R・FMOD SW・AUX2 SW・AUTO	Channel				
	TYPE	NORMAL・T.LOCK		NORMAL・T.LOCK	
	POS0(FM-0)	T・N	%	T・N	%
	POS1(FM-1)	T・N	%	T・N	%
	POS2(FM-2)	T・N	%	T・N	%
	DELAY	INH・ s			
	TRIM IN				

				AILE	ELEV	RUDD
SNAP ROLL	S.ROLL0	INH・ACT	RATE	%	%	%
			STICK POS			
			SW	ON・FM-0・FM-1・FM-2・SNAP		
	S.ROLL1	INH・ACT	RATE	%	%	%
			STICK POS			
			SW	ON・FM-0・FM-1・FM-2・SNAP		
	S.ROLL2	INH・ACT	RATE	%	%	%
			STICK POS			
			SW	ON・FM-0・FM-1・FM-2・SNAP		
	S.ROLL3	INH・ACT	RATE	%	%	%
			STICK POS			
			SW	ON・FM-0・FM-1・FM-2・SNAP		

WARNING	THRO STICK	ACT・INH	POS.	10・( )	AREA	HIGH・LOW
	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				

XG11MV DATA SHEET / ACRO

飛行機

AILE	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)	DELAY 5	→	INH・(s)			
DELAY 2	→	INH・(s)	DELAY 6	→	INH・(s)			
DELAY 3	→	INH・(s)	DELAY 7	→	INH・(s)			
DELAY 4	→	INH・(s)	DELAY 8	→	INH・(s)			

ELEV	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)	DELAY 5	→	INH・(s)			
DELAY 2	→	INH・(s)	DELAY 6	→	INH・(s)			
DELAY 3	→	INH・(s)	DELAY 7	→	INH・(s)			
DELAY 4	→	INH・(s)	DELAY 8	→	INH・(s)			

RUDD	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	NORM	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	HOLD	INPUT	
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(s)	DELAY 5	→	INH・(s)			
DELAY 2	→	INH・(s)	DELAY 6	→	INH・(s)			
DELAY 3	→	INH・(s)	DELAY 7	→	INH・(s)			
DELAY 4	→	INH・(s)	DELAY 8	→	INH・(s)			

XG11MV DATA SHEET / ACRO

飛行機

DEFFERENTIAL	AILE	POS0	%	POS1	%
		TRIN IN			
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		
	RUDD	POS0	%	POS1	%
		TRIN IN			
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		
	FLAP	POS0	%	POS1	%
		TRIN IN			
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		

AILE → RUDD MIX	POS0	L: % R %	POS1	L: % R %	
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		
ELEV → FLAP MIX	POS0	D: % U %	POS1	D: % U %	
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		
AILE → FLAP MIX TRIM: INH・ACT	POS0	L: % R %	POS1	L: % R %	
	SW	ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )		

FLAP SYSTEM		FLAP	ELEV	AILE
	NORM	%	%	%
	MID	%	%	%
	LAND	%	%	%
	DELAY	INH・ s	INH・ s	INH・ s
	TRIM IN			
	FM-0	SW・NORM・MID・LAND		
	FM-1			
	FM-2			
	AUTO LAND	INH・THRO( )		

WING TYPE						
	WING	NORMAL・FLAPERON・DELTA・4-AILE				
	DUAL	AILE	ELEV	RUDD	FLAP	TWIN ENGINE
	MATE	INH・	INH・	INH・	INH・	INH・
	TRIM	INH・L/R	INH・L/R	INH・L/R	INH・L/R	INH・ACT
	V-tail	INH・ACT			AUX Trim	INH・L/R

THRO TRIM				
	THRO CUT	INH・ACT	TRIM MEMORY	INH・ACT
	THRO	+/- %	IDLE ADJUST %	
	TIME LAG: INH・ s			
	SW SEL	ON・AND	AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2 GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

		EXP		L	1	2	3	4	5	H
THRO Curve	POS0 (RTH0)	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	POS1 (RTH1)	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	LTH0	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	LTH1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
TRIM OFFSET: THRO STK:	SW SELECT	ON・AND FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )								
PITCH Curve	POS0	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	POS1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
THRO STK:	SW SELECT	ON・AND FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )								
RUDD → AILE MIX	POS0	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	POS1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
RUDD → ELEV MIX	POS0	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	POS1	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
THRO STK:	SW SELECT	ON・AND FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5・STK( )								

XG11MV DATA SHEET / ACRO

飛行機

PROGRAM MIX	MIX1	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	MIX2	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	MIX3	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	MIX4	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	MIX5	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							
	MIX6	CHANNEL				POS0		POS1		OFFSET	
		→				%	%	%	%		
		INCLUDE:		INCLUDE:		ON・AND	FM-0・FM-1・FM-2・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・RUDD-0/1/2・GEAR-0/1/2・AUX2-0/1/2・FLAP-0/1/2・MIX-0/1・SNAP-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				
			EXP		L	1	2	3	4	5	H
			OFF・ON	IN	0						100
				OUT							

XG11MV DATA SHEET / ACRO

STICK ALERT	ACT • INH	POS	
	ON • AND	FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5	

		EXP		L	1	2	3	4	5	H
BALANCE	RAIL(RALI)	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							
	LAL1	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							
	RAL2	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							
	RELE(REVN)	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							
	RRVD(RTAL)	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							
	RFLP	OFF • ON	IN	0						100
			OUT							

	FLIGHT MODE	CH	GEAR	FLAP	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
DEVICE SELECT	INH AILE SW ELEV SW RUDD SW AUX2 SW FLAP SW GEAR SW	DEVICE	GEAR SW	FLAP SW	AUX2 SW	AUX3 SW	RUDD SW	SPAN SW	MIX SW
		OUT	INH • ACT GYR • PIT	INH • ACT SYS • GYR • PIT	INH • ACT SYS • GYR • PIT	INH • ACT SYS • GYR • PIT	INH • ACT	INH • ACT	INH • ACT

		TRIM	SW SELECT
TRIM INPUT SW	TIS 0		ON • AND FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 1		ON • AND FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 2		ON • AND FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 3		ON • AND FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5

ALUTITUDE	SOUND 1	m/ft	↑ • ↓ • ～	m/ft
	SOUND 2	m/ft	↑ • ↓ • ～	m/ft
	SOUND 3	m/ft	↑ • ↓ • ～	m/ft
	SW SEL	ON • AND	FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5	

VIRIOMETER	SOUND 1	m/s • fps
	SOUND 2	m/s • fps
	SOUND 3	m/s • fps
	SW SEL	ON • AND FM-0 • FM-1 • FM-2 • AILE-0/1/2 • ELEV-0/1/2 • RUDD-0/1/2 • GEAR-0/1/2 • AUX2-0/1/2 • FLAP-0/1/2 • MIX-0/1 • SNAP-0/1 • SPS-0/1/2/3/4/5

TEMPERATURE	ALARM
	INH • (℃ /°F)

THRO STICK DIRECTION	REV • NORM
STICK MODE	REV • NORM

RX-BATTERY	ALARM
	INH • (V)

NO LINK ALARM	ALARM
	INH • 10s • 15s • 20s • 30s

RPM	TYPE	GEAR RATIO	PROPELLER	DELAY
		INH • ( )	INH • ( )	INH • ( )
	F.MODE DELAY	INH • ( )	F.MODE DELAY	INH • ( )

FLIGHT PACK	VOLT-ALARM	CAPACITY	CAPA-ALARM
	INH • (V)	mAh	INH • (%)

XG11MV DATA SHEET / GLID

グライダー

MODEL No. ____________________

MODEL NAME ____________________

FLIGHT MODE NAME	CRUSE	SPEED	THERMAL	LAUNCH	LAND	DIST
LONG						
SHORT						

		LAIL	RAIL	ELEV	RUDD	GEAR	FLAP	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
REVERSE SW		NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV	NORM・REV
SUB TRIM												
TRAVEL ADJUST		H %	L %	D %	L %	+ %	U %	+ %	+ %	+ %	+ %	+ %
		L %	R %	U %	R %	- %	D %	- %	- %	- %	- %	- %
LIMIT ADJUST		H %	L %	D %	L %	+ %	U %	+ %	+ %	+ %	+ %	+ %
		L %	R %	U %	R %	- %	D %	- %	- %	- %	- %	- %
FAIL SAFE												
SERVO SPEED	↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
	↑/←	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec	NORM・ sec
	SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5									

		SPOI	AILE	ELEV	RUDD	FLAP	FRPN
A.D.T.	CRUI						
	SPEE						
	THRM						
	LAUN						
	LAND						
	DIST						
TRIM STEP							
TRIM TYPE			L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	L.S.T.・NORM	AL/RD TRIM	COM・FMOD

STICK POSITION SW					
	STICK	↑・←		↓・→	
SPS 0					
SPS 1					
SPS 2					
SPS 3					
SPS 4					
SPS 5					

TIMER			
	TIMER 1	TIMER 2	TIMER 3
Timer	Down-T STOP W	Down-T STOP W	Down-T STOP W
Time	10'00"・	10'00"・	10'00"・
START			
STOP			

WARNING	SPOI STICK	ACT・INH	POS.	90・( )	AREA	HIGH・LOW
	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5				

XG11MV DATA SHEET / GLID

AILE	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	CRUI	SPEE	THRM	LAUN	LAND	INPUT		
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(　　s)		DELAY 5	→		INH・(　　s)	
DELAY 2	→	INH・(　　s)		DELAY 6	→		INH・(　　s)	
DELAY 3	→	INH・(　　s)		DELAY 7	→		INH・(　　s)	
DELAY 4	→	INH・(　　s)		DELAY 8	→		INH・(　　s)	

ELEV	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	CRUI	SPEE	THRM	LAUN	LAND	INPUT		
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(　　s)		DELAY 5	→		INH・(　　s)	
DELAY 2	→	INH・(　　s)		DELAY 6	→		INH・(　　s)	
DELAY 3	→	INH・(　　s)		DELAY 7	→		INH・(　　s)	
DELAY 4	→	INH・(　　s)		DELAY 8	→		INH・(　　s)	

RUDD	POS 0	POS 1	POS 2	POS 3	POS 4	POS 5	POS 6	POS 7
D/R	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
EXP	%	%	%	%	%	%	%	%
	%	%	%	%	%	%	%	%
FM-AUTO	CRUI	SPEE	THRM	LAUN	LAND	INPUT		
SW AUTO	SW SEL 1							
	SW SEL 2							
	SW SEL 3							
	SW SEL 4							
	SW SEL 5							
	SW SEL 6							
DELAY 1	→	INH・(　　s)		DELAY 5	→		INH・(　　s)	
DELAY 2	→	INH・(　　s)		DELAY 6	→		INH・(　　s)	
DELAY 3	→	INH・(　　s)		DELAY 7	→		INH・(　　s)	
DELAY 4	→	INH・(　　s)		DELAY 8	→		INH・(　　s)	

XG11MV DATA SHEET / GLID

グライダー

BRAKE SYSTEM	TRIM INPUT		BRAKE START POSITION		SPOI STICK → SPOI		SPOI STICK → FPAP	
	INH・ACT				%	%	%	%
	SPOI STICK → ELEV TRIN IN:	EXP		POINT-0	POINT-1	POINT-2	POINT-3	POINT-4
		OFF・ON	IN					
			OUT					
	SPOI STICK→ FPRN TRIN IN:	EXP		POINT-0	POINT-1	POINT-2	POINT-3	POINT-2
		OFF・ON	IN					
			OUT					

CAMB SYSTEM		LFLP(FLAP)	RFLP	LAIL	RAIL	DELAY	BREAK
	CRUISE						INH・ACT
	SPEED						INH・ACT
	THERMAL						INH・ACT
	LAUNCH						INH・ACT
	LAND						INH・ACT
	DIST						INH・ACT
	ELEV STICK						

CAMB SYSTEM			SPOI TR	FRAP TR	FRPN TR	FLAP LV	AUX3 LV
	FLAP	CRUISE					
		SPEED					
		THERMAL					
		LAUNCH					
		LAND					
		DIST					
	FRPN	CRUISE					
		SPEED					
		THERMAL					
		LAUNCH					
		LAND					
		DIST					

			CRUISE	SPEED	THERMAL	LAUNCH	LAND	DIST	
FLAP RATE		UP	%	%	%	%	%	%	
		DOWN	%	%	%	%	%	%	
FLAPERON MIXING	FLAP ↓ FPRN	UP	%	%	%	%	%	%	FLAP LEVER OFFSET
		DOWN	%	%	%	%	%	%	
	FLAP ↓ ELEV	UP	%	%	%	%	%	%	
		DOWN	%	%	%	%	%	%	
	AILE ↓ FLAP	LEFT	%	%	%	%	%	%	INCLEDE AILE TRIM
		RIGHT	%	%	%	%	%	%	
ELEV → CAMB MIXING	ELEV ↓ FLAP	UP	%	%	%	%	%	%	
		DOWN	%	%	%	%	%	%	
	ELEV ↓ FPRN	LEFT		%	%	%	%	%	
		RIGHT	%	%	%	%	%	%	
	OFFSET								
	SNAP MOTION		INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT	
RUDD → SPOI MIXING	RUDD → SPOI		%	%	%	%	%	%	
AILE → RUDD MIXING	AILE → RUDD		L %	L %	L %	L %	L %	L %	
			R %	R %	R %	R %	R %	R %	
	BREAK ELEV STICK		INH・ACT	BREAK RUDD STICK		INH・ACT			

MOTO SYSTEM	SW SELECT	ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5					
	HOLD POSITION	%	HOLD DELAY	HIGH ↑		LOW ↓	

XG11MV DATA SHEET / GLID

PROGRAM MIX	MIX1	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX2	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX3	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX4	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX5	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						
	MIX6	CHANNEL			+GAIN		-GAIN		OFFSET	
		→			POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %	POS0 %	POS1 %
		EXP		L	1	2	3	4	5	H
		OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
		SW SELECT	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5						

DEVICE SELECT	SPEED MODE	LANCH MODE		CH	MOTO	FLAP	AUX2	AUX3	AUX4	AUX5	AUX6
				DEVICE	MOTO SW	FLAP LV	SPOI ST	AUX3 LV	AUX4 SW	TRN SW	BTFL SW
		REV.	NORM	OUT	INH・ACT MOT	INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT MOT	INH・ACT	INH・ACT	INH・ACT

XG11MV DATA SHEET / GLID

		AILE	RUDD	FLAP	BRAKE
DIFFERENTIAL	CRUISE	%	%	%	%
	SPEED	%	%	%	%
	THERMAL	%	%	%	%
	LAUNCH	%	%	%	%
	LAND	%	%	%	%
	DIST	%	%	%	%

		EXP		L	1	2	3	4	5	H
BALANCE	RAIL	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	RELE	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	RRUD(RTAL)	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	RFLP	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							
	RSPI	OFF・ON	IN	0						100
			OUT							

STICK ALERT	ACT・INH	POS	
	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

		TRIM	SW SELECT
TRIM INPUT SW	TIS 0		ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 1		ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 2		ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5
	TIS 3		ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5

ALUTITUDE	SOUND 1	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SOUND 2	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SOUND 3	m/ft	↑・↓・～	m/ft
	SW SEL	ON・AND	CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5	

VIRIOMETER	SOUND 1	m/s・fps
	SOUND 2	m/s・fps
	SOUND 3	m/s・fps
	SW SEL	ON・AND CRUI・SPEE・THRM・LAUN・LAND・AILE-0/1/2・ELEV-0/1/2・MOTO-0/1/2・AUX4-0/1/2・FMOD-0/1/2・BTFL-0/1・TRN-0/1・SPS-0/1/2/3/4/5

TEMPERATURE	ALARM
	INH・(℃ /℉)

THRO STICK DIRECTION	REV・NORM

STICK MODE	REV・NORM

RX-BATTERY	ALARM
	INH・(V)

NO LINK ALARM	ALARM
	INH・10s・15s・20s・30s

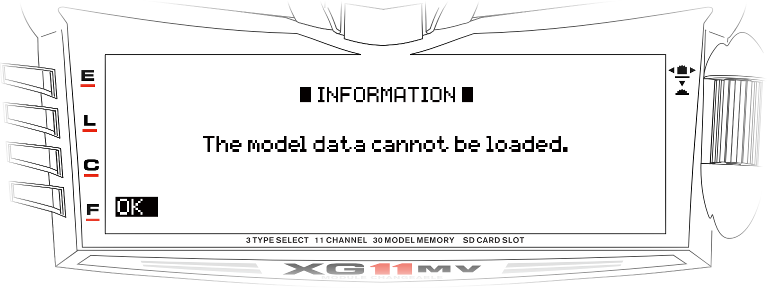
RPM	TYPE	GEAR RATIO	PROPELLER	DELAY
		INH・( )	INH・( )	INH・( )
	F.MODE DELAY	INH・( )	F.MODE DELAY	INH・( )

FLIGHT PACK	VOLT-ALARM	CAPACITY	CAPA-ALARM
	INH・(V)	mAh	INH・(%)

こんなメッセージが出たら・・・

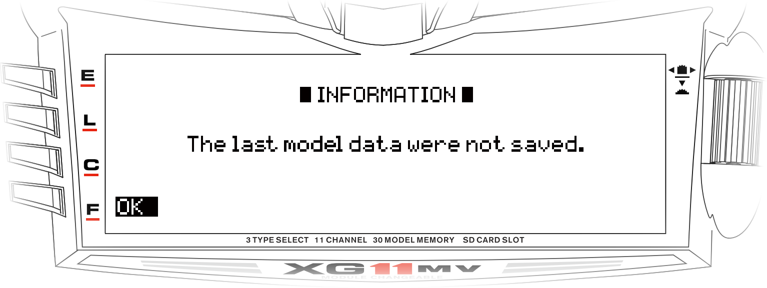
送信機のソフト動作にエラーが出た場合に、エラー内容を知らせる画面が表示されます。

モデルデータ読み込み失敗



- 原　因
  SD アップデートでモデルデータが初期化された場合や内部メモリーの動作不具合です。
- 対　策
  繰り返し表示される場合はサービス部にお問い合わせください。

モデルの設定データが正常に保存されなかった場合



- 原　因
  設定途中で電池を抜いた場合や内部メモリーの動作不具合です。
- 対　策
  繰り返し表示される場合はサービス部にお問い合わせください。

修理アフターサービスについて

保証書をよくお読みください。

- 保証期間内に正常なご使用において故障した場合にのみ当社保証規定に基づき無償で修理いたします。
  正常なご使用以外の場合 (操作ミスによる破損、使用上の誤り等に起因するもの) や保証期間外の場合、保証書 (コピー不可) の提示が無い場合は、有償修理となります。
  なお、損傷の程度によっては修理不能の場合もあります。
- 保証の範囲といたしましては、プロポセットのみとし、本製品以外の機体、エンジン等は対象外とさせていただきます。
- 本製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した、お客様又は第三者が設定、記録されたデータの損傷、消失等の損害、製品利用の機会を逸した事による損害、生命、身体又は、有体物の損害及びこれらに付随して発生した損害の補償につきましては、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 保証期間が過ぎている場合、修理を行う事により継続してご使用が可能であれば、お客様のご希望により有償で修理をさせていただきます。
- 原則としてアフターサービス等での製品の送料はお客様負担とさせていただきます。
- 修理は当社技術員が責任をもって致します。
  尚、修理サービスは、お客様の荷物を受け付けた後、当社内で開梱、各製品別に修理、検査し、最後に組合わせテストを行い返送させていただきます。
  以上のように一定の流れにて作業を致しますので、できる限り修理品については不良と思われるもの以外は送らないようお願いいたします。
  例) 充電器、リードハーネス等　他の不良内容とは全く関係のないもの
  また、当社製品以外の部品、機構、付加物及び改造は、事前に取り外してください。　これらの付加物が付加された状態で当社に引き渡された場合は、当社はこれらに関して、いかなる責任も負いません。
- 修理品をお送り頂く時に、アルミケース等のキャリングケースを使用しますとケース本体に傷が付く事もあります。
  また、各製品の内部システムの保護の為にもできる限り、購入時の包装をご使用の上、クッション材やダンボール等で梱包し、ご返送ください。
- 修理は約 10 日間位で完了いたしますが製品の性質上、多少長くかかる場合もありますのでご了承願います。

修理を依頼するときは

- 修理依頼カードに住所、氏名、電話番号を記入の上、状況を詳しく書き、また特にご希望される事がありましたら、特記事項欄に書き入れて直接、当社まで修理品と共にお送りください。
- 住所欄には郵便番号、電話番号も忘れずに記入してください。
  お名前は、フリガナをしてください。

日本遠隔制御株式会社　ラジコンサービス課
〒 577-0809　東大阪市永和 2-2-12
TEL(06)6732-0200

- 設定データ等は、データシート等に記録しておいてください。　修理内容により製品を初期化する場合があります。
  お客様が設定されたデータの損傷、消失につきましては、当社は一切責任を負いません。
- 修理代金のご案内は返送の際に同封させて頂きます。　修理品が到着後、振込用紙にてご送金ください。

JR PROPO　XG11MV 保証書　保証期間6ヶ月

ご愛用者欄以外は、記入しないで下さい。保証書の再発行はいたしませんので大切に保存して下さい。

製造番号

お買上げ日

年　月　日

ご愛用者

住所

氏名

電話（　）　ー

販売店
（必ず捺印を受けて下さい）
住所

氏名

電話

日本遠隔制御株式会社
〒577-0809 東大阪市永和2丁目2-12
TEL(06)6732-0200

キリトリ

このカードは必ず製品といっしょにお送り下さい。

JR PROPO XG11MV 修理依頼カード

製造番号

お買上げ日

年　月　日

住所　〒

氏名

電話

（　）　ー

ご連絡可能な日時　※ご希望の日時以外にご連絡を差し上げる場合もございます。予めご了承下さい。

☐ 平日（月〜金）　☐ 土　☐ 日・祝　☐ 特に指定なし

☐ 時間　〜

修理依頼

JR PROPO XG11MV

販売店控

製造番号

住所　〒

氏名

電話

（　）

ー

キリトリ

プロポ保証条件

販売店印とお買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますので確認してください。

JRプロポのアフターサービスをお受けになる場合は、かならずこの保証書をそえてJRサービス課へ送付してください。尚、下記事項にご注意ください。

- 保証期間はお買い上げ日から6ヶ月です。
- 保証期間内でありましても次のような場合は修理料金をいただきます。
  また損傷の程度によっては修理できない場合もあります。

○ 謝った取り扱いに起因する故障、損傷
○ 改造されたり、不当な修理による故障、損傷
○ 火災、地震、水害等の天災地変、及び以上電圧、その他外部要因による故障、損傷
○ 輸送時による故障、損傷
○ 保証書を紛失したり、提示(コピー不可)が無い場合
○ 販売店名、お買い上げ日等の記入が無い場合、また、これ等の記載事項を訂正された場合
○ 燃料、水、油、海水などが原因となる故障

- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
  This warranty is valid only in Japan.

キリトリ

修理依頼要件

年　　　　月　　　　日

特記事項

キリトリ

http://www.jrpropo.co.jp/jpn/support/

修理・アフターサービス・製品に関するお問い合わせ等の情報をご案内しています。

本仕様およびマニュアルの内容について、予告なく変更修正する場合があります。